

関係人口調査事業業務

関係人口の創出・深化に向けた基礎調査報告書

令和8年3月

株式会社 NTT データ経営研究所

目次

第 1 章 本調査の概要	2
1. 本調査の背景及び目的	2
2. 本調査における関係人口の分類.....	2
3. 調査の種類.....	3
第 2 章 富山県の関係人口への該当有無に関する調査	4
1. 調査目的	4
2. 調査概要	4
3. 調査項目	5
4. 調査結果	6
第 3 章 関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資する調査	26
1. 調査目的	26
2. 調査概要	26
3. 調査項目	27
4. 調査結果	28
第 4 章 まとめ	92
1. 関係深化の促進要因と阻害要因.....	92
2. 調査から得られた示唆	94

第1章 本調査の概要

1. 本調査の背景及び目的

令和7年の富山県の関係人口の現状を把握すると同時に、その特徴を分析することで関係人口の創出・深化に向けた施策検討の基礎資料とすることを目的として、全国調査を実施する。

2. 本調査における関係人口の分類

本調査における関係人口の定義は、県外在住者であり、かつ、以下に記載する関係人口の分類 1～9 の少なくとも1分類に合致する者とする。なお、関係性の深さは、関係人口の分類のNo.が若いほど関係性が深いものとする。

図表 1 本調査における関係人口の分類

No.	関係人口の分類
1	地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者
2	二地域居住者
3	県内イベント等参加者
4	県産品購入者（訪問）
5	県内自治体を応援する支援者
6	県外イベント等参加者
7	県産品購入者（非訪問）
8	SNS等での情報取得者
9	富山県にゆかりがある者（居住・通学・通勤経験者）

また、関係人口ではないが、家族や親戚が富山県にゆかりがある者（家族や親戚が富山県での居住・通学・通勤経験者）についても今後富山県との関わりを持つ可能性があると考え、参考分類として調査した。

図表 2 参考分類

No.	参考分類
10	家族や親戚が富山県にゆかりがある者（家族や親戚が富山県での居住・通学・通勤経験者）

3. 調査の種類

実施した調査と集計・分析は以下のとおり。

図表 3 調査の種類と集計・分析の内容

調査の種類	掲載報告書	集計・分析の内容
富山県の関係人口への該当有無に関する調査	関係人口の推計に関する報告書	・ 関係人口の推計
	関係人口の創出・深化に向けた基礎調査報告書	・ 関係人口の分類、参考分類ごとの出現率や特徴の分析 (第 2 章)
関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資する調査	た基礎調査報告書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県における関係性が深い関係人口（地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者、二地域居住者）の特徴や関わり方の実態を分析 (第 3 章) ・ 今後関係が深化する可能性がある関係人口（地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者、二地域居住者以外の関係人口の分類に該当する者）や、参考値として調査した、家族や親戚が富山県にゆかりがある者（家族や親戚が富山県での居住・通学・通勤経験者）の志向等 (第 3 章)

第2章 富山県の関係人口への該当有無に関する調査

1. 調査目的

令和7年の富山県の関係人口の数を推計するために行った全国調査において、回答者の属性や富山県の関係人口への該当有無を把握した。この調査結果から、関係人口の分類ごとの出現率や、該当者の属性を明らかにする。

2. 調査概要

本調査の概要は以下のとおり。

図表 4 富山県の関係人口への該当有無に関する調査 実施概要

実施方法	WEB モニターアンケート調査
配布、回収方法	・ モニター調査会社が保有・提携するモニターを対象に WEB アンケートを実施 ・ 回答者の年齢、性別、居住地に偏りが出ないよう割付し、1 都道府県あたり 1,000 件の有効回答を収集
対象者	富山県を除く全国 46 都道府県居住者
回答期間	12 月 9 日（火）～12 月 22 日（月）
回答件数	46,000 件

3. 調査項目

本調査の調査項目は以下の10問である。

図表 5 富山県の関係人口への該当有無に関する調査 調査項目一覧

No.	設問文
1	2025年に、富山県内で地域の課題解決・活性化の取組みに関わったことがありますか。 (例：地域課題解決プロジェクト、地域資源の活用を考えるワークショップ、ボランティア活動、災害支援等)
2	2025年に、富山県内で二地域居住を行ったことがありますか。 (例：副業・兼業、テレワーク、ワーケーション、前述の状況にあるパートナーへの同伴等)
3	2025年に、富山県内で現地開催されたイベント等に参加したことがありますか。 (例：マラソン、サイクリング、農泊、グルメフェス、祭り等)
4	2025年に、富山県内に来訪のうえ、県産品を意識的に購入したことがありますか。 (例：農林水産物（米、酒等）、工芸品（高岡銅器、ガラス製品等）、その他富山県企業の商品・製品等)
5	2025年に、富山県内の自治体を支援したことがありますか。 (例：ふるさと納税、寄付、富山県人会への加入、ファンクラブ等への加入、自治体情報の発信（インフルエンサー活動）等)
6	2025年に、富山県外で、富山県内の自治体や民間事業者が開催したイベント等に参加したことがありますか。 (例：観光物産展、セミナー、アンテナショップ（東京、大阪）でのフェア、富山県内で開催されるセミナーへのオンライン参加等)
7	2025年に、富山県外で、意識的に富山県の県産品を購入したことがありますか。 (例：農林水産物（米、酒等）、工芸品（高岡銅器、ガラス製品等）、その他富山県企業の商品・製品等)
8	2025年に、SNS（LINE、X（旧Twitter）、Instagram等）でフォローしている富山県内の自治体のアカウントから情報取得を行いましたか。
9	あなた自身に、富山県にゆかり※がありますか。 ※富山県に居住されたり、通学・通勤されたことがある方
10	あなたの家族や親戚に、富山県にゆかりがある人※はいますか。 ※富山県に居住されたり、通学・通勤されたことがある方

4. 調査結果

この調査では、関係人口の出現率を確認した。

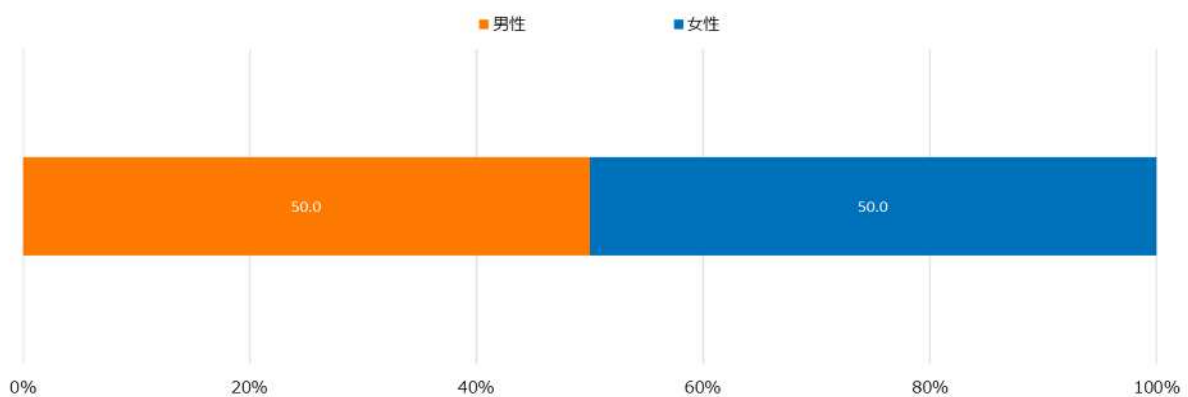
関係人口の9分類のうち、県産品購入者（訪問）、県産品購入者（非訪問）が最も出現率が高い（図表 12）。また、関係人口の出現率は、性別では男性、世帯年収では高収入層で高くなる傾向にある（図表 14、図表 47）。年代では、18歳～20代の若年層の次に60代以上の高齢層の出現率が高い。その内訳を見ると、県産品購入者（訪問）、県産品購入者（非訪問）で高齢層の出現率が高く、その他の分類では若年層ほど出現率が高い傾向にある（図表 14～図表 23）。

また、関係人口の分類・参考分類の相互関係を見ると、関係性が深い分類は他の関係人口の分類にも該当する割合が高い傾向にある。ただし、SNS等での情報取得者は、関係性があまり深くない分類であるが、県産品購入者（訪問）、寄付等で県内自治体を支援する者、県外イベント等参加者、県産品購入者（非訪問）といった他の分類に該当する割合が高い傾向にある（図表 58）。

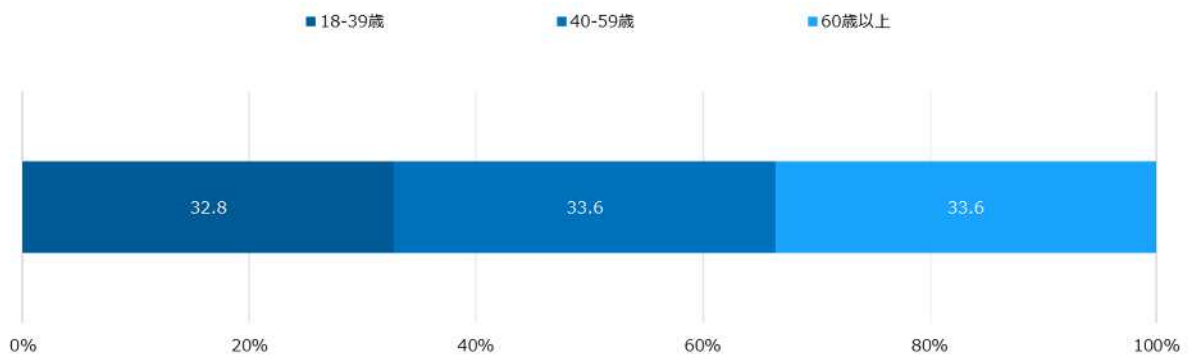
1) 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりである。

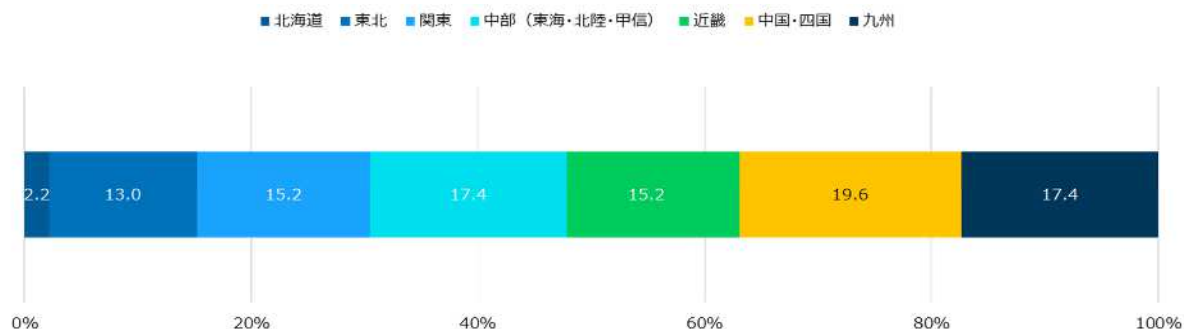
図表 6 性別（SA、n=46,000）



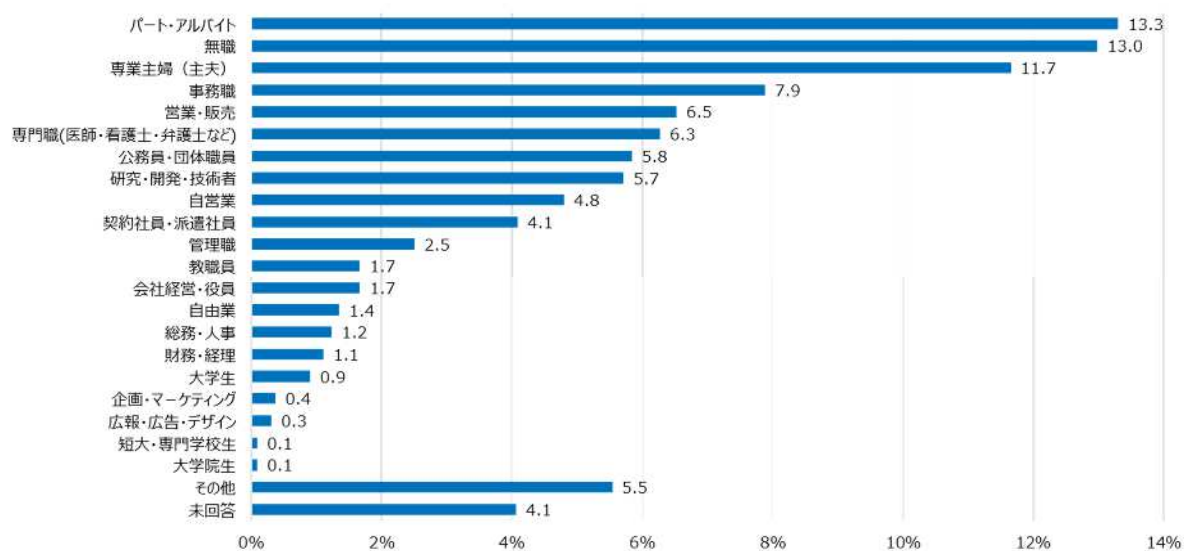
図表 7 年代（SA、n=46,000）



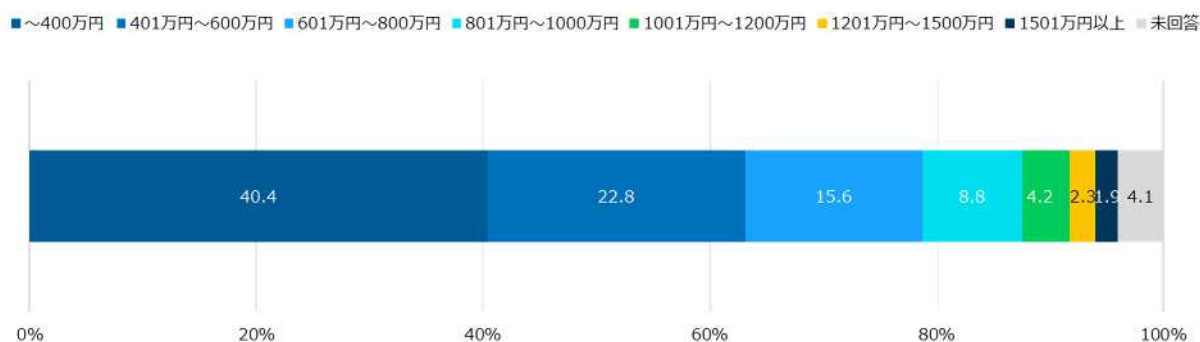
図表 8 居住地 (SA、n=46,000)



図表 9 職種 (SA、n=46,000)



図表 10 世帯年収 (SA、n=46,000)

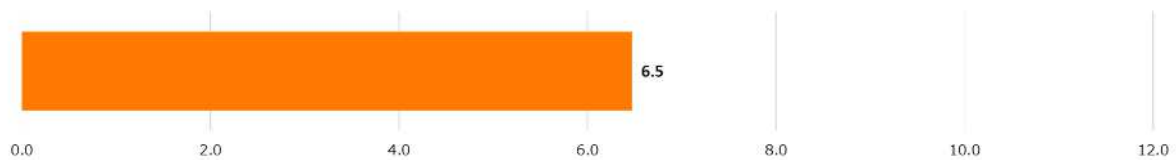


2) 関係人口の出現率

(1) 関係人口の出現率

関係人口9分類のいずれかに該当する者の出現率は、全体の6.5%である。

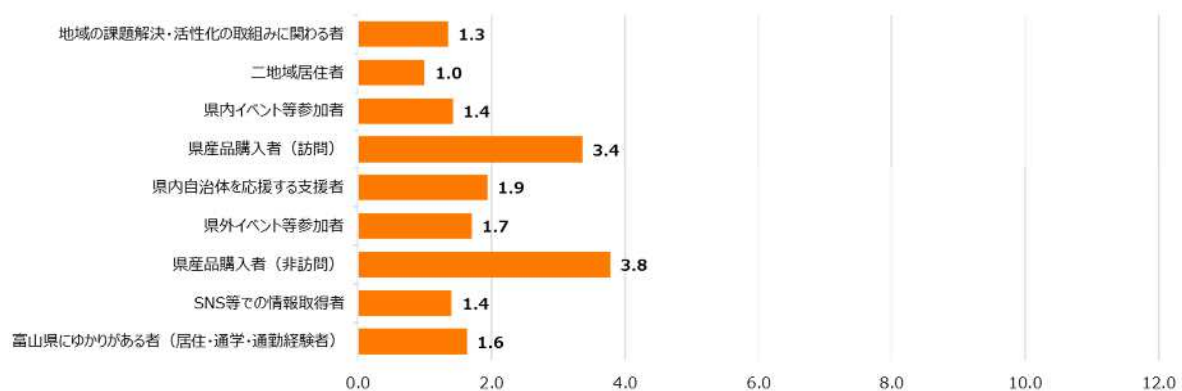
図表 11 関係人口の出現率 (SA、n=46,000)



(2) 関係人口の分類ごとの出現率

関係人口の9分類のうち、県産品購入者（訪問）、県産品購入者（非訪問）が他の分類と比べて出現率が高い。

図表 12 関係人口の分類ごとの出現率 (SA、n=46,000)



図表 13 （参考値）家族や親戚が富山県にゆかりがある者の出現率 (SA、n=46,000)



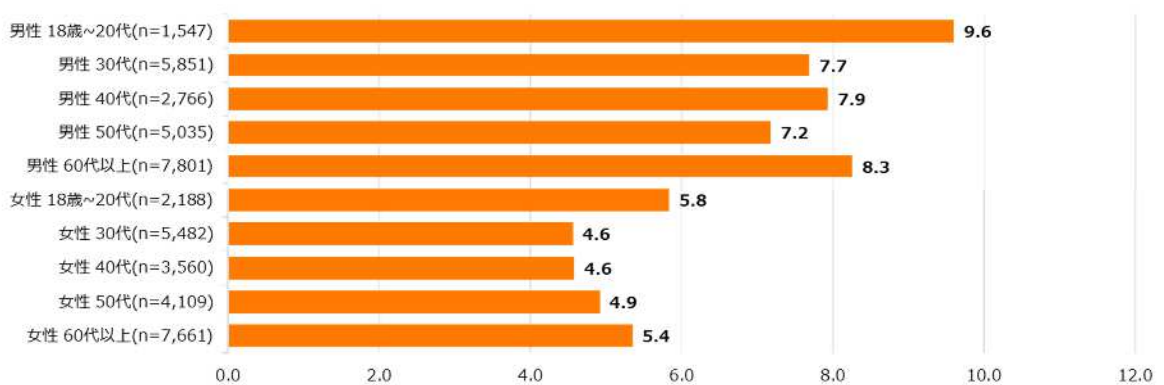
3) 属性ごとの関係人口出現率の特徴

(1) 性年代

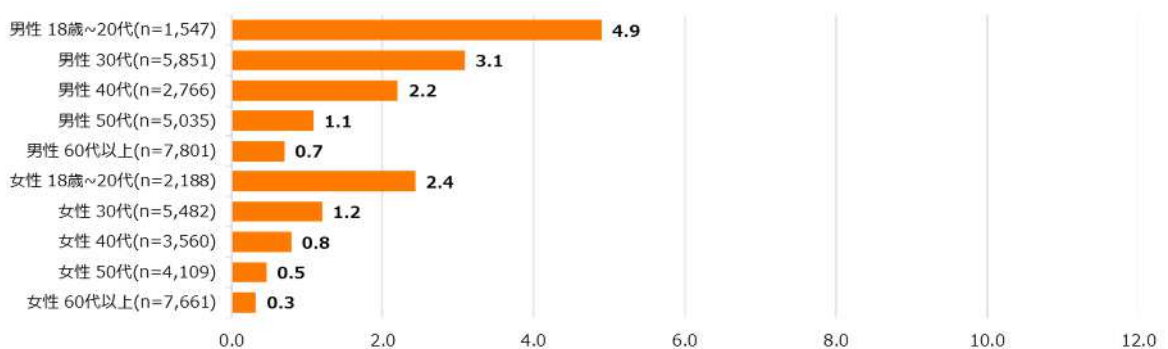
関係人口の 9 分類のいずれかに該当する者の出現率は、性別では女性より男性の方が高く、年代別では 18 歳～20 代、60 代以上の順に高い。

年代ごとの関係人口の 9 分類それぞれの出現率を見ると、県産品購入者（訪問）、県産品購入者（非訪問）では、他の分類と比較して高齢層の出現率が高い傾向にある。その他の分類については、若い者ほど出現率が高い。

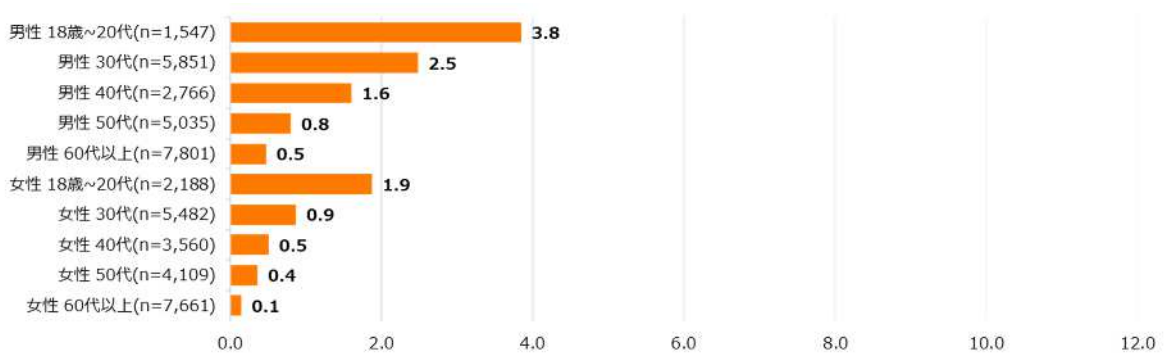
図表 14 関係人口該当者 (SA、n=46,000)



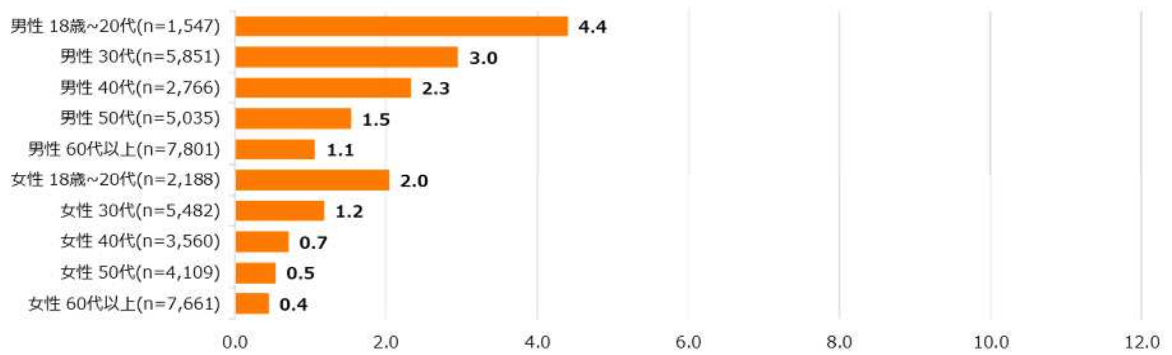
図表 15 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 (SA、n=46,000)



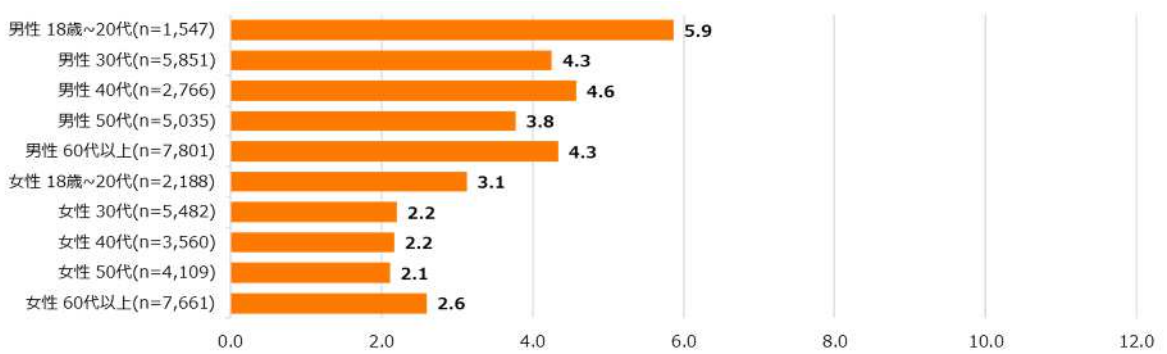
図表 16 二地域居住者 (SA、n=46,000)



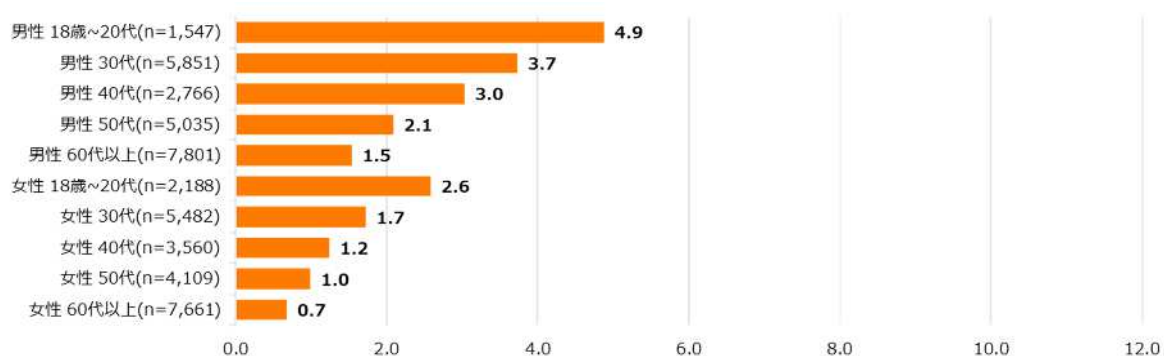
図表 17 県内イベント等参加者 (SA、n=46,000)



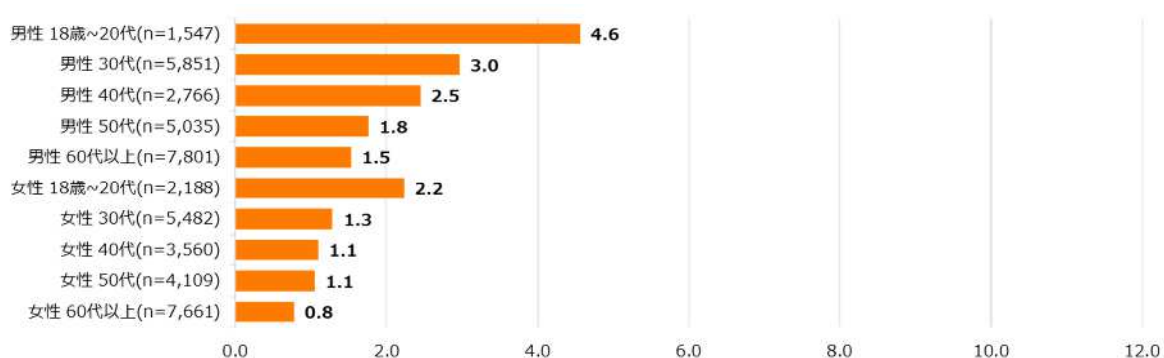
図表 18 県産品購入者 (訪問) (SA、n=46,000)



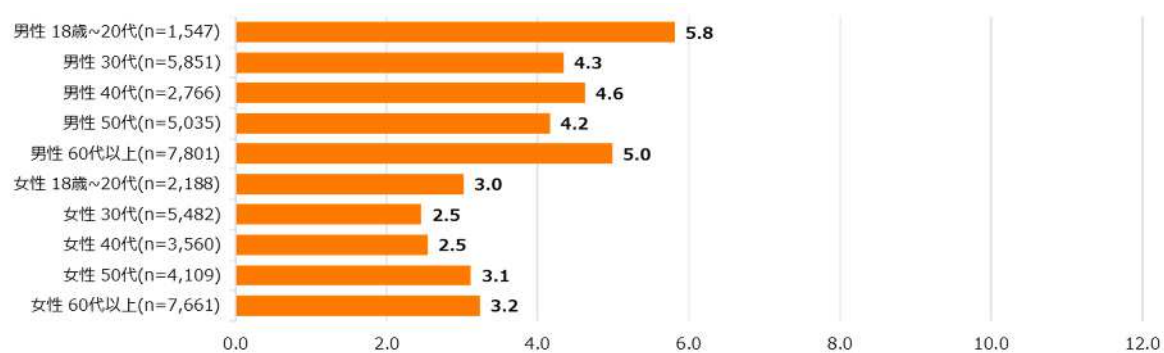
図表 19 寄付等で県内自治体を支援する者 (SA、n=46,000)



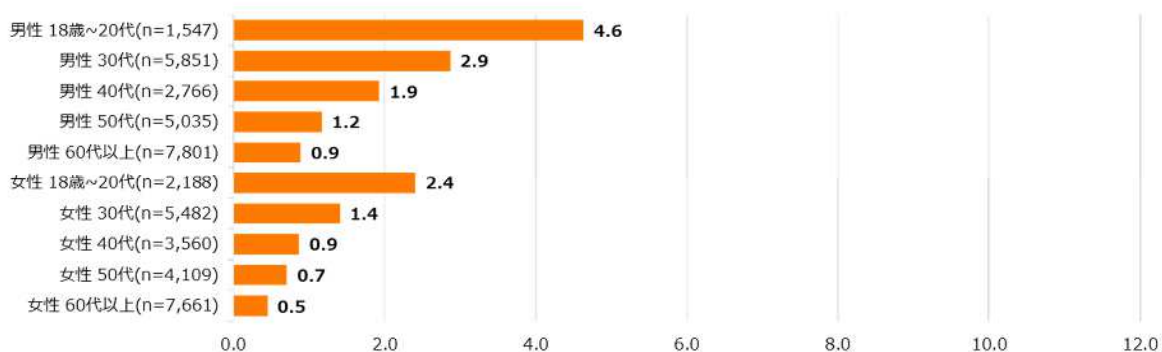
図表 20 県外イベント等参加者 (SA、n=46,000)



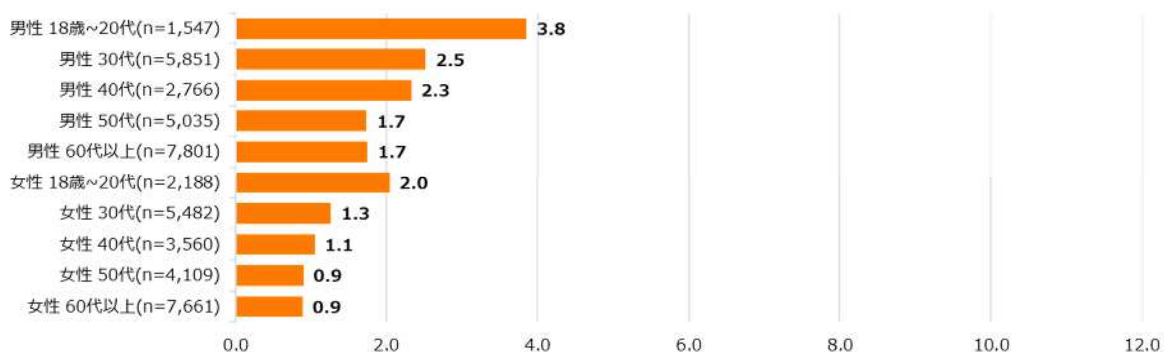
図表 21 県産品購入者 (非訪問) (SA、n=46,000)



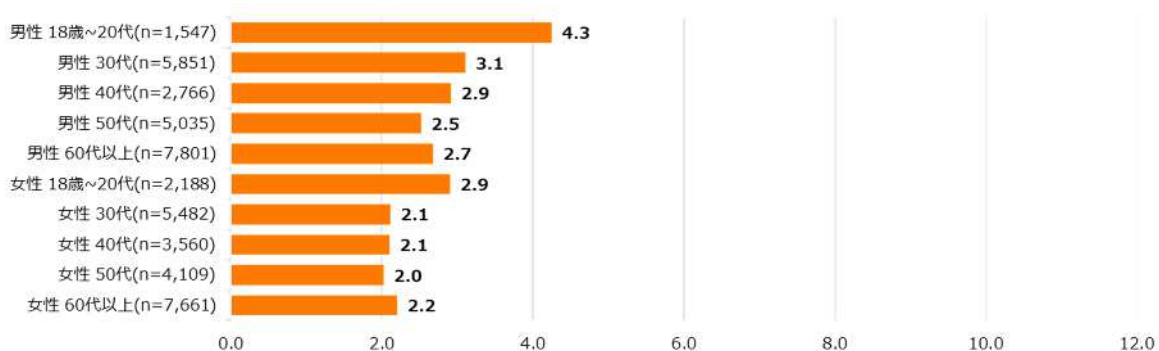
図表 22 SNS 等での情報取得者 (SA、n=46,000)



図表 23 富山県にゆかりがある者 (SA、n=46,000)



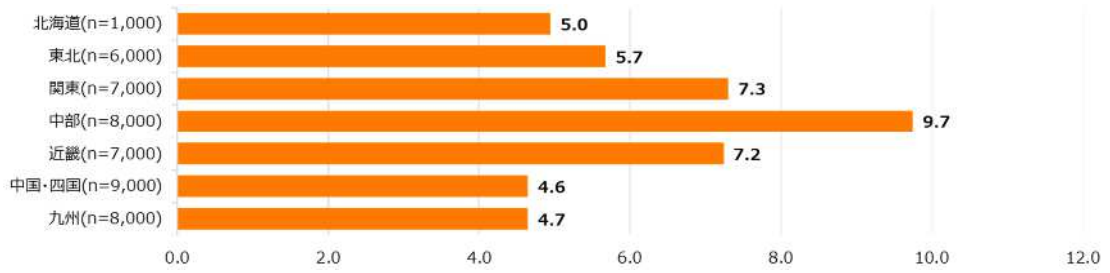
図表 24 (参考値) 家族や親戚が富山県にゆかりがある者 (SA、n=46,000)



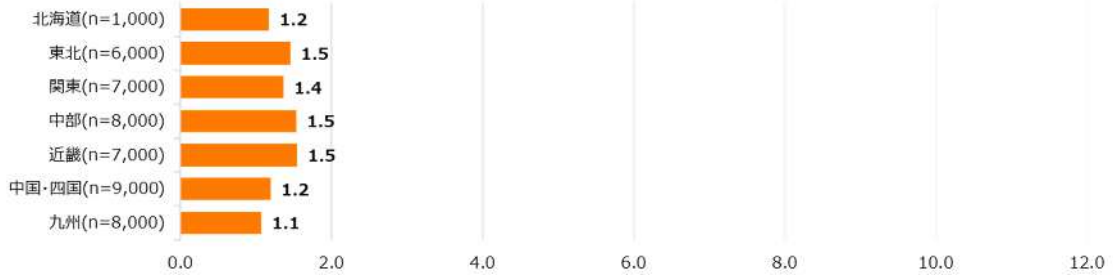
(2) 居住地

居住地ごとに見ると、関係人口の9分類において近隣地域ほど出現率が高い傾向にある。一方、寄付等で県内自治体を支援する者については、関東の出現率が最も高い。

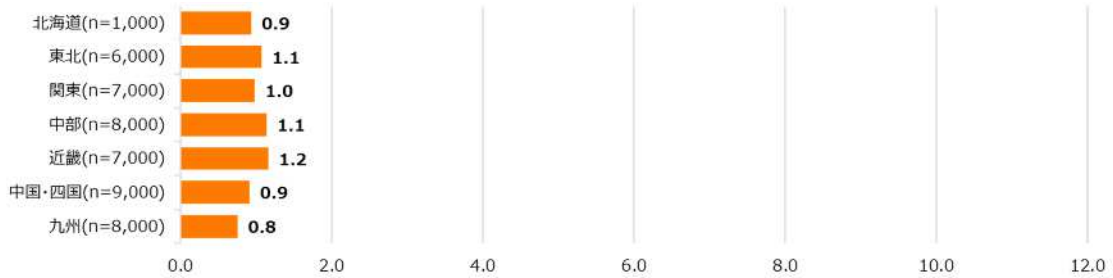
図表 25 関係人口該当者 (SA、n=46,000)



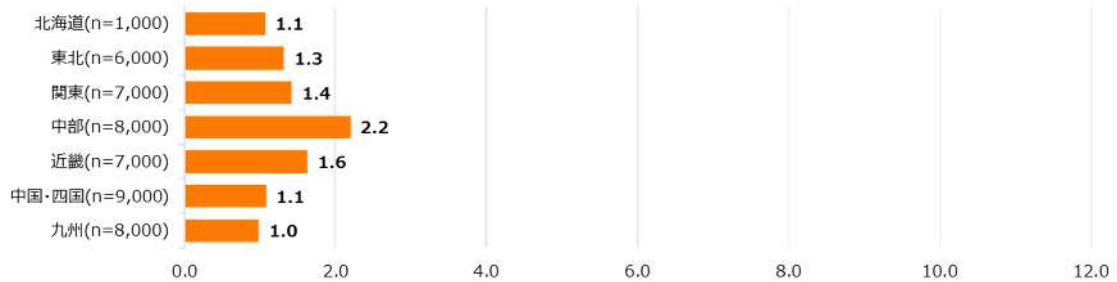
図表 26 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 (SA、n=46,000)



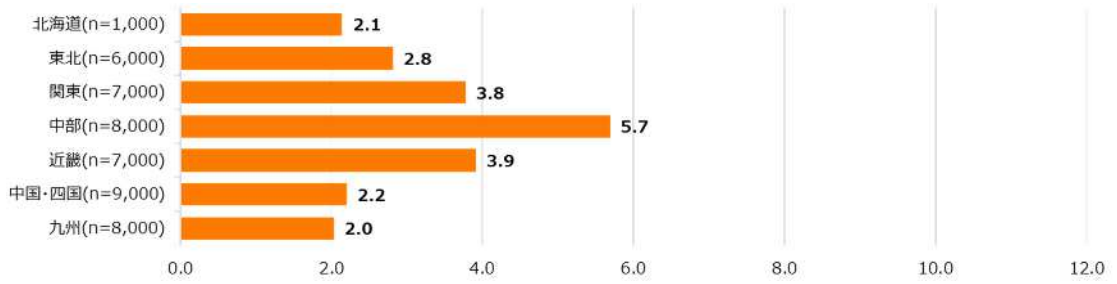
図表 27 二地域居住者 (SA、n=46,000)



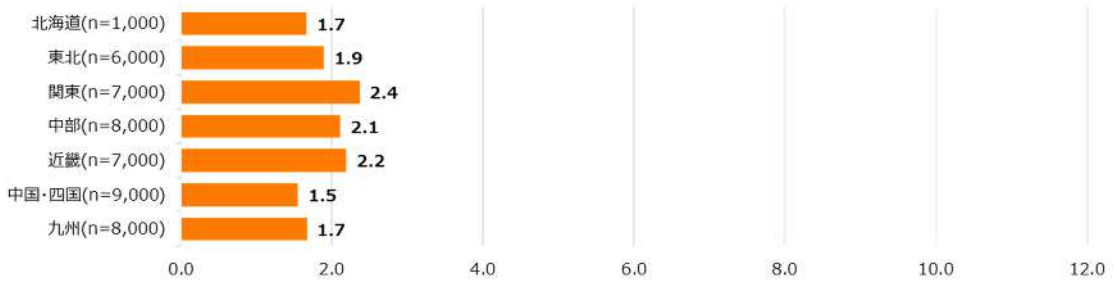
図表 28 県内イベント等参加者 (SA、n=46,000)



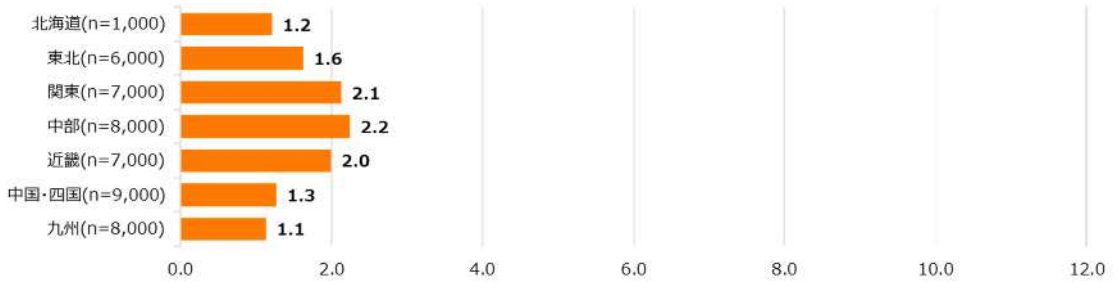
図表 29 県産品購入者（訪問）（SA、n=46,000）



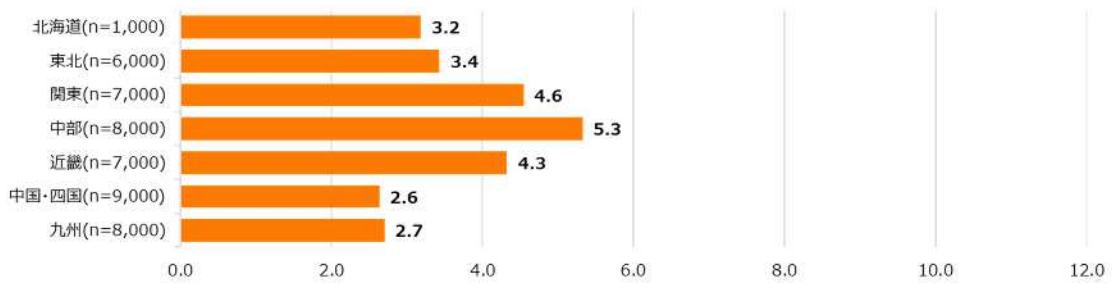
図表 30 寄付等で県内自治体を支援する者（SA、n=46,000）



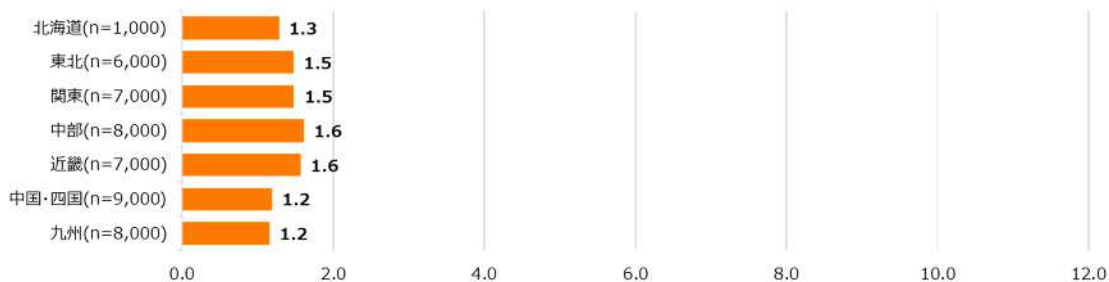
図表 31 県外イベント等参加者（SA、n=46,000）



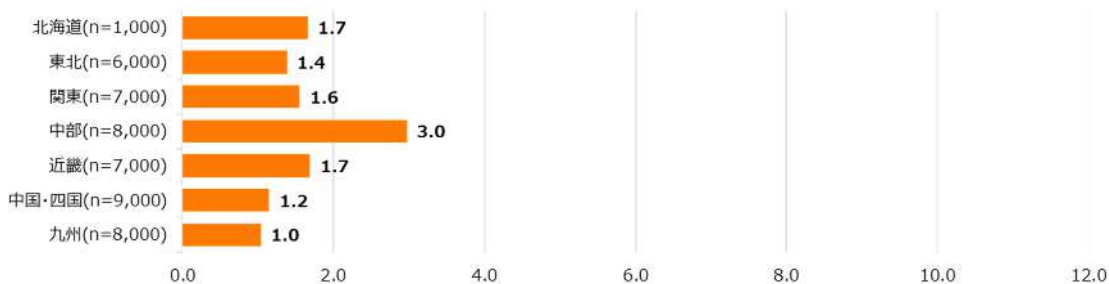
図表 32 県産品購入者（非訪問）（SA、n=46,000）



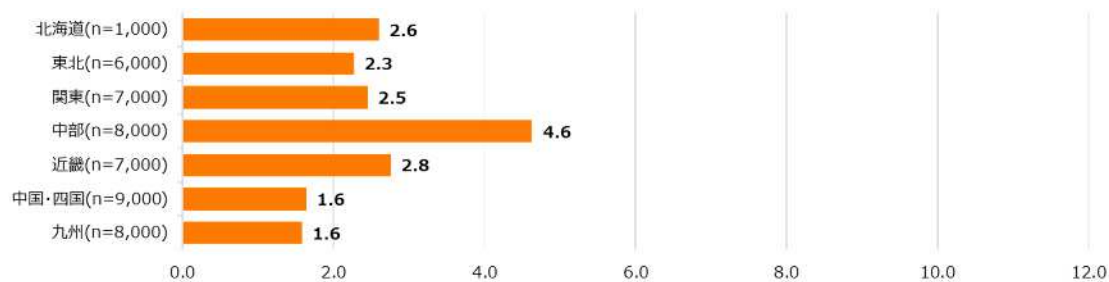
図表 33 SNS 等での情報取得者 (SA、n=46,000)



図表 34 富山県にゆかりがある者 (SA、n=46,000)



図表 35 (参考値) 家族や親戚が富山県にゆかりがある者 (SA、n=46,000)

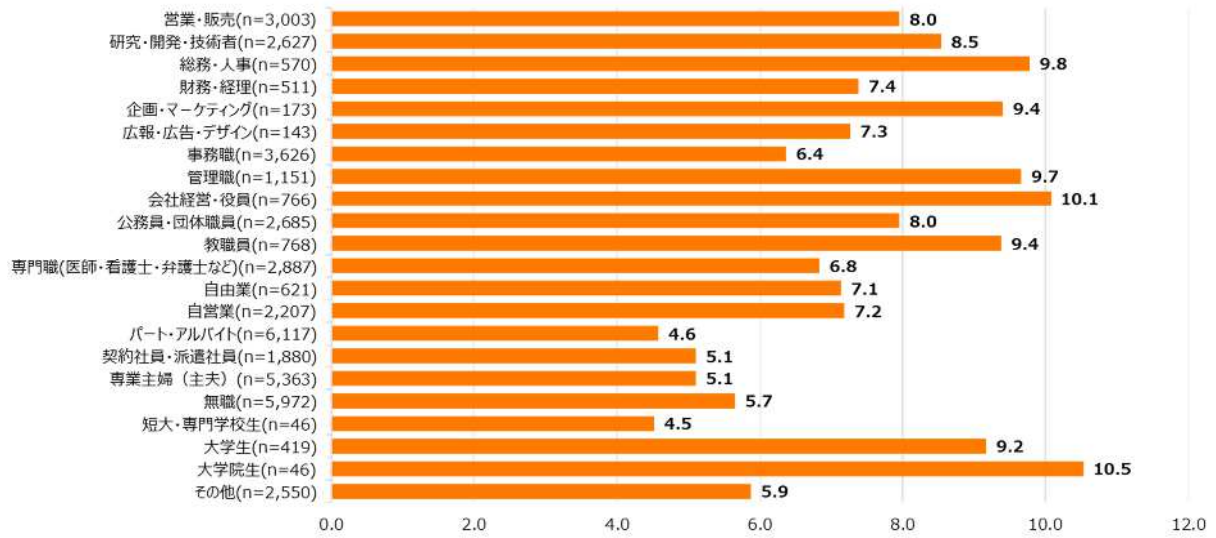


(3) 職種¹

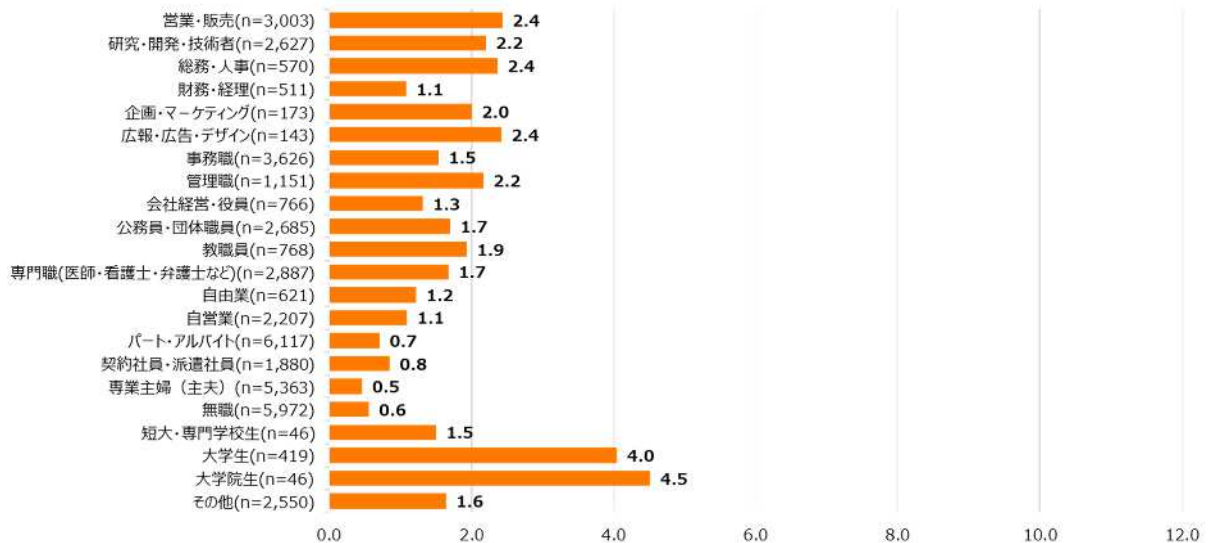
関係人口の 9 分類のいずれかに該当する者の出現率は、会社経営・役員や管理職、総務・人事や企画・マーケティング、教職員、大学生・大学院生で高い。

¹ 一部の属性不明者は回答数に含まない。

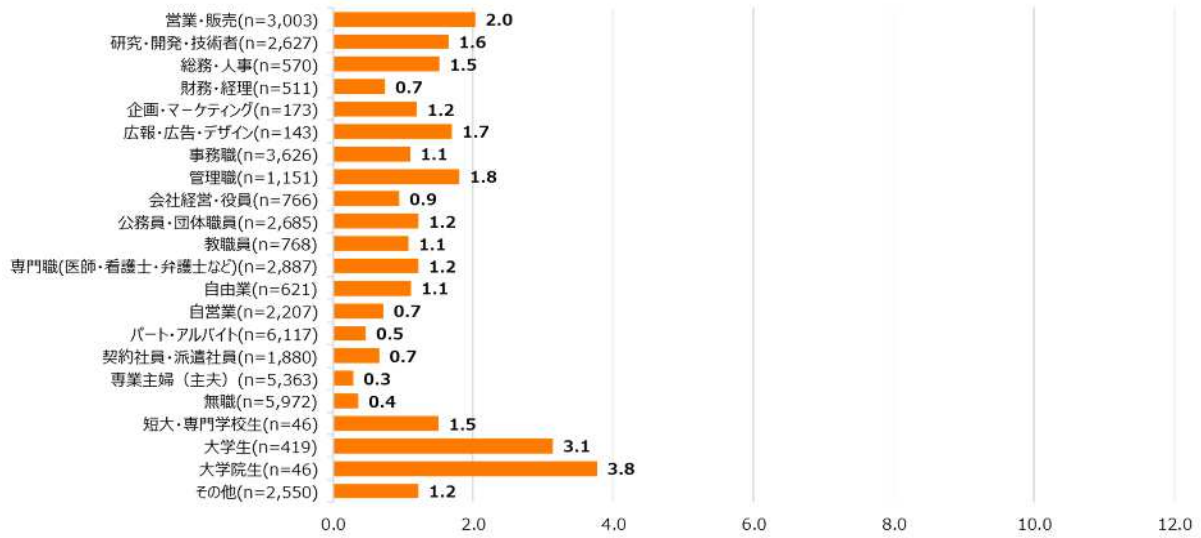
図表 36 関係人口該当者 (SA、n=44,131)



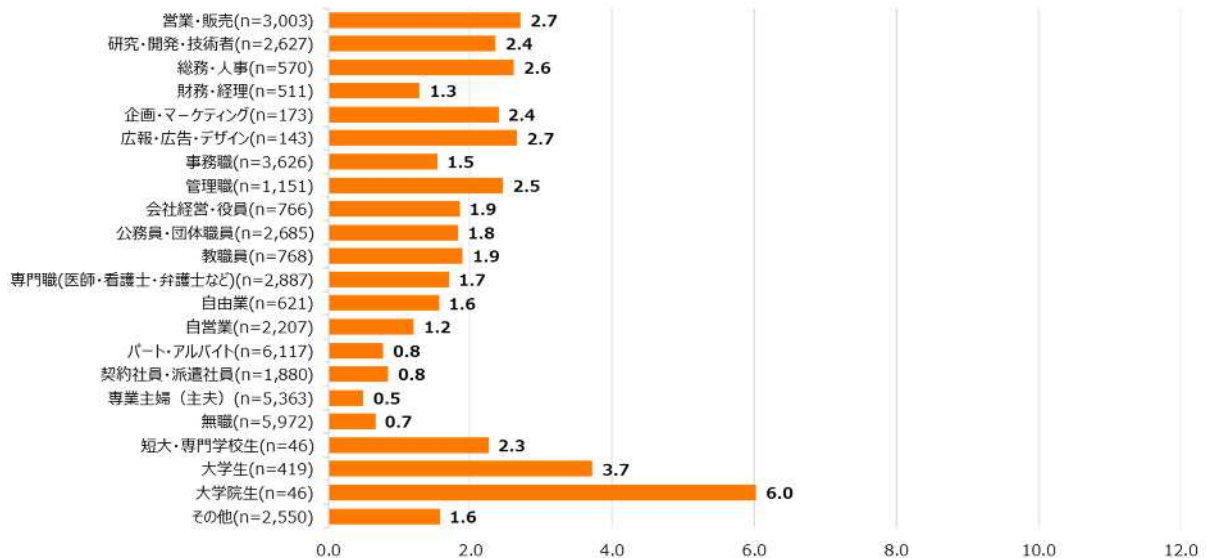
図表 37 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 (SA、n=44,131)



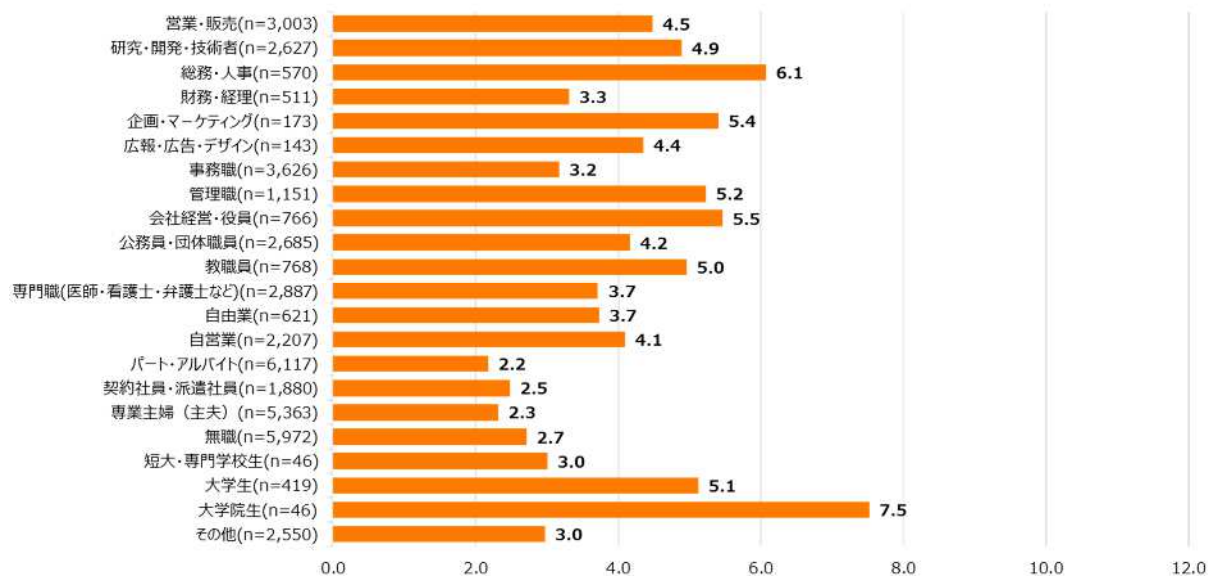
図表 38 二地域居住者 (SA、n=44,131)



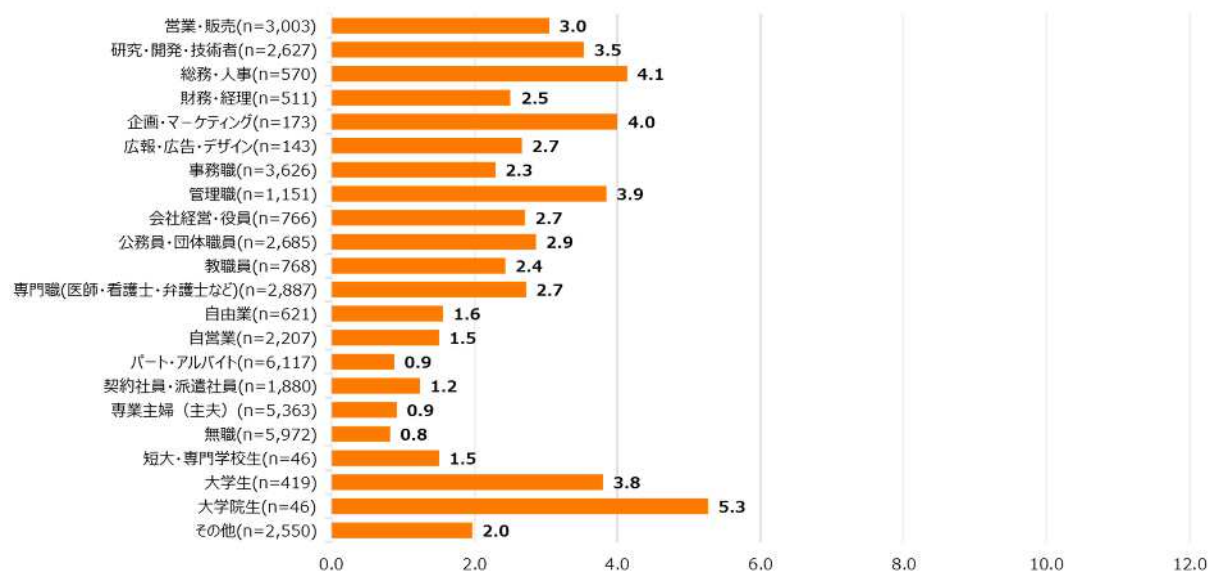
図表 39 県内イベント等参加者 (SA、n=44,131)



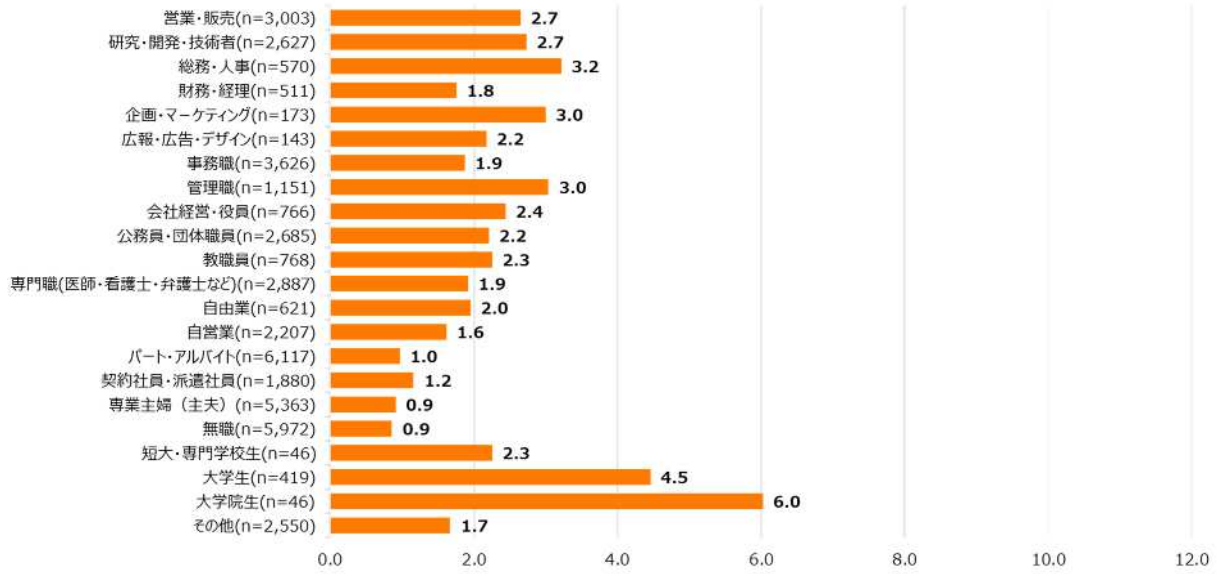
図表 40 県産品購入者（訪問）（SA、n=44,131）



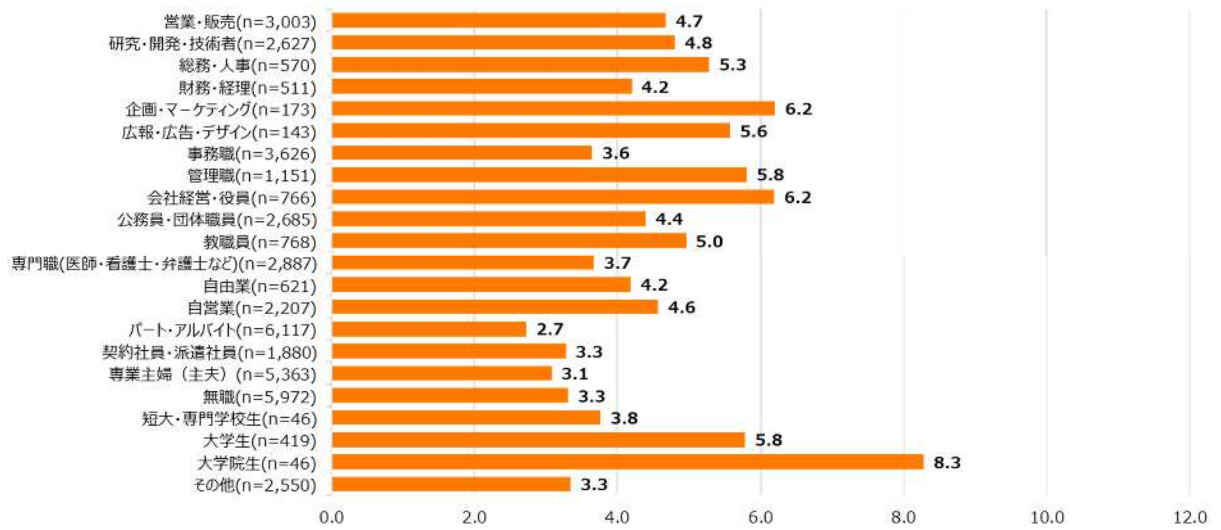
図表 41 寄付等で県内自治体を支援する者（SA、n=44,131）



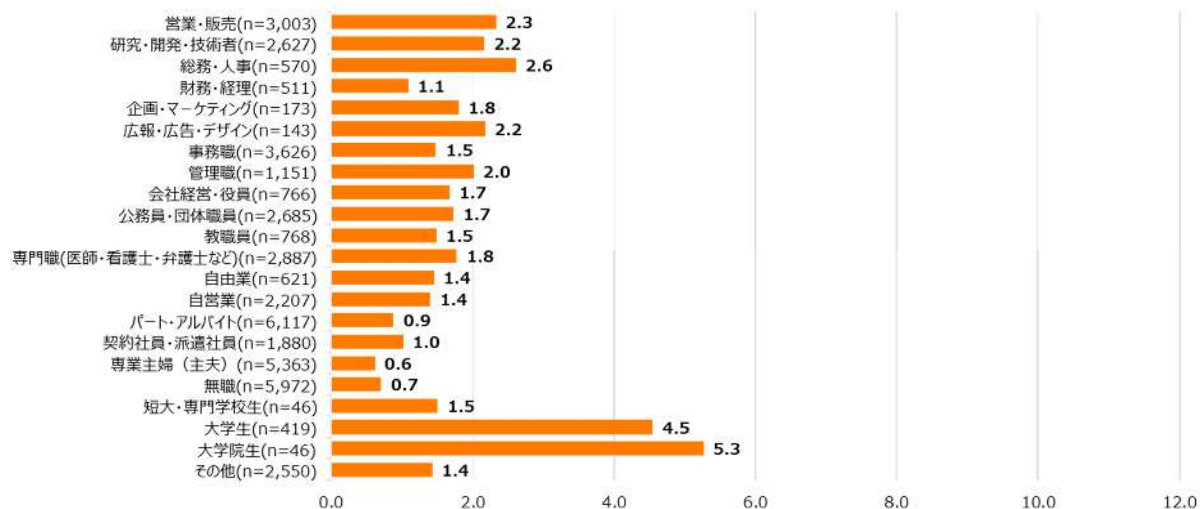
図表 42 県外イベント等参加者 (SA、n=44,131)



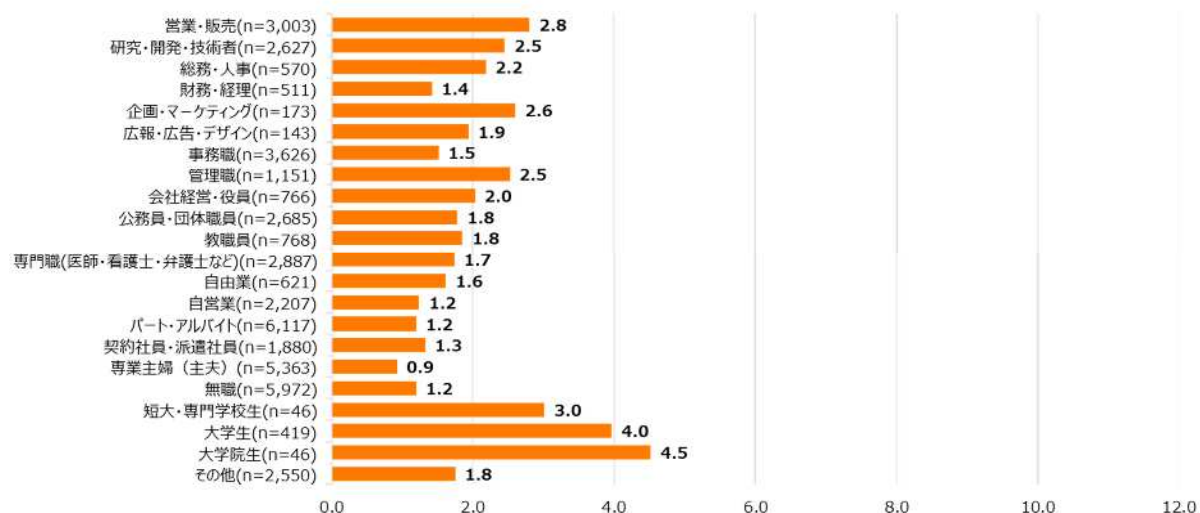
図表 43 県産品購入者(非訪問) (SA、n=44,131)



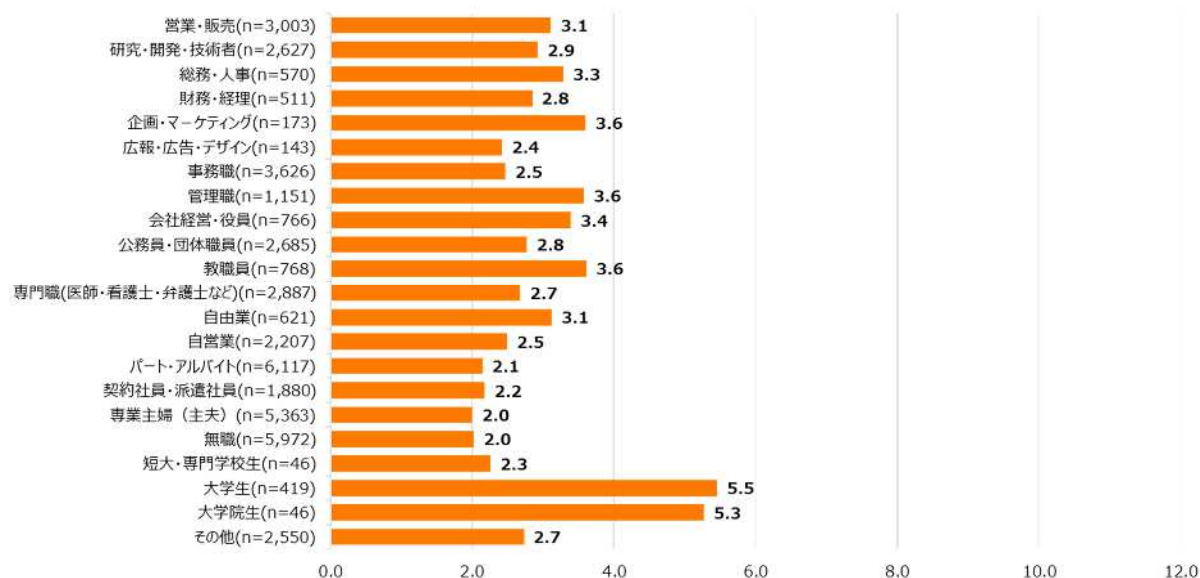
図表 44 SNS 等での情報取得者 (SA、n=44,131)



図表 45 富山県にゆかりがある者 (SA、n=44,131)



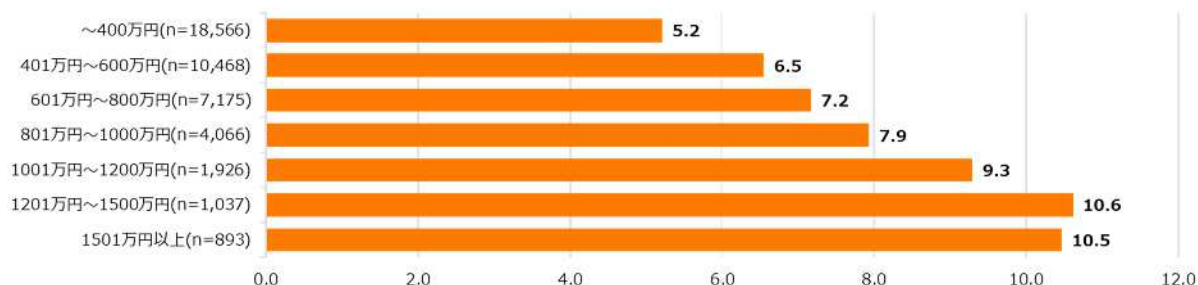
図表 46 (参考値) 家族や親戚が富山県にゆかりがある者 (SA、n=44,131)



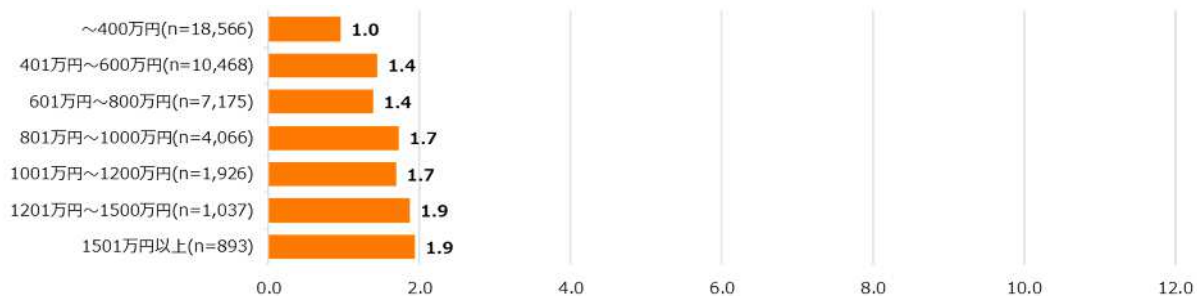
(4) 世帯年収²

関係人口の 9 分類のいずれかに該当する者の出現率は、世帯年収が高いほど高くなる傾向にある。特に、県産品購入者（訪問）、寄付等で県内自治体を支援する者、県産品購入者（非訪問）では、世帯年収による出現率の差が大きい。

図表 47 関係人口該当者 (SA、n=44,131)

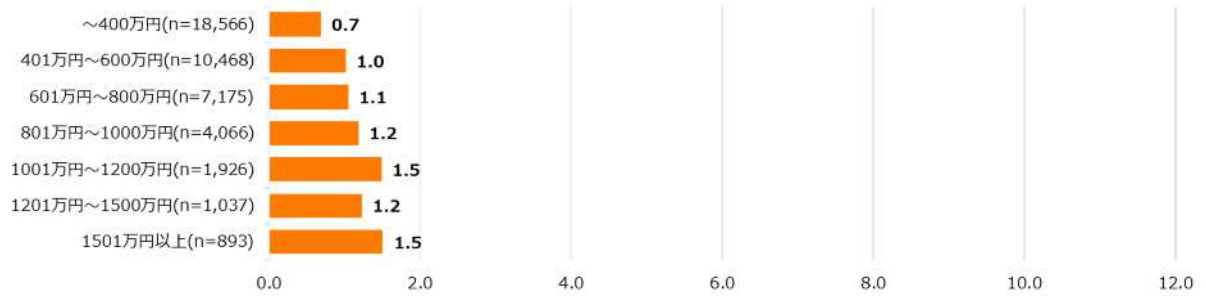


図表 48 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 (SA、n=44,131)

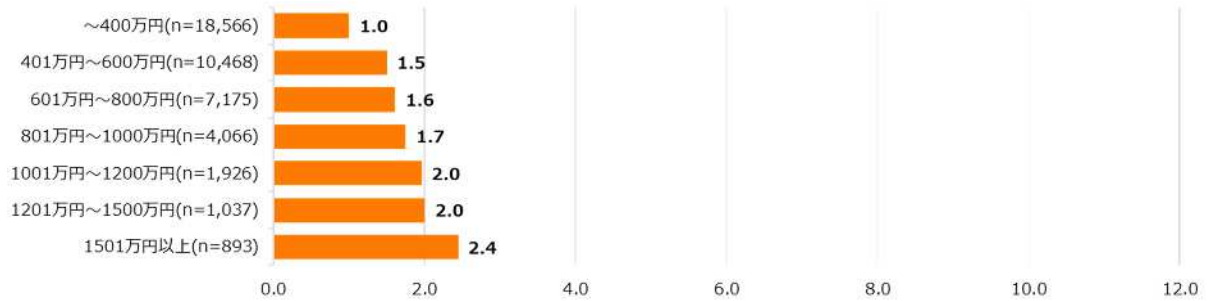


² 一部の属性不明者は回答数に含まない。

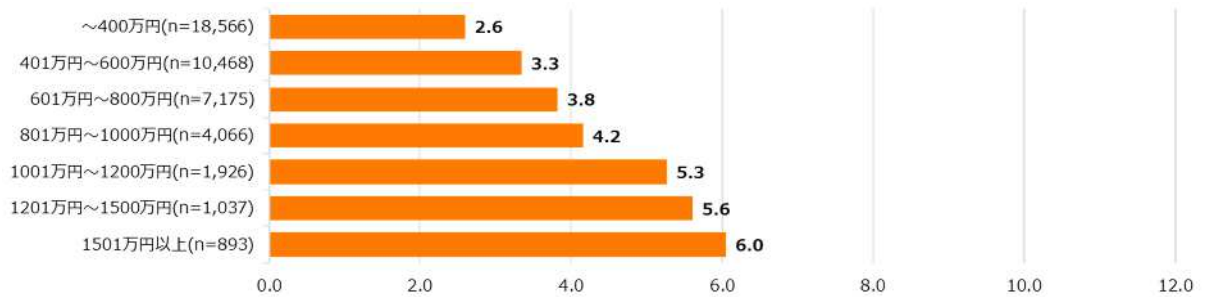
図表 49 二地域居住者 (SA、n=44,131)



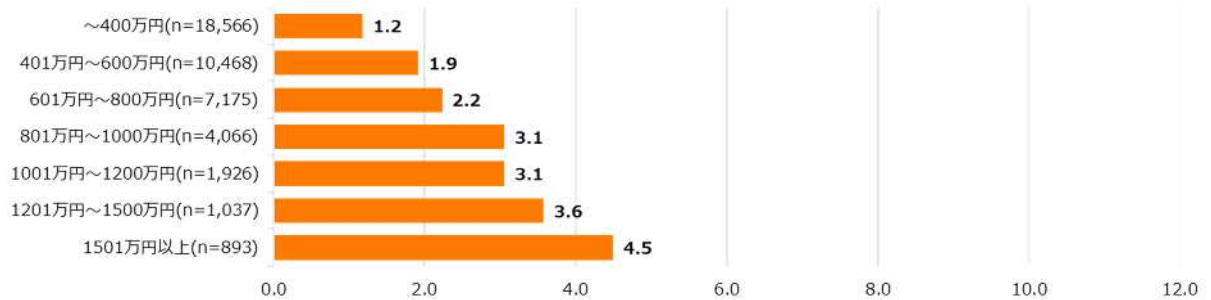
図表 50 県内イベント等参加者 (SA、n=44,131)



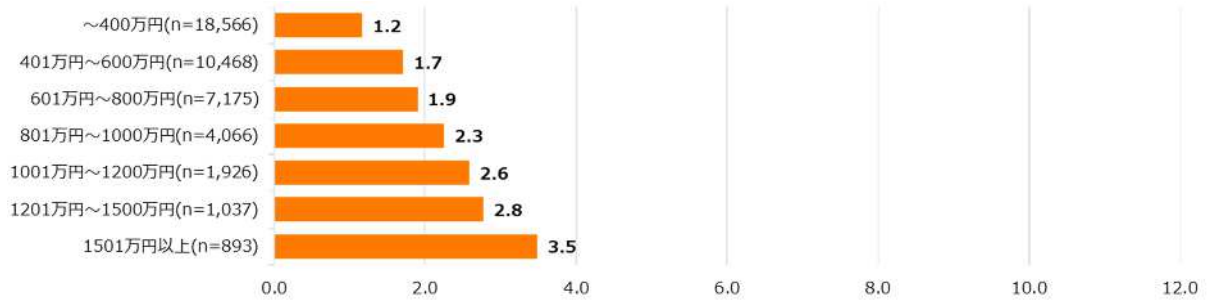
図表 51 県産品購入者 (訪問) (SA、n=44,131)



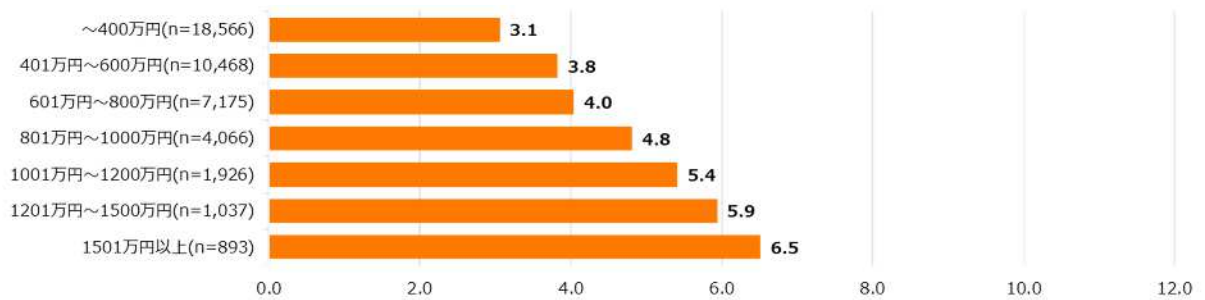
図表 52 寄付等で県内自治体を支援する者 (SA、n=44,131)



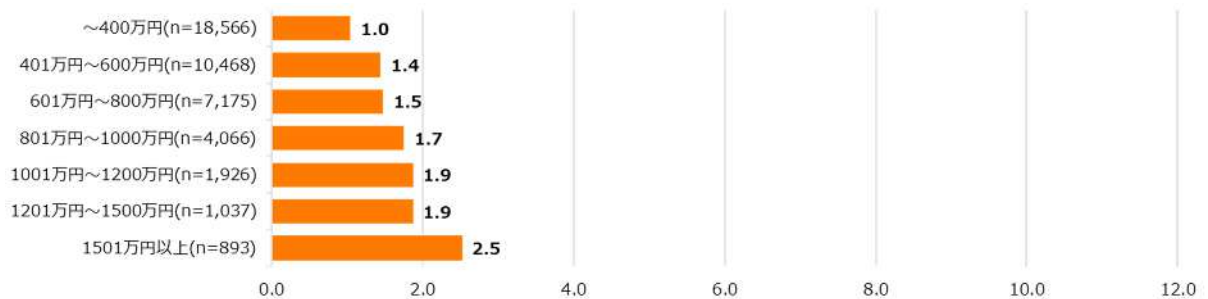
図表 53 県外イベント等参加者 (SA、n=44,131)



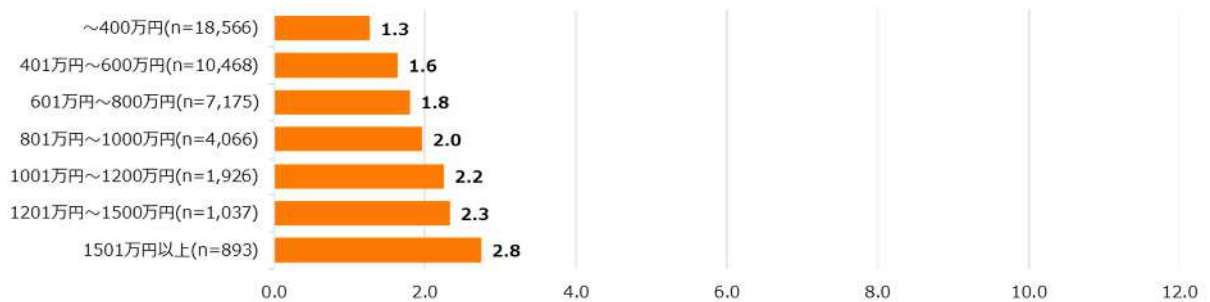
図表 54 県産品購入者 (非訪問) (SA、n=44,131)



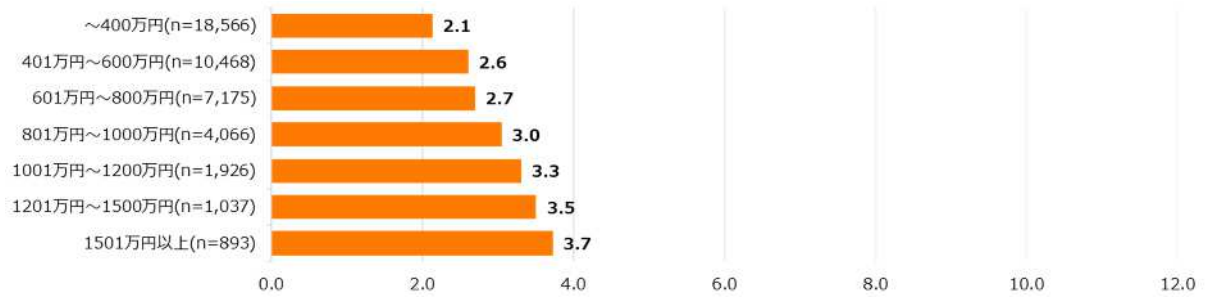
図表 55 SNS 等での情報取得者 (SA、n=44,131)



図表 56 富山県にゆかりがある者 (SA、n=44,131)



図表 57 (参考値) 家族や親戚が富山県にゆかりがある者 (SA、n=44,131)



4) 関係人口の分類・参考分類の相互関係

関係性が深い分類である地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者や二地域居住者、県内イベント等参加者は、他の関係人口の分類にも該当する割合が高い傾向にある。

SNS 等での情報取得者は、関係性があまり深くない分類であるが、県産品購入者（訪問）、寄付等で県内自治体を支援する者、県外イベント等参加者、県産品購入者（非訪問）といった他の分類に該当する割合が高い傾向にある。

図表 58 関係人口の分類・参考分類の相互関係 (MA×MA、n=46,000)

	凡例									
	: 8割以上、		: 6割以上、		: 4割以下、		: 2割以下			
	地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者	二地域居住者	県内イベント等参加者	県産品購入者(訪問)	寄付等で県内自治体を支援する者	県外イベント等参加者	県産品購入者(非訪問)	SNS等での情報取得者	富山県にゆかりがある者	家族や親戚が富山県にゆかりがある者
地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者(n=598)	100.0	64.7	68.2	73.0	67.7	63.3	68.8	61.7	51.0	55.4
二地域居住者(n=460)	87.2	100.0	80.5	82.9	76.8	75.8	78.3	71.9	64.8	68.0
県内イベント等参加者(n=644)	64.3	56.3	100.0	84.3	65.9	65.8	75.4	58.3	52.0	59.5
県産品購入者(訪問)(n=1564)	29.2	24.6	35.8	100.0	36.6	36.5	63.5	29.1	28.6	35.9
寄付等で県内自治体を支援する者(n=874)	47.0	39.6	48.5	63.5	100.0	50.7	67.4	47.6	38.6	45.6
県外イベント等参加者(n=782)	50.1	44.5	55.1	72.1	57.7	100.0	78.0	50.5	43.1	50.9
県産品購入者(非訪問)(n=1748)	24.5	20.6	28.4	56.5	34.5	35.1	100.0	26.7	25.5	32.8
SNS等での情報取得者(n=644)	59.2	51.1	59.3	69.7	65.7	61.3	71.8	100.0	48.3	55.1
富山県にゆかりがある者(n=736)	42.0	39.6	45.4	58.9	45.8	44.9	58.9	41.5	100.0	71.3
家族や親戚が富山県にゆかりがある者(n=1150)	29.3	26.6	33.3	47.4	34.7	34.0	48.7	30.4	45.7	100.0

第3章 関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資する調査

1. 調査目的

富山県における関係人口の創出・深化に向けた施策検討の基礎資料とするため、富山県における関係性が深い関係人口（地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者、二地域居住者）の特徴や関わり方の実態を明らかにする。

また、今後関係が深化する可能性がある関係人口（地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者、二地域居住者以外の関係人口の分類に該当する者）や、参考値として調査した家族や親戚が富山県にゆかりがある者（家族や親戚が富山県での居住・通学・通勤経験者）の志向等を明らかにする。

2. 調査概要

本調査の概要は以下のとおり。

図表 59 関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資する調査 本調査の実施概要

実施方法	WEB モニターアンケート調査
配布、回収方法	・ モニター調査会社が保有・提携するモニターを対象に WEB アンケートを実施 ・ 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者、二地域居住者から十分な回答数を 得られるよう割付し、回答を収集
対象者	富山県を除く全国 46 都道府県居住者のうち、第 2 章の「令和 7 年の富山県の関係人口の数を推計するための調査」にて、関係人口の 9 分類のうちいずれか、あるいは参考値として調査した家族や親戚が富山県にゆかりがある者（家族や親戚が富山県での居住・通学・通勤経験者）に該当した者
回答期間	12 月 9 日（火）～12 月 22 日（月）
有効回答件数	4,856 件

3. 調査項目

本調査の調査項目は以下のとおり。

図表 60 関係人口の創出・深化に向けた施策検討に資する調査 調査項目一覧

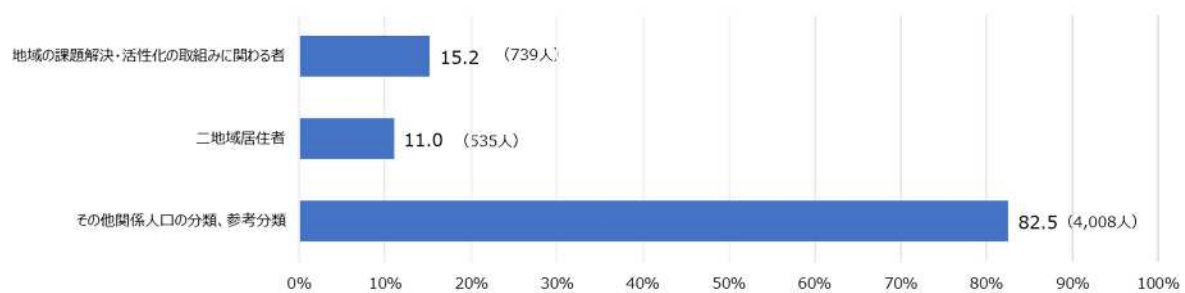
設問対象者	設問タイトル
地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地縁・血縁の有無、関わりの主体性 ・ 富山県を訪れる際の交通手段、富山県を訪れる際の滞在拠点、富山県を訪れる際の交通費・宿泊費 ・ 地域課題解決の取組の種類、具体的な取組内容 ・ 地域課題解決の取組への関与年数、地域課題解決の取組への関与年数 ・ 取組のきっかけ、取組・継続理由、取組の魅力、取組の障壁
二地域居住者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地縁・血縁の有無、関わりの主体性 ・ 富山県を訪れる際の交通手段、富山県を訪れる際の滞在拠点、富山県を訪れる際の交通費・宿泊費 ・ 二地域居住の目的 ・ 二地域居住の開始時期、一回あたりの滞在期間、年間訪問回数、滞在時期 ・ 富山県の選定のきっかけ、富山県の選定理由、具体的な経緯・理由、二地域居住の魅力、二地域居住の障壁
その他関係人口の分類、参考分類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の課題解決・活性化の取組みへの関心、関心のある取組の種別、関与の障壁 ・ 二地域居住自体への関心、二地域居住先として富山県への関心、二地域居住に期待すること、二地域居住の障壁

4. 調査結果³

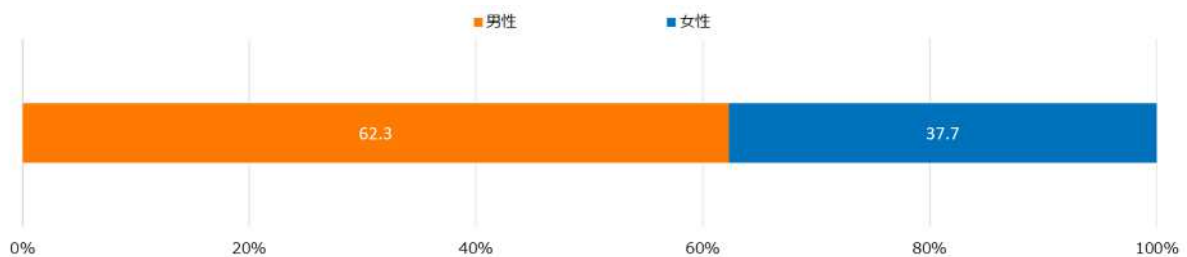
1) 回答者の属性

本調査の回答者の属性は以下のとおり。

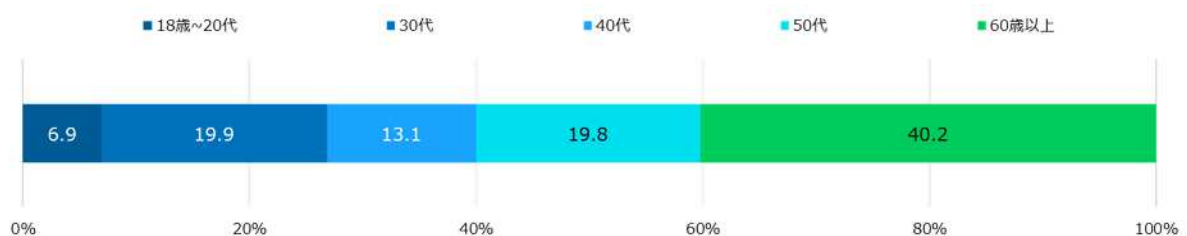
図表 61 回答者が該当する関係人口の分類・参考分類
(地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者、二地域居住者に該当する者はその他関係人口の分類に含まない) (MA、n=4,856)



図表 62 性別 (SA、n=4,856)

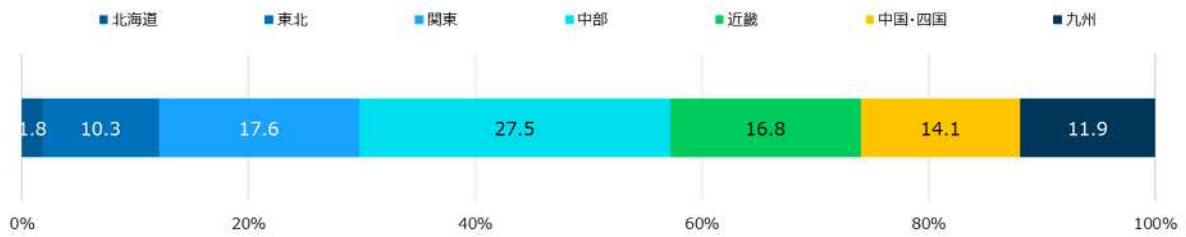


図表 63 年代 (SA、n=4,856)



³回答数が20件未満の項目については、参考値として掲載することとし、グレーアウト表示にしている。

図表 64 居住地 (SA、n=4,856)



2) 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の集計結果

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者は、「地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加」、「イベント等の運営」、「自然・環境保全活動」を始めとした多様な取組みに関わっており（図表 73）、地縁・血縁の有無と関わりの主体性で見ると、「地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的」の層が最も多い（図表 70）。

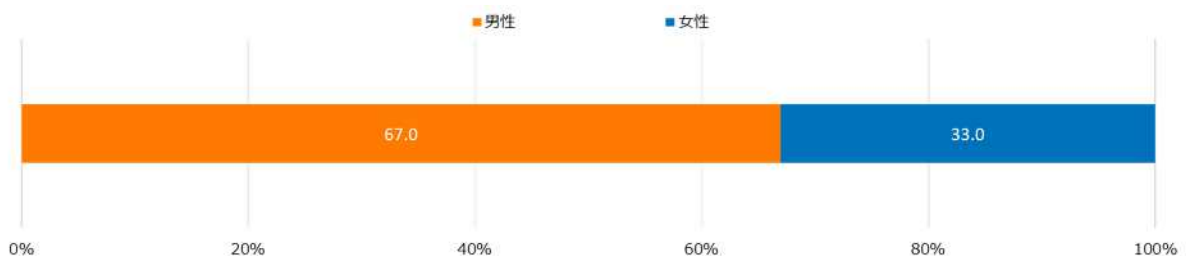
取組みの種類別に見ると、「起業」、「伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）」、「農業の手伝いや農山漁村の活性化」等で関与年数や比較的年間活動回数が多くなっていることが特徴である（図表 82、図表 87）。

取組みに関わる際の交通手段は居住地ごとに異なるが（図表 90）、滞在拠点はホテルや旅館が主流である（図表 91～図表 95）。取組みに関わるきっかけについては、「観光に来たことがあった」、「仕事で来たことがあった」、「イベントや地域活動への参加経験があった」が主なきっかけであるが、周辺の人の影響も見られる（図表 98）。このような傾向は二地域居住者と変わらない（図表 149）。

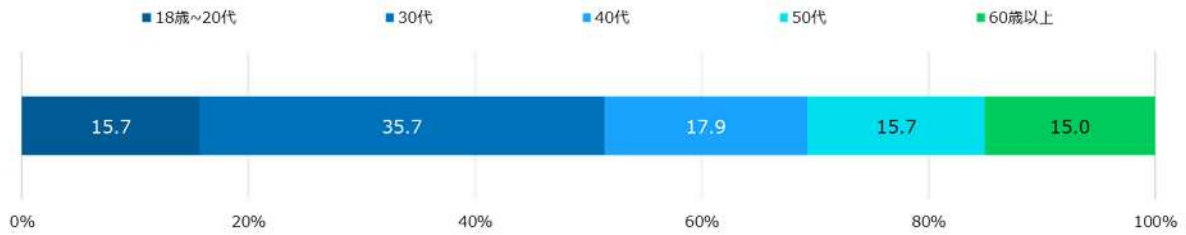
(1) 回答者属性

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の回答者の属性は、以下のとおり。

図表 65 性別 (SA、n=739)



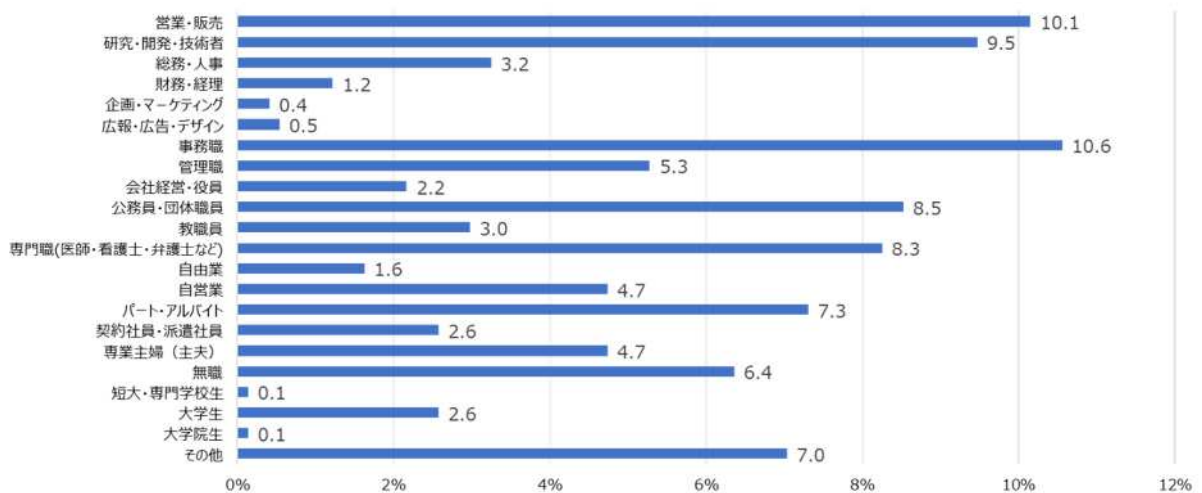
図表 66 年代 (SA、n=739)



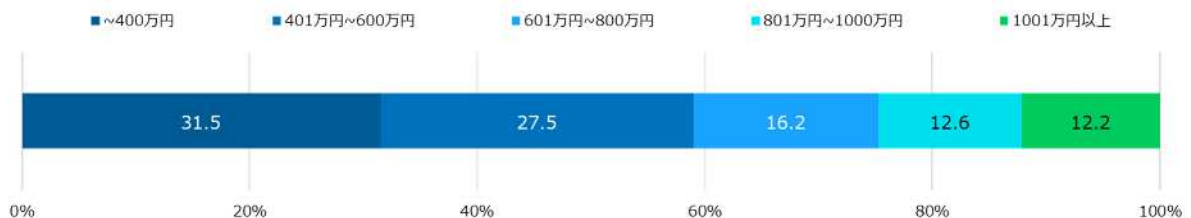
図表 67 居住地 (SA、n=739)



図表 68 職種 (SA、n=739)



図表 69 世帯年収 (SA、n=739)



(2) 地縁・血縁の有無と関わりの主体性

地縁・血縁の有無と関わりの主体性の 2 軸で 4 象限をとったとき、地域の課題解決・活性化の取組みに関

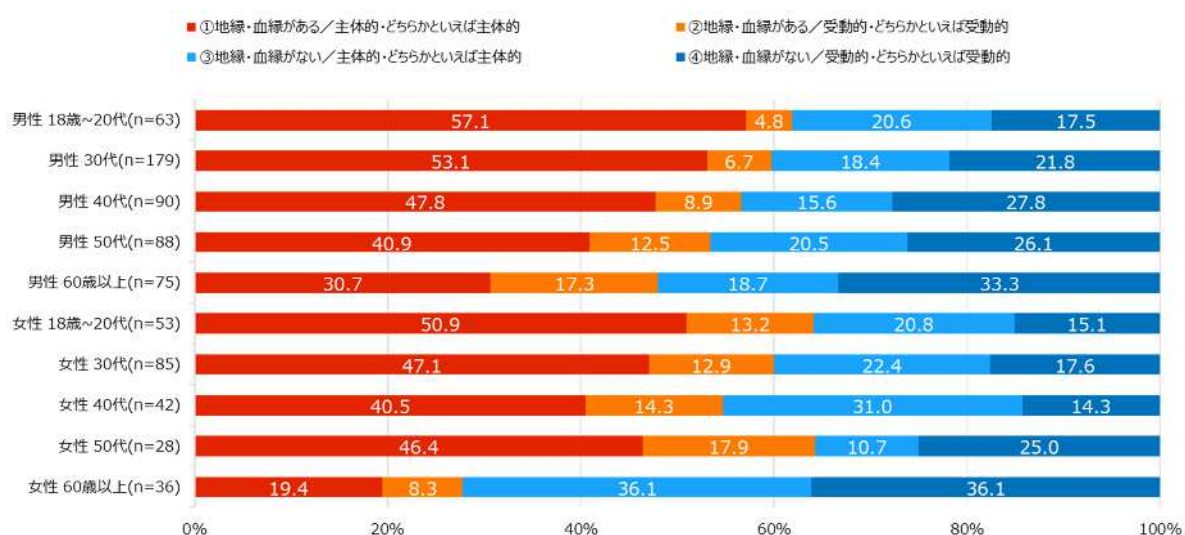
わる者のボリュームが最も多い層は「①地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的」の層である。

性年代ごとに地縁・血縁の有無と関わりの主体性を見ると、男女ともに、若い人の方が「①地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的」である人が多い傾向にある。

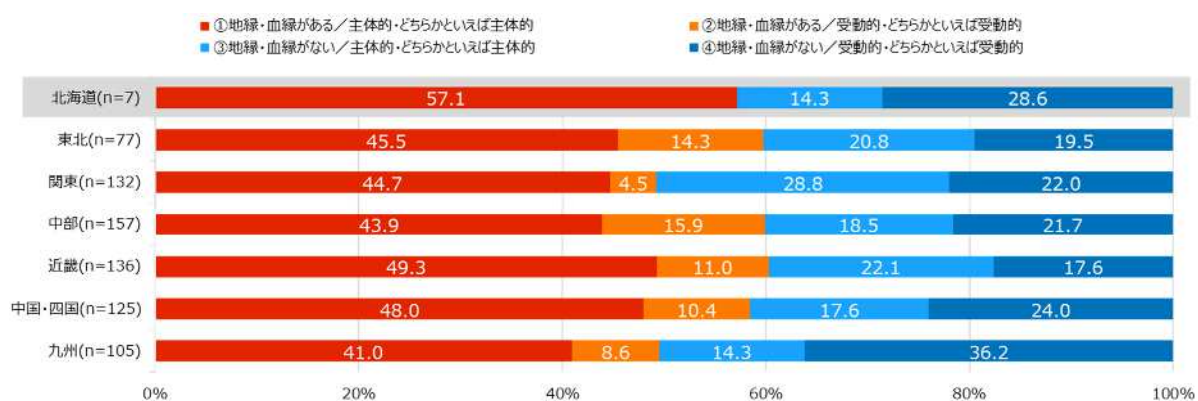
図表 70 地縁・血縁の有無と関わりの主体性 (SA、n=739、n 数全体に対する比率を表示)

	主体的・どちらかといえば主体的	受動的・どちらかといえば受動的
地縁・血縁がある(n=416)	① 45.6%	② 10.7%
地縁・血縁がない(n=323)	③ 20.4%	④ 23.3%

図表 71 性年代別 地縁・血縁の有無と関わりの主体性 (SA×SA、n=739)



図表 72 居住地別 地縁・血縁の有無と関わりの主体性 (SA×SA、n=739)



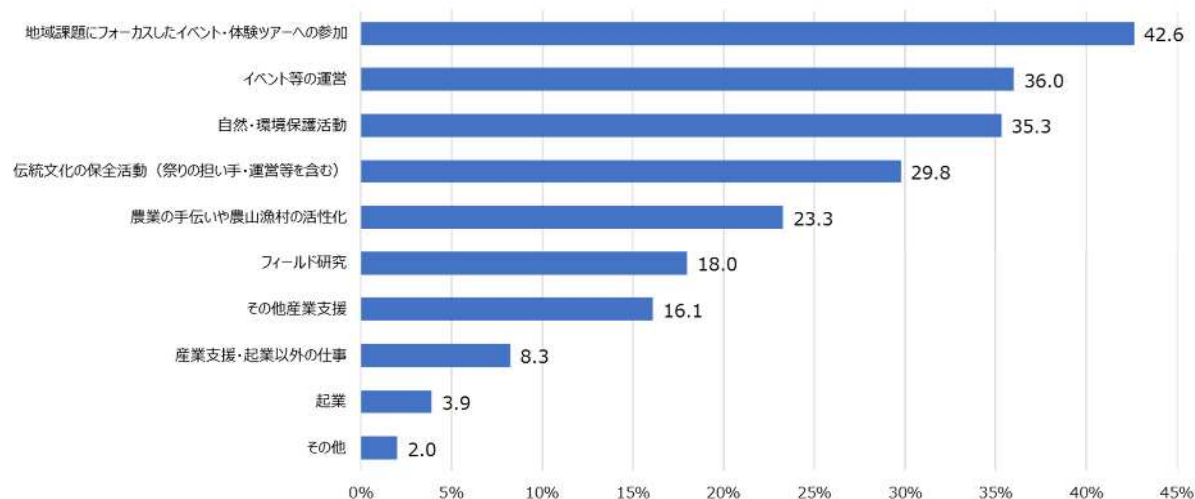
(3) 地域の課題解決・活性化の取組みの種類

地域の課題解決・活性化の取組みの種類は、「地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加」、

「イベント等の運営」、「自然・環境保全活動」の順に多い。

性年代別に見ると、「イベント等の運営」は、男女ともに若い層が関わる傾向にある。18歳～20代で「フィールド研究」が多く選ばれているのは、学生が選択しているためと考えられる。

図表 73 地域の課題解決・活性化の取組みの種類 (MA、n=739)



図表 74 性年代別 地域の課題解決・活性化の取組みの種類 (SA×MA、n=739)

凡例 : 30%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動 (祭りの担い手・運営等を含む)	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=739)	36.0	42.6	29.8	35.3	18.0	23.3	16.1	3.9	8.3	2.0
男性 18歳～20代(n=63)	54.0	39.7	30.2	36.5	31.7	15.9	12.7	3.2	1.6	1.6
男性 30代(n=179)	41.3	41.9	33.0	33.5	22.9	22.9	14.5	5.6	6.7	0.6
男性 40代(n=90)	33.3	41.1	30.0	34.4	16.7	23.3	22.2	2.2	10.0	3.3
男性 50代(n=88)	28.4	37.5	30.7	39.8	12.5	23.9	17.0	4.5	13.6	6.8
男性 60歳以上(n=75)	24.0	46.7	16.0	34.7	6.7	20.0	17.3	2.7	12.0	1.3
女性 18歳～20代(n=53)	35.8	56.6	37.7	41.5	34.0	24.5	26.4	3.8	1.9	0.0
女性 30代(n=85)	40.0	41.2	32.9	36.5	17.6	28.2	10.6	7.1	11.8	1.2
女性 40代(n=42)	42.9	47.6	31.0	33.3	7.1	31.0	14.3	2.4	9.5	0.0
女性 50代(n=28)	28.6	32.1	28.6	28.6	10.7	17.9	7.1	0.0	3.6	3.6
女性 60歳以上(n=36)	16.7	44.4	19.4	30.6	5.6	25.0	16.7	0.0	5.6	2.8

図表 75 居住地別 地域の課題解決・活性化の取組みの種類 (SA×MA、n=739)

凡例 : 30%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動(祭りの担い手・運営等を含む)	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=739)	36.0	42.6	29.8	35.3	18.0	23.3	16.1	3.9	8.3	2.0
北海道(n=7)	42.9	42.9	57.1	57.1	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0
東北(n=77)	41.6	39.0	28.6	39.0	15.6	19.5	19.5	2.6	6.5	0.0
関東(n=132)	40.2	40.9	22.0	30.3	20.5	19.7	12.1	2.3	6.1	3.8
中部(n=157)	34.4	44.6	26.1	37.6	16.6	22.3	8.3	1.3	3.8	2.5
近畿(n=136)	38.2	44.1	36.8	31.6	19.1	25.0	19.9	6.6	10.3	1.5
中国・四国(n=125)	29.6	44.8	29.6	33.6	18.4	24.8	23.2	4.8	10.4	0.8
九州(n=105)	33.3	40.0	35.2	41.0	17.1	28.6	17.1	6.7	13.3	2.9

図表 76 世帯年収別 地域の課題解決・活性化の取組みの種類 (SA×MA、n=739)

凡例 : 30%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動(祭りの担い手・運営等を含む)	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=739)	36.0	42.6	29.8	35.3	18.0	23.3	16.1	3.9	8.3	2.0
~400万円(n=233)	36.5	42.1	25.3	38.2	20.2	27.0	19.7	4.7	8.6	2.6
401万円~600万円(n=203)	34.5	38.4	29.1	35.5	18.2	23.6	11.8	3.4	5.4	2.0
601万円~800万円(n=120)	36.7	42.5	34.2	30.0	15.0	17.5	14.2	3.3	7.5	0.8
801万円~1000万円(n=93)	32.3	41.9	35.5	35.5	21.5	20.4	16.1	4.3	9.7	2.2
1001万円以上(n=90)	41.1	54.4	31.1	34.4	12.2	23.3	18.9	3.3	13.3	2.2

図表 77 地縁・血縁の有無と関わりの主体性別 地域の課題解決・活性化の取組みの種類 (SA×MA、n=739)

凡例 : 30%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動(祭りの担い手・運営等を含む)	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=739)	36.0	42.6	29.8	35.3	18.0	23.3	16.1	3.9	8.3	2.0
①地縁・血縁がある/主体的・どちらかといえば主体的(n=337)	47.5	49.6	37.7	36.5	24.0	31.2	16.6	7.1	6.8	0.0
②地縁・血縁がある/受動的・どちらかといえば受動的(n=79)	26.6	34.2	27.8	30.4	16.5	15.2	15.2	1.3	12.7	2.5
③地縁・血縁がない/主体的・どちらかといえば主体的(n=151)	29.1	47.0	28.5	39.7	17.9	22.5	12.6	0.7	10.6	3.3
④地縁・血縁がない/受動的・どちらかといえば受動的(n=172)	23.8	29.1	16.3	31.4	7.0	12.2	18.6	1.7	7.0	4.7

(4) 地域の課題解決・活性化の取組みの具体的な内容

富山県の関係人口が関わっている地域の課題解決・活性化の取組みの具体的な内容について、自由記述回答を分類した結果は以下のとおり。大きくはイベント関連、産業支援、地域活動支援に分類できるが、その内容は多様であることが分かる。

図表 78 地域の課題解決・活性化の取組みの具体的な内容（自由記述回答）

カテゴリ		回答例
イベント関連	地域活性化イベントへの参加	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山市内及び高岡市内における各種イベントの開催、支援活動の推進 ・ 課題解決のためのイベントフィールドワークに参加 ・ 地域の自然遺産のツアー参加
	スポーツを通じたまちおこし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県内のサッカーチームの運営に少し関わり協力した ・ 子ども達にスポーツを教える
産業支援	農業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県産のお米作りを手助けして、生産、流通、販促をして地域社会の取り組みに貢献した ・ 田植え、稲刈りなどを県民と一緒にを行う ・ 農業改良員の資格を活かして、地元の農協と一緒に地域に適した農作物の提案を行った ・ 一年に一度1ヶ月くらい農家でアルバイトをしている
	漁業支援・海洋資源活用	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海老の養殖 ・ 海洋ゴミの対策 ・ 氷見港でとれる魚 地産地消の販促
	医療・福祉分野の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者への買い物支援 ・ 空き家対策と高齢者の見守り ・ 富山の地域福祉を考える集会 ・ 地域の健康づくりの担い手不足等に対応した持続可能な健康作りの推進
	企業・商業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街の活性化、商店街の集客施策 ・ 富山県内の企業の業績向上を行なった ・ 魚津市の商工会の手伝い
	特産品の販促等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋深層水の特性を生かしたミネラルウォーターや化粧品の購入や商品の拡散 ・ 富山の米を世界に発信するプロジェクト ・ 白エビ天井を県内外にPRする
	観光業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光業の活性化や、観光名所に関する取材を行い、それをSNSにアップしたり、旅行会社のブログに富山県内の魅力を記載したりして、観光支援を行っている ・ 富山県の観光活性化の取り組みに参加した
地域活動支援	まちづくり・コミュニティ支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前イベントのサポート ・ 砺波市の街再開発のためのボランティア ・ 山間地域の活性化 ・ 富山県の講座に参加し地域性について知ることによって、その学びを深めている。また、自治会などに声をかけ、イベントの企画に取り組んでいる
	自然・環境問題への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境保護のためのゴミ拾い活動ボランティア ・ 気候変動に関する普及啓発

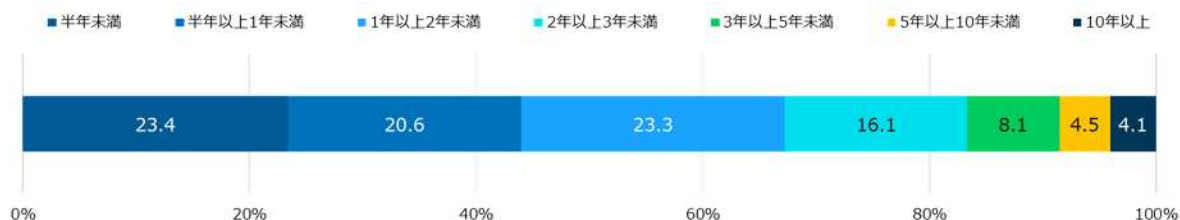
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然保護活動。鳥の保護、巣箱の設置 ・ 植林活動
	伝統文化の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 伝統の継承、口伝 ・ 地域の祭り ・ 地域の伝統、文化の積極的発信 ・ 伝統を継承したものづくり
	人口減少対策、移住促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者が移住するには何が有効か、自分が移住して体験してみようと計画中 ・ 人口減少抑止のため仕事を増やす ・ 少子高齢化対策に関する地域活性化の取組み ・ 若者のUターン就職支援
	災害復興	<ul style="list-style-type: none"> ・ 能登半島地震の復興支援 富山も被害が大きい為 ・ 震災の復興支援、地域のお祭りの見学 ・ 温かいカレー等の炊き出しを行った
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域おこし協力隊 ・ 地元の方とともに活動する ・ 都市公園でのボランティア ・ 富山湾の蜃気楼プロジェクト

(5) 関与年数

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の取組みへの関与年数は、2年未満の人が過半数である。性別で見ると、女性より男性の方が長い傾向にある。また、居住地別に見ると、1年以上関わっている人の割合は近畿で最も多い。

取組みの種類別に1年以上関わっている人の割合を見ると、「伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）」、「農業の手伝いや農山漁村の活性化」、「起業」は比較的関与年数が長く、「イベント等の運営」や「自然・環境保護活動」は比較的関与年数が短い。

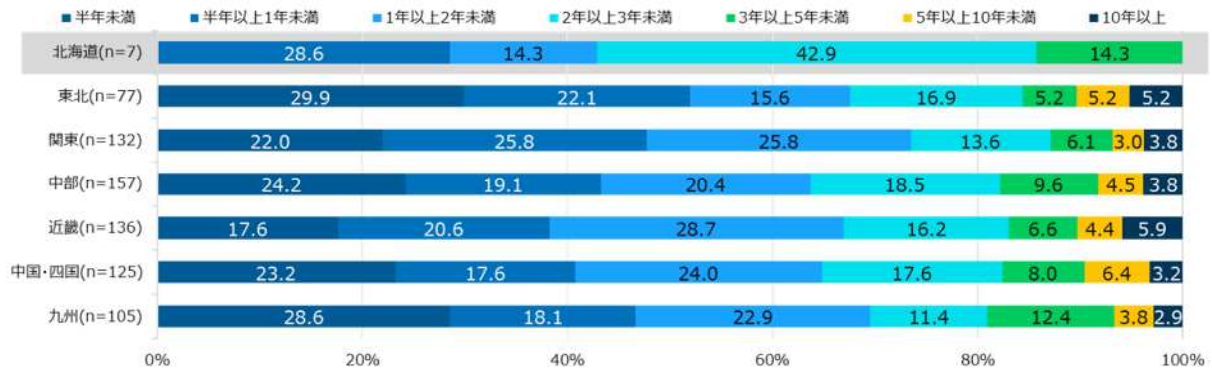
図表 79 関与年数 (SA、n=739)



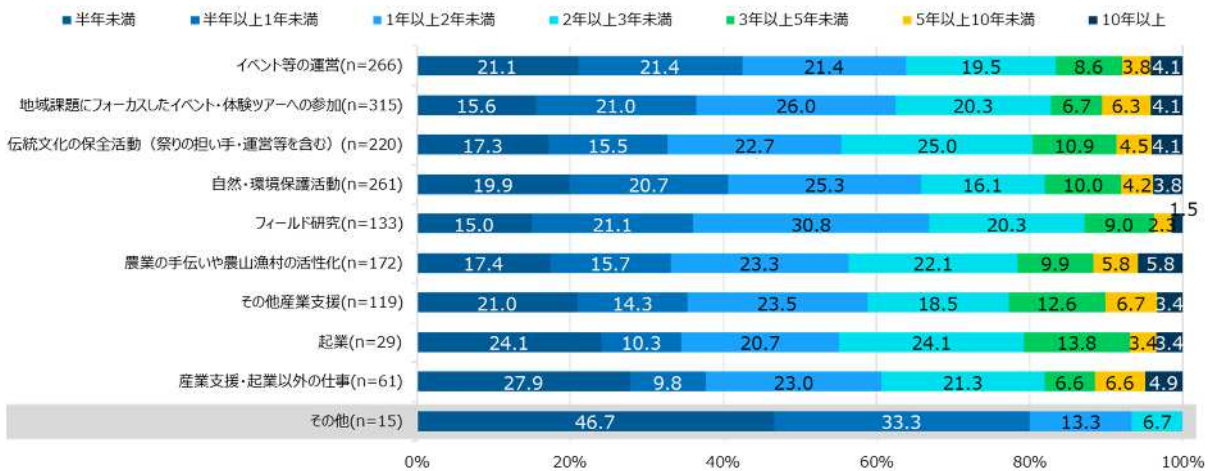
図表 80 性別 関与年数 (SA×SA、n=739)



図表 81 居住地別 関与年数 (SA×SA、n=739)



図表 82 取組みの種類別 関与年数 (MA×SA、n=739)



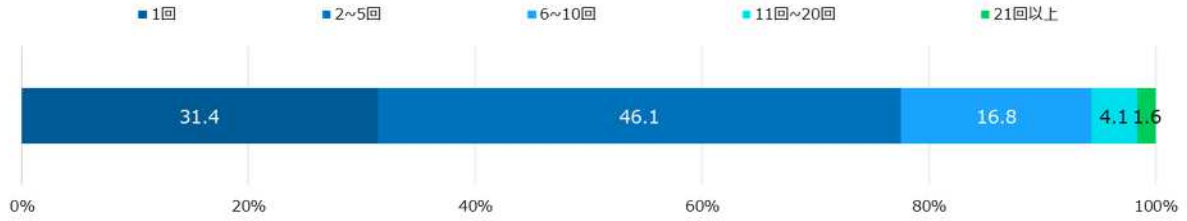
(6) 年間活動回数

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の年間活動回数は、「2～5 回」がボリューム層で半数近くに達する。

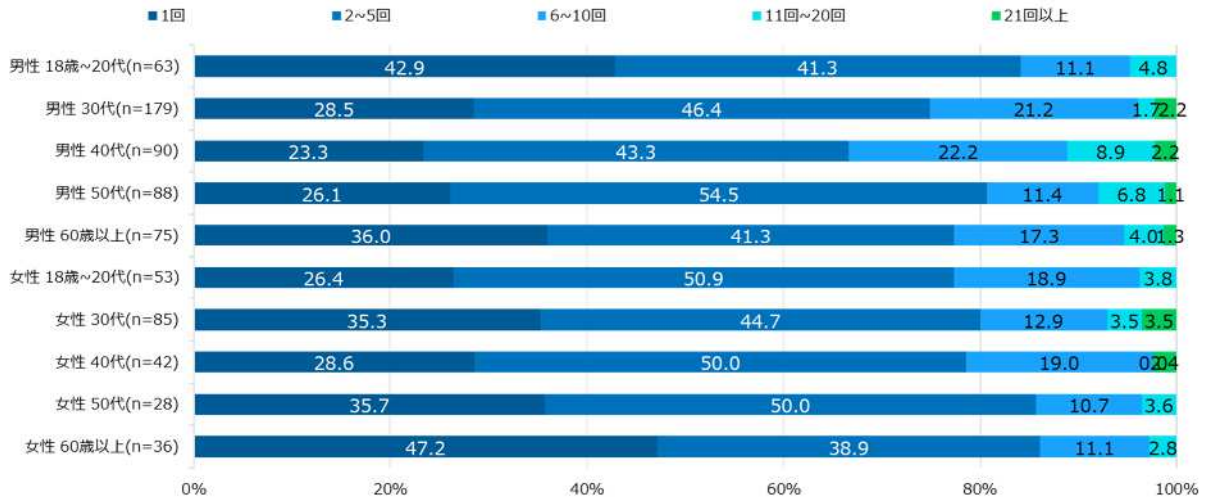
取組みの種類別に年に 2～5 回以上関わっている人の割合を見ると、「伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）」、「農業の手伝いや農山漁村の活性化」、「起業」等で比較的年間活動回数が多くなっている。これらの取組みは、関与年数も長い傾向にある。

また、関与年数別に見ると、関与年数が半年未満で年間活動回数が 1 回の人最も多く、次いで、1 年以上 2 年未満関わっていて年間 2～5 回活動する人が多い。

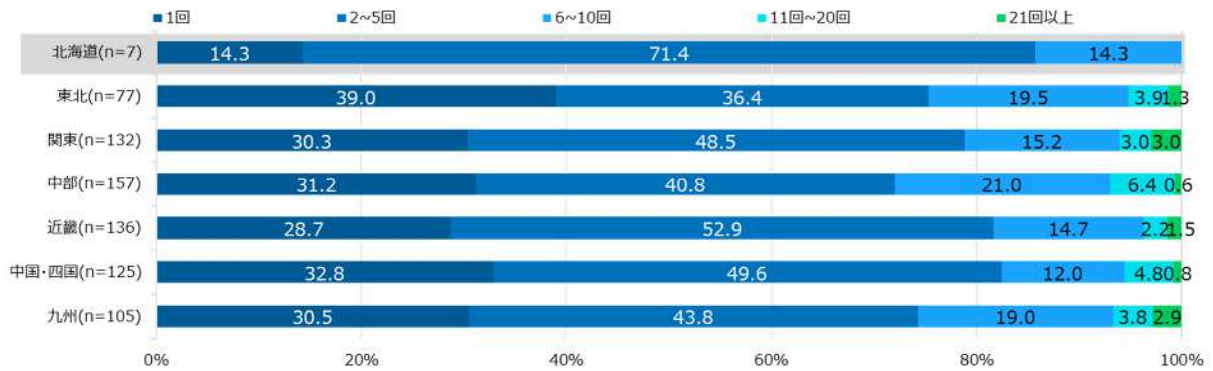
図表 83 年間活動回数 (SA、n=739)



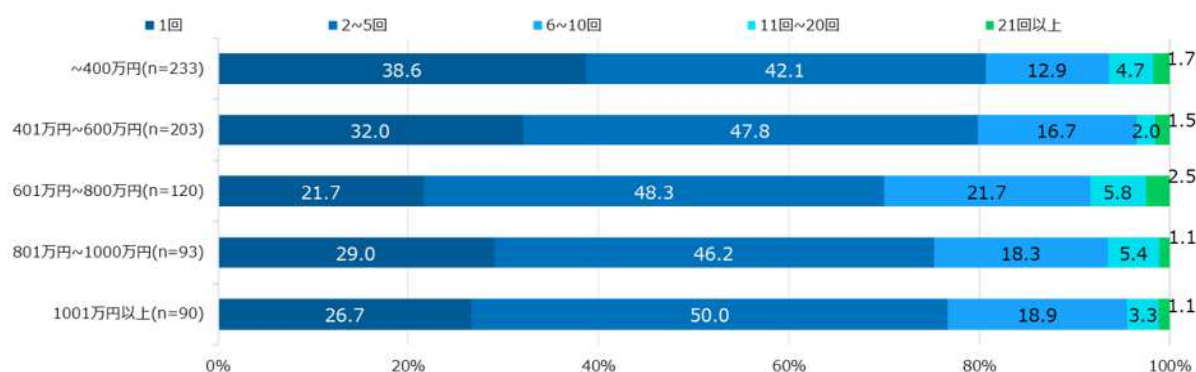
図表 84 性年代別 年間活動回数 (SA×SA、n=739)



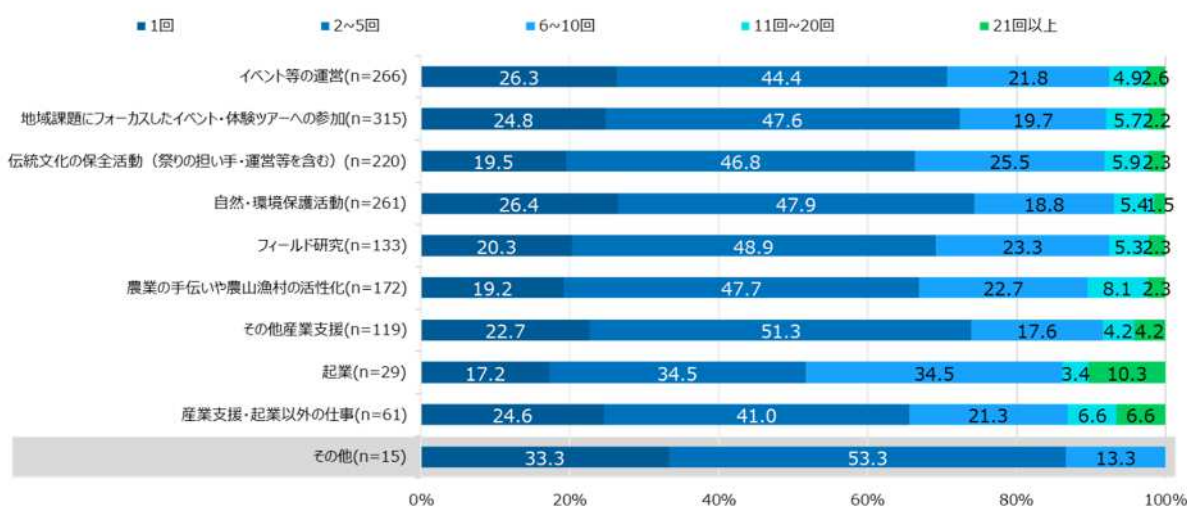
図表 85 居住地別 年間活動回数 (SA×SA、n=739)



図表 86 世帯年収別 年間活動回数 (SA×SA、n=739)



図表 87 取組みの種類別 年間活動回数 (MA×SA、n=739)



図表 88 関与年数別 年間活動回数 (SA×SA、n=739、n数全体に対する比率を表示)

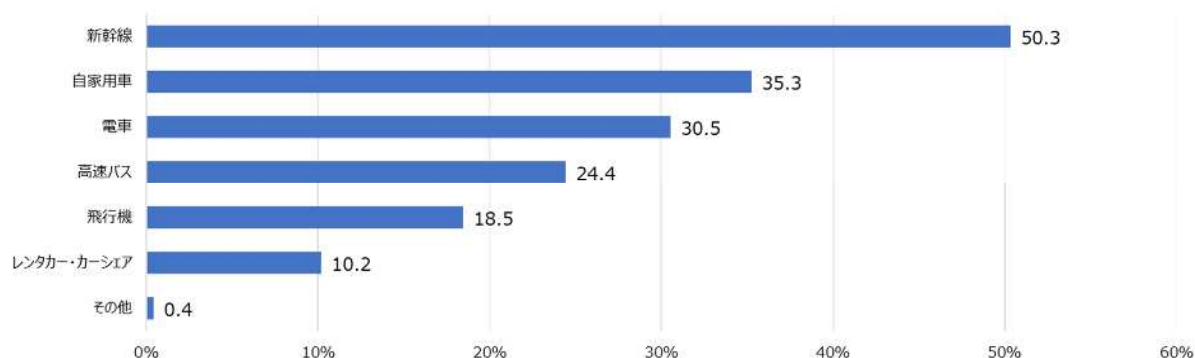
凡例 : n数全体に対する比率が10%以上

	1回	2~5回	6~10回	11回~20回	21回以上
半年未満(n=173)	17.9%	5.0%	0.3%	0.1%	0.1%
半年以上1年未満(n=152)	6.0%	12.0%	2.2%	0.4%	0.0%
1年以上2年未満(n=172)	3.9%	14.5%	4.1%	0.7%	0.1%
2年以上3年未満(n=119)	1.2%	8.0%	6.0%	0.8%	0.1%
3年以上5年未満(n=60)	1.1%	3.2%	2.7%	0.5%	0.5%
5年以上10年未満(n=33)	0.8%	1.9%	0.9%	0.8%	0.0%
10年以上(n=30)	0.5%	1.5%	0.7%	0.7%	0.7%

(7) 交通手段

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の交通手段は、関東、東北、近畿、中国・四国では「新幹線」、中部では「自家用車」、九州では「飛行機」が最も多い。

図表 89 交通手段 (MA、n=737)



図表 90 居住地別 交通手段 (SA×MA、n=737)

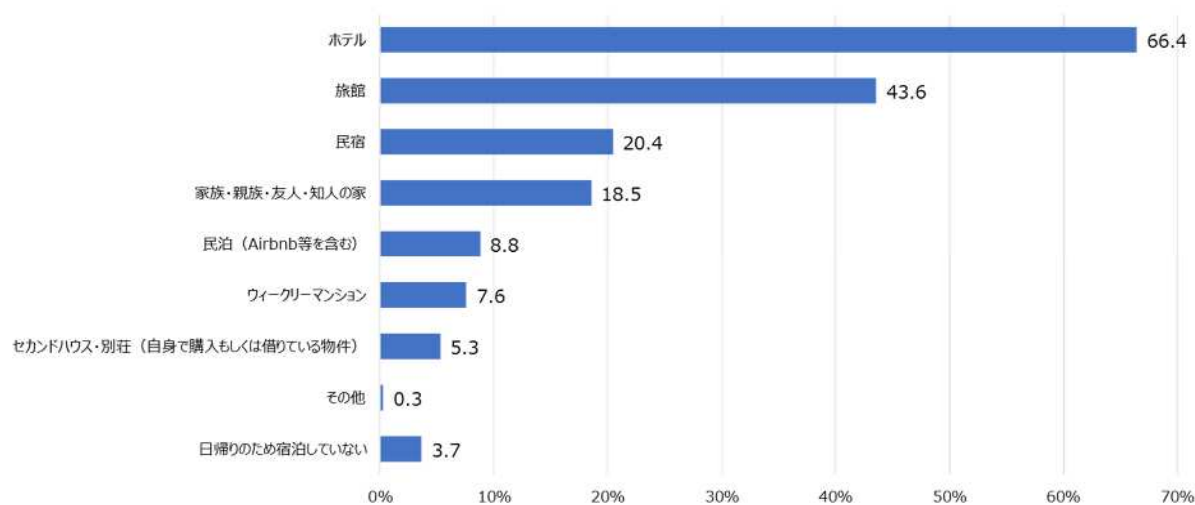
	凡例							
	飛行機	新幹線	高速バス	電車	レンタカー・カーシェア	自家用車	その他	
全体(n=737)	18.5	50.3	24.4	30.5	10.2	35.3	0.4	
北海道(n=7)	85.7	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	0.0	
東北(n=77)	24.7	59.7	23.4	19.5	6.5	31.2	0.0	
関東(n=132)	13.6	64.4	16.7	19.7	9.8	32.6	0.0	
中部(n=155)	—	36.1	22.6	32.9	6.5	54.2	1.3	
近畿(n=136)	—	52.9	28.7	41.9	11.0	34.6	0.7	
中国・四国(n=125)	28.8	47.2	31.2	31.2	9.6	26.4	0.0	
九州(n=105)	54.3	47.6	22.9	32.4	17.1	24.8	0.0	

(8) 滞在拠点

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の滞在拠点には、「ホテル」や「旅館」が選択される割合が多く、「民宿」や「家族・親族・友人・知人の家」が続く。

関わっている取組みの種類ごとの利用する滞在拠点の差を見ると、「農業の手伝いや農山漁村の活性化」、「その他産業支援」、「起業」、「産業支援・起業以外の仕事」といった産業関連や仕事で関わっている人は、「家族・親族・友人・知人の家」を多く選択する傾向にある。

図表 91 滞在拠点 (MA、n=739)



図表 92 性年代別 滞在拠点 (SA×MA、n=739)

凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他	日帰りのため宿泊していない
全体(n=739)	66.4	43.6	20.4	8.8	7.6	5.3	18.5	0.3	3.7
男性 18歳~20代(n=63)	63.5	44.4	20.6	12.7	14.3	6.3	14.3	0.0	4.8
男性 30代(n=179)	69.8	49.2	23.5	10.6	8.9	8.4	16.8	0.0	2.8
男性 40代(n=90)	56.7	44.4	23.3	6.7	6.7	6.7	22.2	0.0	3.3
男性 50代(n=88)	54.5	37.5	15.9	8.0	10.2	1.1	17.0	2.3	6.8
男性 60歳以上(n=75)	73.3	34.7	10.7	0.0	1.3	1.3	21.3	0.0	0.0
女性 18歳~20代(n=53)	67.9	47.2	28.3	15.1	15.1	5.7	20.8	0.0	7.5
女性 30代(n=85)	69.4	45.9	20.0	14.1	4.7	5.9	21.2	0.0	2.4
女性 40代(n=42)	88.1	40.5	28.6	9.5	2.4	7.1	19.0	0.0	0.0
女性 50代(n=28)	60.7	35.7	25.0	3.6	7.1	3.6	21.4	0.0	3.6
女性 60歳以上(n=36)	63.9	44.4	5.6	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	8.3

図表 93 居住地別 滞在拠点 (SA×MA、n=739)

凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他	日帰りのため宿泊していない
全体(n=739)	66.4	43.6	20.4	8.8	7.6	5.3	18.5	0.3	3.7
北海道(n=7)	85.7	85.7	42.9	14.3	0.0	0.0	42.9	0.0	0.0
東北(n=77)	74.0	44.2	16.9	7.8	7.8	3.9	13.0	0.0	2.6
関東(n=132)	63.6	44.7	21.2	7.6	7.6	3.8	12.1	0.8	3.0
中部(n=157)	59.2	40.1	21.0	8.9	6.4	6.4	19.7	0.0	8.3
近畿(n=136)	66.9	48.5	19.1	11.8	7.4	5.1	24.3	0.0	2.9
中国・四国(n=125)	67.2	37.6	20.8	8.8	7.2	8.0	18.4	0.8	0.8
九州(n=105)	72.4	44.8	21.0	6.7	10.5	3.8	20.0	0.0	2.9

図表 94 世帯年収別 滞在拠点 (SA×MA、n=739)

凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他	日帰りのため宿泊していない	
全体(n=739)		66.4	43.6	20.4	8.8	7.6	5.3	18.5	0.3	3.7
~400万円(n=233)		63.9	40.8	23.6	6.0	8.6	6.0	18.9	0.4	4.7
401万円~600万円(n=203)		66.0	44.3	17.7	9.9	8.4	4.9	15.8	0.5	3.9
601万円~800万円(n=120)		62.5	42.5	17.5	10.0	9.2	4.2	17.5	0.0	3.3
801万円~1000万円(n=93)		78.5	35.5	20.4	11.8	4.3	6.5	16.1	0.0	2.2
1001万円以上(n=90)		66.7	58.9	22.2	8.9	4.4	4.4	27.8	0.0	2.2

図表 95 取組みの種類別 滞在拠点 (MA×MA、n=739)

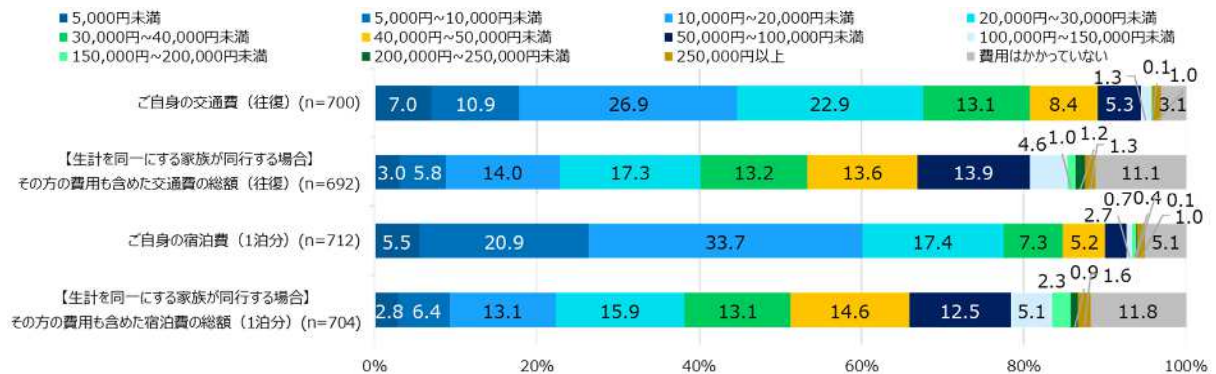
凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他	日帰りのため宿泊していない	
全体(n=739)		66.4	43.6	20.4	8.8	7.6	5.3	18.5	0.3	3.7
イベント等の運営(n=266)		76.3	51.9	27.8	13.5	13.5	9.0	21.1	0.0	2.6
地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加(n=315)		73.0	57.5	27.3	12.7	9.5	7.6	21.9	0.6	1.6
伝統文化の保全活動 (祭りの担い手・運営等を含む)(n=220)		67.7	58.2	34.1	20.5	12.7	9.1	24.1	0.9	1.4
自然・環境保護活動(n=261)		73.9	49.8	30.7	12.3	11.9	9.2	23.4	0.4	1.9
フィールド研究(n=133)		73.7	56.4	34.6	24.1	18.8	17.3	28.6	0.0	0.0
農業の手伝いや農山漁村の活性化(n=172)		69.8	60.5	34.9	19.2	18.0	12.8	36.0	0.6	0.6
その他産業支援(n=119)		71.4	48.7	28.6	16.8	19.3	12.6	31.9	0.0	3.4
起業(n=29)		89.7	72.4	44.8	48.3	31.0	34.5	51.7	0.0	0.0
産業支援・起業以外の仕事(n=61)		82.0	49.2	31.1	21.3	19.7	18.0	37.7	0.0	6.6
その他(n=15)		53.3	26.7	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	33.3

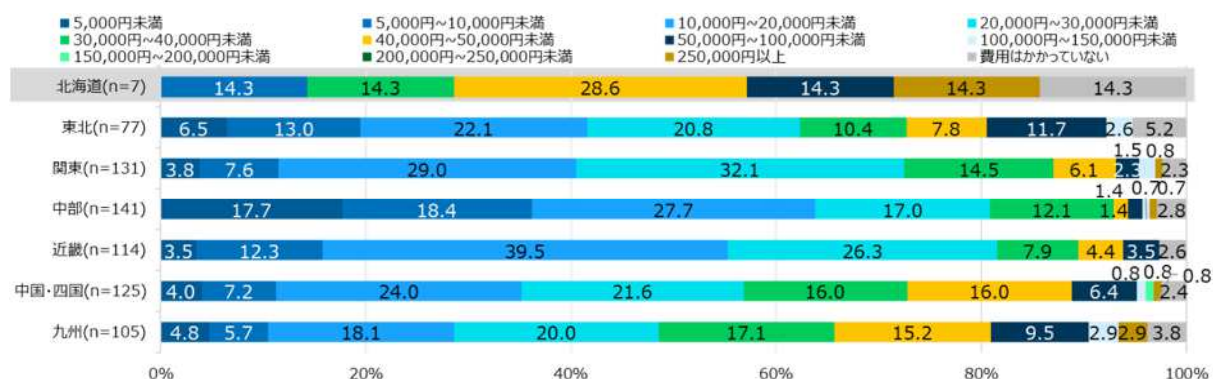
(9) 訪問時の交通費・宿泊費

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の交通費・宿泊費について、1人あたりの往復の交通費は過半数が30,000円未満、1人あたりの1泊の宿泊費は過半数が20,000円未満である。

図表 96 訪問時の交通費・宿泊費 (SA)



図表 97 居住地別 1人あたりの交通費 (SA×SA、n=700)



(10) 取組みに関わるきっかけ

地域の課題解決・活性化の取組みに関わるきっかけは、「観光に来たことがあった」、「仕事で来たことがあった」、「イベントや地域活動への参加経験があった」の順に選択された割合が高い。二地域居住者でも同様の傾向がみられるが、これらの項目はいずれも、二地域居住者より地域の課題解決・活性化の取組みに関わるの方が選択された割合が高く、特に「観光に来たことがあった」は10%程度高い(図表 149)。

「友人・知人が住んでいる」、「家族・親戚・友人・知人から取組みを紹介された」、「家族・親戚が、過去または現在に富山県に居住あるいは通学・通勤している」といった周辺の人の影響も、きっかけとして多く挙げられている。このような傾向も、二地域居住者と同様である(図表 149)。

性年代ごとの差を見ると、女性は特に「観光に来たことがあった」が選択する人の割合が多く、男性は「仕事で来たことがあった」を選択する人の割合が多い。

図表 98 取組みに関わるきっかけ (MA、n=739)



図表 99 性年代別 取組みに関わるきっかけ (SA×MA、n=739)

凡例 : 20%以上が選択

	観光に来た ことがあった	仕事で来た ことがあった	イベントや地 域活動への 参加経験が あった	学生時代に 研究フイール ドとしていた	高山県出身 である	高山県出身 ではないが、 学生時代に 住んでいた	高山県出身 ではないが、 仕事の都合 で住んでいた	家族・親戚 が、過去また は現在に高 山県に居住 あるいは通 学・通勤して いる	友人・知人 が住んでいる	家族・親戚 ・友人・知人 から取組み を紹介された	取組みに関 心があり、自 身でSNSや インターネット で取組みを 探して見つけ た	SNSやイン ターネット サーフィン中 に流れてきた 情報で偶然 知った	自分で選択 したわけは ない(仕事 や家族の都 合等)	その他
全体(n=739)	58.1	32.3	27.5	12.4	6.1	5.8	8.3	15.0	22.5	16.4	11.6	9.2	3.4	1.4
男性 18歳~20 代(n=63)	57.1	31.7	34.9	19.0	9.5	7.9	4.8	15.9	19.0	15.9	15.9	9.5	1.6	1.6
男性 30代 (n=179)	54.2	39.7	30.2	15.1	8.4	7.8	9.5	16.2	19.0	16.2	11.7	11.7	1.7	1.1
男性 40代 (n=90)	56.7	35.6	28.9	12.2	6.7	10.0	6.7	15.6	28.9	17.8	6.7	4.4	5.6	2.2
男性 50代 (n=88)	48.9	42.0	30.7	8.0	2.3	5.7	12.5	10.2	22.7	18.2	5.7	9.1	3.4	1.1
男性 60歳以上 (n=75)	61.3	32.0	18.7	6.7	1.3	1.3	5.3	13.3	22.7	10.7	9.3	4.0	4.0	2.7
女性 18歳~20 代(n=53)	66.0	20.8	22.6	20.8	5.7	9.4	17.0	30.2	13.2	26.4	22.6	13.2	1.9	0.0
女性 30代 (n=85)	56.5	28.2	23.5	16.5	8.2	3.5	7.1	11.8	25.9	9.4	15.3	9.4	4.7	0.0
女性 40代 (n=42)	71.4	31.0	38.1	2.4	2.4	0.0	7.1	14.3	38.1	21.4	16.7	11.9	0.0	0.0
女性 50代 (n=28)	64.3	17.9	32.1	10.7	7.1	3.6	7.1	10.7	21.4	17.9	3.6	7.1	3.6	3.6
女性 60歳以上 (n=36)	69.4	5.6	8.3	2.8	5.6	0.0	0.0	11.1	16.7	16.7	11.1	11.1	11.1	2.8

図表 100 居住地別 取組みに関わるきっかけ (SA×MA、n=739)

凡例 : 20%以上が選択

	観光に来た ことがあった	仕事で来た ことがあった	イベントや地 域活動への 参加経験が あった	学生時代に 研究フイール ドとしていた	高山県出身 である	高山県出身 ではないが、 学生時代に 住んでいた	高山県出身 ではないが、 仕事の都合 で住んでいた	家族・親戚 が、過去また は現在に高 山県に居住 あるいは通 学・通勤して いる	友人・知人 が住んでいる	家族・親戚 ・友人・知人 から取組み を紹介された	取組みに関 心があり、自 身でSNSや インターネット で取組みを 探して見つけ た	SNSやイン ターネット サーフィン中 に流れてきた 情報で偶然 知った	自分で選択 したわけは ない(仕事 や家族の都 合等)	その他
全体(n=739)	58.1	32.3	27.5	12.4	6.1	5.8	8.3	15.0	22.5	16.4	11.6	9.2	3.4	1.4
北海道(n=7)	42.9	42.9	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0
東北(n=77)	54.5	32.5	32.5	10.4	3.9	2.6	7.8	13.0	18.2	14.3	5.2	7.8	2.6	3.9
関東(n=132)	60.6	31.8	19.7	13.6	7.6	6.1	3.0	10.6	21.2	13.6	14.4	9.8	0.0	2.3
中部(n=157)	55.4	25.5	29.9	10.2	8.3	3.8	8.3	16.6	22.3	15.3	7.0	5.7	5.1	0.6
近畿(n=136)	69.1	38.2	32.4	11.0	5.9	7.4	9.6	16.2	29.4	20.6	16.2	11.0	2.2	0.7
中国・四国 (n=125)	58.4	33.6	21.6	16.0	4.8	6.4	12.0	13.6	25.6	18.4	14.4	11.2	4.8	0.0
九州(n=105)	47.6	33.3	29.5	13.3	3.8	8.6	9.5	21.0	15.2	15.2	10.5	10.5	5.7	1.9

図表 101 世帯年収別 取組みに関わるきっかけ (SA×MA、n=739)

凡例 : 20%以上が選択

	観光に来た ことがあった	仕事で来た ことがあった	イベントや地 域活動への 参加経験が あった	学生時代に 研究フィール ドとしていた	富山県出身 である	富山県出身 ではないが、 学生時代に 住んでいた	富山県出身 ではないが、 仕事の都合 で住んでいた	家族・親戚 が、過去また は現在に富 山県に居住 あるいは通 学・通勤して いる	友人・知人 が住んでいる	家族・親戚・ 友人・知人 から取組み を紹介された	取組みに関 心があり、自 身でSNSや インターネット で取組みを 探して見つけ た	SNSやイン ターネット サーフィン中 に流れてきた 情報で偶然 知った	自分で選択 したわけでは ない(仕事 や家族の部 合等)	その他
全体(n=739)	58.1	32.3	27.5	12.4	6.1	5.8	8.3	15.0	22.5	16.4	11.6	9.2	3.4	1.4
~400万円 (n=233)	60.9	27.5	25.8	15.5	6.0	4.7	9.0	15.0	19.7	16.7	12.4	10.7	3.0	1.3
401万円~600 万円(n=203)	57.1	29.6	27.1	6.4	5.9	4.4	5.4	14.3	21.2	13.8	10.8	7.9	4.4	1.5
601万円~800 万円(n=120)	55.8	31.7	30.8	11.7	9.2	8.3	11.7	11.7	23.3	15.0	11.7	5.8	2.5	0.8
801万円 ~1000万円 (n=93)	52.7	41.9	25.8	18.3	6.5	7.5	6.5	12.9	25.8	12.9	8.6	9.7	3.2	2.2
1001万円以上 (n=90)	61.1	42.2	30.0	13.3	2.2	6.7	10.0	23.3	27.8	26.7	14.4	12.2	3.3	1.1

図表 102 取組みの種類別 取組みに関わるきっかけ (MA×MA、n=739)

凡例 : 30%以上が選択

	観光に来た ことがあった	仕事で来た ことがあった	イベントや地 域活動への 参加経験が あった	学生時代に 研究フィール ドとしていた	富山県出身 である	富山県出身 ではないが、 学生時代に 住んでいた	富山県出身 ではないが、 仕事の都合 で住んでいた	家族・親戚 が、過去また は現在に富 山県に居住 あるいは通 学・通勤して いる	友人・知人 が住んでいる	家族・親戚・ 友人・知人 から取組み を紹介された	取組みに関 心があり、自 身でSNSや インターネット で取組みを 探して見つけ た	SNSやイン ターネット サーフィン中 に流れてきた 情報で偶然 知った	自分で選択 したわけでは ない(仕事 や家族の部 合等)	その他
全体(n=739)	58.1	32.3	27.5	12.4	6.1	5.8	8.3	15.0	22.5	16.4	11.6	9.2	3.4	1.4
イベント等の運営 (n=266)	65.8	46.2	41.0	15.8	7.1	6.0	11.7	17.7	23.7	21.1	15.4	12.4	1.1	0.0
地域課題にフォー カスしたイベント・ 体験ツアーへの参 加(n=315)	65.4	39.4	39.7	17.1	7.6	7.0	11.7	20.6	27.6	21.9	17.8	12.4	1.9	0.6
伝統文化の保全 活動(祭りの担い 手・運営等を含 む)(n=220)	59.1	44.1	42.3	18.6	7.7	10.5	11.8	23.6	29.5	24.5	20.5	18.6	0.5	0.0
自然・環境保護 活動(n=261)	64.0	36.4	36.0	16.9	6.5	8.4	9.6	19.9	30.7	23.0	18.0	12.6	1.5	0.4
フィールド研究 (n=133)	57.1	49.6	36.8	29.3	9.8	12.0	15.0	28.6	27.8	27.8	22.6	16.5	0.0	0.8
農業の手伝いや 農山漁村の活性 化(n=172)	62.2	36.0	37.8	20.3	5.2	11.6	13.4	24.4	36.0	31.4	23.8	16.9	2.3	0.0
その他産業支援 (n=119)	61.3	40.3	31.9	16.0	5.0	8.4	15.1	25.2	27.7	28.6	22.7	16.0	4.2	2.5
起業(n=29)	62.1	65.5	65.5	34.5	3.4	24.1	27.6	41.4	44.8	51.7	27.6	27.6	0.0	0.0
産業支援・起業 以外の仕事 (n=61)	62.3	52.5	37.7	19.7	6.6	8.2	9.8	27.9	42.6	29.5	23.0	26.2	3.3	1.6
その他(n=15)	46.7	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	0.0	6.7	0.0	20.0	26.7

(11) 取組みに関わることにした理由や継続的に関わっている理由

自由記述回答を見ると、地域の課題解決・活性化の取組みに関わることにした理由や継続的に関わっている理由として、自身が富山県出身であることや、親族・友人が富山県にいることを挙げる人が多い。その他、富山県の魅力や災害復興等を理由に富山県に関わる人も多くいる。

図表 103 取組みに関わることにした理由や継続的に関わっている理由 (自由記述回答)

カテゴリ	回答例
自身または親 族・友人・知 りがある(北陸出	<ul style="list-style-type: none"> 富山県には小さいころからゆかりがあり、愛着がある県 北陸出身者として、力を入れている

人が富山県にゆかりがある	身者含む)	
	親族・友人・知人の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県に親族が住んでいるから ・ 友人が出身地であり、観光で行ったことがあるから ・ 知人が活動しているから ・ 旅行に行って富山県の県民の人と知り合いになったから
富山県の魅力に惹かれた	富山県が好き	<ul style="list-style-type: none"> ・ スキーで訪れてから好きになった ・ 富山県に観光に行った際、地域の良さを知り、何か協力したいと思ったから ・ 富山県は、観光資源、美味しい食材も多く、訪れるのが楽しみな地域。好きな地域とも言える。なので、何か役に立ちたいと考えて、参加した
	富山の自然や食べ物が好き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かで気に入った ・ 富山県は行きやすいし食べ物がおしくて好きだから ・ ご飯が美味しく、環境がいいにも関わらずあまり知られていないから ・ 富山湾での釣りが好きで、海をキレイにしたいため
	富山県の人の人柄が好き	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人が良いから ・ 地域の人々が温かく優しいので、自然や文化を守っていきたいと思ったから ・ 昔親切丁寧にしてもらった
	魅力的な商品がある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特産品で魅力的なものがあるから ・ その商品を実際を使ってみて自分の肌に合うものだったため、同じ肌質の方の改善のためと、体に良いお水を広めたいため
	興味のあるイベントがある	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化やイベントに魅力を感じているため、継続して参加している ・ 子どもを産んで、子どもイベントの大切さを知ったから ・ 道の駅でのイベントに参加し、土産として農産物を購入した。その際イベントの中で参加できる取組みがあったため
災害復興を支援したい	災害復興のため	<ul style="list-style-type: none"> ・ 震災がきっかけとなり、助けたいと思った ・ 震災からの復興にまだ時間がかかっており、テレビなどの報道はほとんどなくなったから
	自身が災害経験者である	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東日本大震災の時に支援していただいたので、その恩返しとして支援を続けている ・ 被災経験者であるので、経験を生かせたら過去の負の体験を違うものにできると思った ・ 自分が熊本地震で被災して、周りの繋がりの大切さを感じ、すこしでもゆかりのある地域の活性化に力を付与できたらいいなと思っているから
貢献意欲がある	自分ができたい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 魅力的な県なので応援したい ・ 地域貢献の自分なりの方法だから ・ 大変な生活をしているので少しでもいいから応援したい
その他	気がついたら、なりゆき	<ul style="list-style-type: none"> ・ なんとなくいい県だなと感じたので ・ 成り行きから、気づけば熱中していた
	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の都合で

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生時代のフィールドワークで富山を訪れ、地域の現状や抱える問題を知った ・ 富山県だけではなく、日本全国の農産物の応援を手助けしている ・ 富山県内のサッカーチームのサポーターだから
--	--	---

(12) 取組みに関与してみてよかったと感じること

自由記述回答を見ると、取組みに関与してよかったこととしては、自己成長や自己有用感を得られる、地域とのつながりができる、地域の魅力や地域活性化・復興の実感が得られる等が挙げられる。

図表 104 取組みに関与してみてよかったと感じること（自由記述回答）

カテゴリ	回答例
自分の成長・学びにつながった	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過酷なことも多いが全てが自分の成長につながると感じる ・ 知人友人が増え、視野が広まり人間的成長の一助となった ・ 新しい発見があった ・ 知らなかった地域産業や名産品なども知ることができた
人の役に立てていると感じた	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人々が笑顔になったこと ・ 手伝った家の人から感謝された ・ 携わってくれた人からのアンサーが直接的でとてもやりがいを感じやすい ・ 伝統工芸や特産品の継承の一助になれた
地域とのつながりができた	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との繋がりを感ぜられる ・ 沢山の方と交流できる ・ 人とのつながりができた ・ 地域の祭りに参加して住民の方々と仲良くなれた
地域の魅力・良さを実感した	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の人が優しく教えてくれる ・ 富山人の人柄の良さを知ることができた ・ 自然が豊か ・ 地域の文化や郷土料理を知れて良かった
地域の活性化・復興を実感した	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復興してきている実感 ・ 地域が活性化したように感じる ・ 富山の方々が日々元気になってきている ・ 地域振興を通じて特に高齢の方の新たなコミュニティの場を提供できた
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブログの閲覧数が増えるにつき、副収入としてお金が増えるうえに、富山県からも感謝されること ・ まだ実感が無い

(13) 取組みに関わるにあたって、困ったことや大変だったこと

自由記述回答を見ると、取組みに関わるまでのハードルとしては、費用負担や交通手段・移動時間・距離の問題、情報不足が多く挙げられる。また、人脈がない・協力者がいないこと、人間関係への不安、踏み出す勇気がないこと等も挙げられた。

図表 105 取組みに関わるにあたって、困ったことや大変だったこと（自由記述回答）

カテゴリ	回答例
費用負担（交通費・滞在費等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行くのが大変、お金がかかる ・ 継続的資金 ・ 費用対効果を得られるかで足踏みした
交通手段、移動時間・距離の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山までの物理的な距離が遠い ・ 空港施設へのアクセスと利便性 ・ 現地に向かうまでに時間が必要なこと ・ 普段生活している場所から現地に到着するまでの移動過程が精神的負担
情報不足・始め方が分からない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゼロからスタートで何もわからない ・ 1人で始めるにあたって何から始めたら良いかわからない ・ 上手く活動に参加出来るかわからない ・ 参加方法が分かりにくかった
地域に対する理解不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地勘がない ・ その土地のことを詳しく知らない ・ 知らない土地に慣れること ・ 農業に対する知識がなかった
人脈・協力者の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 集客困難と地域の協力体制がないこと ・ 地域での人脈がなかった ・ 賛同してくれる人集め ・ 若い世代の参加者不足
地域の受入れ・人間関係の不安	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に受け入れられるか心配だった ・ 地域の人との関係づくり ・ 地域社会が狭い ・ 地域になじめるのか コミュニティとの関わり合い
自信がない・踏み出す勇気がない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人見知りなので緊張した ・ 自分にできるか心配だった ・ 勇気が必要だった ・ なかなか一歩突き進めない（度胸がないとダメ）
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施策がどこで行なわれているのかつかみ切れなかった ・ 自分には体力がなかった ・ 家族の理解 ・ 仕事仲間の理解・協力

(14) 取組みに実際に参加してみて困ったことや大変だったこと

自由記述回答を見ると、取組みに関わってみて大変だったこととしては、費用負担や交通手段・移動時間・距離の問題、情報不足が多く挙げられる。また、取組みに関わる前にハードルに感じることはあまり出てこなか

った人間関係・コミュニケーションや文化・慣習の違い、環境・気候の厳しさ、体力・労力の負担等が挙げられた点が特徴的である。

図表 106 取組みに実際に参加してみて困ったことや大変だったこと（自由記述回答）

カテゴリ	回答例
費用負担（交通費・滞在費等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費や宿泊費が結構かかる ・ 融資
交通手段、移動時間・距離の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 現地に行くまでの交通事情と到着までの距離や時間 ・ 交通の手段が少ない ・ 直通の道路が整備されていない ・ 家との往復時間が思ったより、負担に感じた
人間関係・コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人に受け入れられなかった ・ 慣れるまで見知らぬ人たちと一緒に盛り上げていけなかった ・ 役に立っているのか不安だった ・ 異なる県民性に対して私自身が、勝手に壁を築いていた
情報不足・進め方の不明確さ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報がない ・ 指示がない ・ 0 から 1 が大変なように何もかも手探り ・ どこまで参加したらいいか迷った
人手不足	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人がなかなか集まらない ・ 人手が足りない
文化・慣習の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県民性の違い（富山県民は質素儉約、質実剛健、合理的） ・ 【再掲】異なる県民性に対して私自身が、勝手に壁を築いていた ・ 方言が分かりにくかった ・ 地方の慣習に慣れること
環境・気候の厳しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 寒さが身に染みた ・ 雪のシーズンは行動が制限される ・ 冬季は積雪で道路状況が悪化し、移動に時間を要した ・ 冬は車の運転が難しい
体力・労力の負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 想像よりも体力的に大変だった ・ 肉体労働 ・ 中々思ったようにはならず根気のいる活動だなと思った
仕事との両立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長期の休みが必要 ・ 仕事との両立が大変
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレビで見るのと現実とのギャップ ・ 家族の理解

3) 二地域居住者の集計結果

二地域居住者は、地縁・血縁の有無と関わりの主体性で見ると「地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえど主体的」の層が最も多く（図表 112）、この傾向は地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者と比べても顕著である（図表 70）。二地域居住の目的は、「地域貢献・産業支援のため」、「地域コミュニティへの参加・交流のため」、「家族・親戚・友人・知人との交流のため」、「趣味・自己実現のため」、「ワーク・ライフバランスの追求のため」の順に多く（図表 115）、その1回あたりの滞在日数と年間訪問回数の組み合わせは、「年に3~5回、2~3日程度」、「年に3~5回、4~5日程度」、「年に2回、2~3日程度」の順に多い（図表 120）。この組み合わせを年代別に見ると、若年層は滞在期間、訪問回数ともに幅広く分布しているのに対し、高齢になるにつれて滞在期間が短く、訪問回数が少なくなる傾向にある（図表 121）。

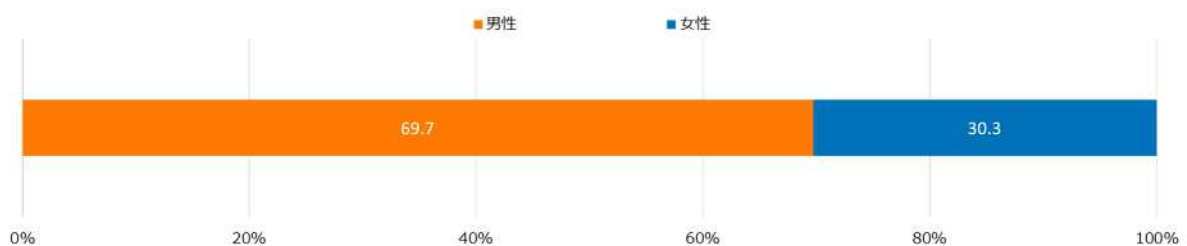
取組みに関わる際の交通手段は居住地ごとに異なるが（図表 134）、滞在拠点はホテルや旅館が主流である（図表 135~図表 138）。年間総額費用は、交通費より宿泊費の方が高く、特に40代が比較的多く支出する傾向にある（図表 142、図表 146）。

二地域居住のきっかけについては、「観光に来たことがあった」、「仕事で来たことがあった」、「イベントや地域活動への参加経験があった」が主なきっかけであるが、周辺の人々の影響も見られる（図表 149）。このような傾向は地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者と変わらない（図表 98）。

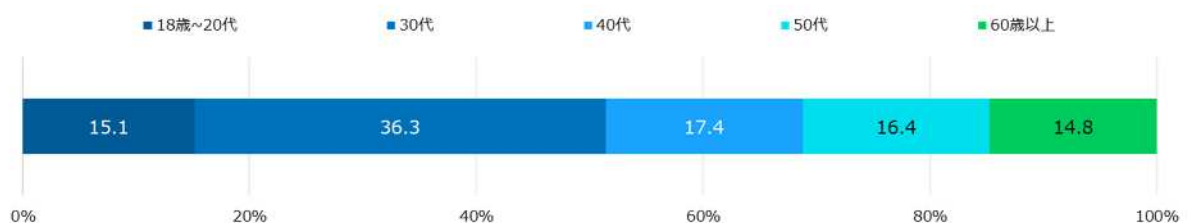
(1) 回答者属性

本調査の回答者の属性は以下のとおり。

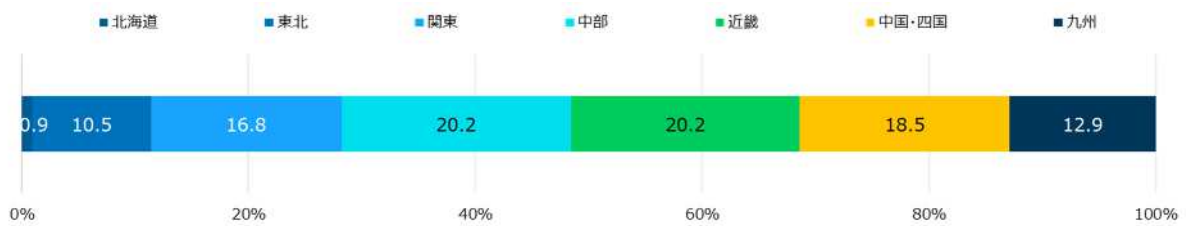
図表 107 性別 (SA, n=535)



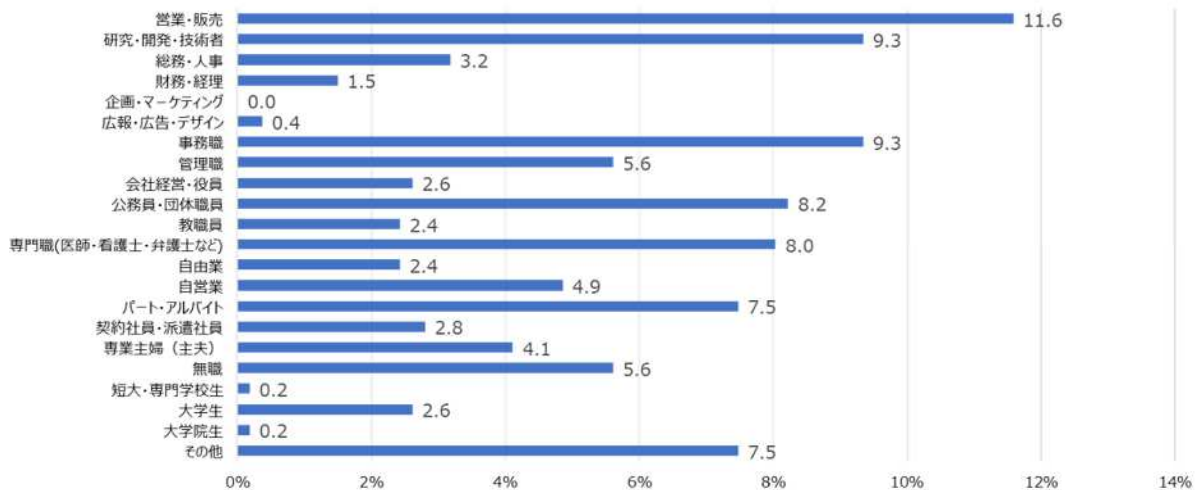
図表 108 年代 (SA, n=535)



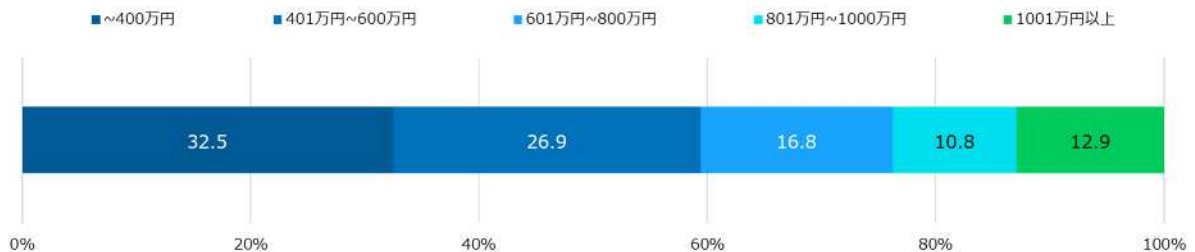
図表 109 居住地 (SA、n=535)



図表 110 職種 (SA、n=535)



図表 111 世帯年収 (SA、n=535)



(2) 地縁・血縁の有無と関わりの主体性

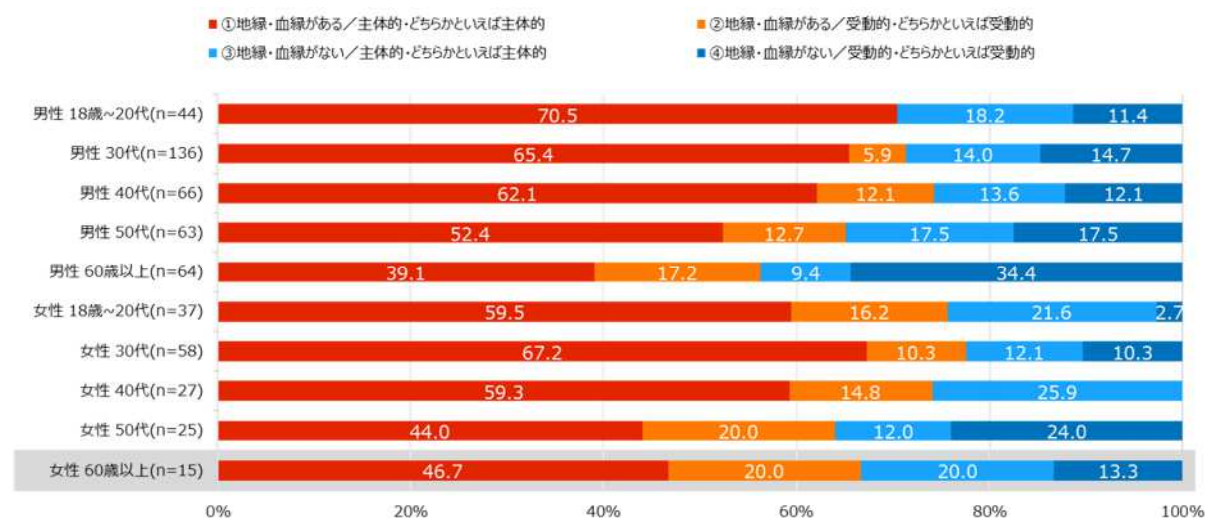
地縁・血縁の有無と関わりの主体性の 2 軸で 4 象限をとったとき、最もボリュームが多い層は「①地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的」の層である。

性年代ごとに地縁・血縁の有無と関わりの主体性を見ると、男女ともに、若年層の方が「①地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的」の割合が多く、高齢層は「④地縁・血縁がない／受動的・どちらかといえば受動的」の割合が多い傾向にある。

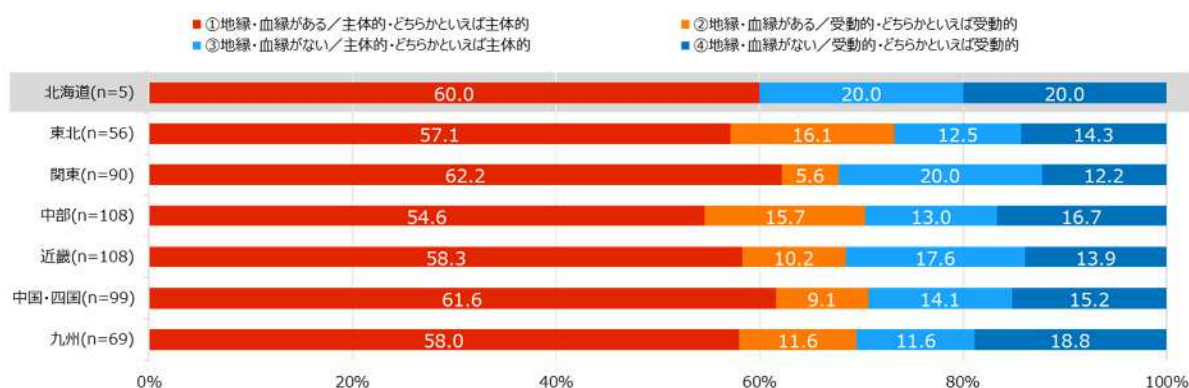
図表 112 地縁・血縁の有無と関わり方の主体性 (SA、n=535、n 数全体に対する比率を表示)

	主体的・どちらかといえば主体的	受動的・どちらかといえば受動的
地縁・血縁がある(n=373)	① 58.7%	② 11.0%
地縁・血縁がない(n=162)	③ 15.1%	④ 15.1%

図表 113 性年代別 地縁・血縁の有無と関わり方の主体性 (SA×SA、n=535)



図表 114 居住地別 地縁・血縁の有無と関わり方の主体性 (SA×SA、n=535)



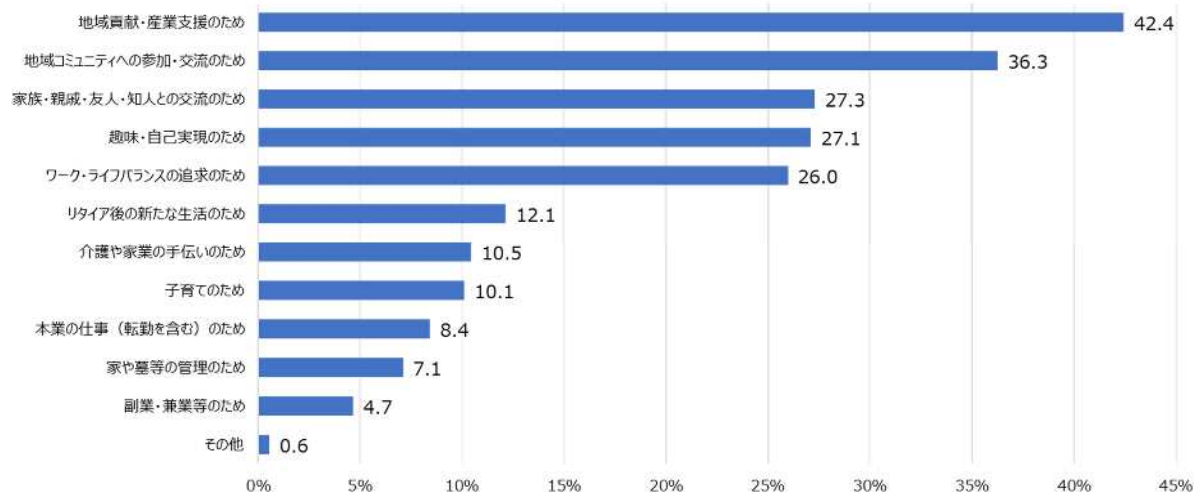
(3) 二地域居住の目的

二地域居住の目的は、「地域貢献・産業支援のため」、「地域コミュニティへの参加・交流のため」、「家族・親戚・友人・知人との交流のため」、「趣味・自己実現のため」、「ワーク・ライフバランスの追求のため」の順に多い。どの属性でも、「地域貢献・産業支援のため」、「地域コミュニティへの参加・交流のため」が上位にランクインしている。

その他の特徴について、上位 3 位までの性年代別の差を見ると、男性は「ワーク・ライフバランスの追求」を選択する人が多く、女性は「家族・親戚・友人・知人との交流」を選択する人が多い傾向にある。居住地別の差を見ると、中部・近畿でのみ、「家族・親戚・友人・知人との交流」がランクインする。また、地縁・血縁の有無と関

わりの主体性別に差を見ると、地縁・血縁がある人は「家族・親戚・友人・知人との交流のため」がランクインし、地縁・血縁がない人は「ワーク・ライフバランスの追求」がランクインする。

図表 115 二地域居住の目的 (MA、n=535)



図表 116 性年代別 二地域居住の目的 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	地域貢献・産業支援のため	地域コミュニティへの参加・交流のため	ワーク・ライフバランスの追求のため	趣味・自己実現のため	家族・親戚・友人・知人との交流のため	子育てのため	リタイア後の新たな生活のため	介護や家業の手伝いのため	家や墓等の管理のため	本業の仕事（転勤を含む）のため	副業・兼業等のため	その他
全体(n=535)	42.4	36.3	26.0	27.1	27.3	10.1	12.1	10.5	7.1	8.4	4.7	0.6
男性 18歳~20代 (n=44)	43.2	40.9	25.0	31.8	13.6	27.3	20.5	20.5	15.9	4.5	0.0	0.0
男性 30代 (n=136)	41.9	39.7	33.8	29.4	26.5	14.7	13.2	11.8	6.6	9.6	3.7	0.0
男性 40代 (n=66)	45.5	45.5	30.3	25.8	24.2	4.5	13.6	7.6	4.5	12.1	4.5	0.0
男性 50代 (n=63)	44.4	33.3	28.6	23.8	19.0	3.2	7.9	6.3	1.6	14.3	3.2	1.6
男性 60歳以上 (n=64)	34.4	25.0	7.8	31.3	34.4	0.0	7.8	0.0	4.7	12.5	7.8	1.6
女性 18歳~20代 (n=37)	43.2	37.8	21.6	21.6	32.4	13.5	13.5	16.2	13.5	2.7	5.4	0.0
女性 30代 (n=58)	41.4	29.3	25.9	25.9	37.9	10.3	8.6	17.2	8.6	5.2	6.9	0.0
女性 40代 (n=27)	55.6	40.7	22.2	25.9	37.0	14.8	7.4	11.1	11.1	0.0	7.4	0.0
女性 50代 (n=25)	40.0	32.0	24.0	20.0	20.0	4.0	20.0	4.0	4.0	0.0	8.0	4.0
女性 60歳以上 (n=15)	40.0	33.3	26.7	26.7	33.3	6.7	13.3	13.3	6.7	6.7	0.0	0.0

図表 117 居住地別 二地域居住の目的 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	地域貢献・産業支援のため	地域コミュニティへの参加・交流のため	ワーク・ライフバランスの追求のため	趣味・自己実現のため	家族・親戚・友人・知人との交流のため	子育てのため	リタイア後の新たな生活のため	介護や家業の手伝いのため	家や墓等の管理のため	本業の仕事(転勤を含む)のため	副業・兼業等のため	その他
全体(n=535)	42.4	36.3	26.0	27.1	27.3	10.1	12.1	10.5	7.1	8.4	4.7	0.6
北海道(n=5)	80.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0
東北(n=56)	46.4	32.1	21.4	23.2	17.9	12.5	7.1	14.3	7.1	5.4	5.4	0.0
関東(n=90)	41.1	43.3	32.2	26.7	23.3	7.8	16.7	11.1	5.6	4.4	3.3	0.0
中部(n=108)	39.8	38.0	14.8	25.0	35.2	7.4	10.2	7.4	5.6	9.3	3.7	0.9
近畿(n=108)	38.0	36.1	28.7	31.5	31.5	13.9	9.3	14.8	8.3	8.3	7.4	0.0
中国・四国(n=99)	44.4	30.3	24.2	30.3	24.2	12.1	15.2	6.1	6.1	10.1	4.0	2.0
九州(n=69)	46.4	36.2	37.7	24.6	27.5	7.2	14.5	11.6	11.6	8.7	4.3	0.0

図表 118 世帯年収別 二地域居住の目的 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	地域貢献・産業支援のため	地域コミュニティへの参加・交流のため	ワーク・ライフバランスの追求のため	趣味・自己実現のため	家族・親戚・友人・知人との交流のため	子育てのため	リタイア後の新たな生活のため	介護や家業の手伝いのため	家や墓等の管理のため	本業の仕事(転勤を含む)のため	副業・兼業等のため	その他
全体(n=535)	42.4	36.3	26.0	27.1	27.3	10.1	12.1	10.5	7.1	8.4	4.7	0.6
~400万円(n=174)	44.3	35.1	27.6	28.7	31.6	12.1	12.6	12.6	9.2	6.9	7.5	0.6
401万円~600万円(n=144)	38.2	36.8	23.6	22.2	24.3	9.7	11.1	10.4	7.6	11.1	2.8	0.0
601万円~800万円(n=90)	43.3	33.3	25.6	28.9	16.7	10.0	10.0	6.7	1.1	7.8	0.0	1.1
801万円~1000万円(n=58)	46.6	37.9	24.1	24.1	29.3	10.3	15.5	8.6	6.9	6.9	5.2	1.7
1001万円以上(n=69)	42.0	40.6	29.0	33.3	34.8	5.8	13.0	11.6	8.7	8.7	7.2	0.0

図表 119 地縁・血縁の有無と関わりの主体性別 二地域居住の目的 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	地域貢献・産業支援のため	地域コミュニティへの参加・交流のため	ワーク・ライフバランスの追求のため	趣味・自己実現のため	家族・親戚・友人・知人との交流のため	子育てのため	リタイア後の新たな生活のため	介護や家業の手伝いのため	家や墓等の管理のため	本業の仕事(転勤を含む)のため	副業・兼業等のため	その他
全体(n=535)	42.4	36.3	26.0	27.1	27.3	10.1	12.1	10.5	7.1	8.4	4.7	0.6
①地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的(n=314)	45.2	43.3	27.7	29.6	32.2	12.4	15.3	13.4	9.6	6.4	4.8	0.3
②地縁・血縁がある／受動的・どちらかといえば受動的(n=59)	30.5	27.1	22.0	11.9	33.9	6.8	3.4	10.2	6.8	16.9	8.5	0.0
③地縁・血縁がない／主体的・どちらかといえば主体的(n=81)	54.3	37.0	25.9	24.7	13.6	9.9	13.6	4.9	3.7	4.9	2.5	1.2
④地縁・血縁がない／受動的・どちらかといえば受動的(n=81)	28.4	14.8	22.2	30.9	17.3	3.7	4.9	4.9	1.2	13.6	3.7	1.2

(4) 二地域居住のスタイル

二地域居住のスタイルとして、1回あたりの平均的な滞在期間と年間訪問回数の組み合わせを見ると、「年に3~5回、2~3日程度」来るパターンが最も多く、次いで「年に3~5回、4~5日程度」、「年に2回、2~3日程度」が多い。

滞在期間と訪問回数の分布を年代別に見ると、若い人の方が滞在期間、訪問回数ともに幅広く分布しているのに対し、高齢になるにつれて滞在期間が短く、訪問回数が少なくなる傾向にある。

図表 120 二地域居住のスタイル (SA×SA、n=535、n数全体に対する比率を表示)

凡例 : n数全体に対する比率が5%以上

	1回	2回	3~5回	6~12回 (月に1回以下)	13~24回 (月に2回以下)	25~120回 (月に10回以下)	121回以上 (月に10回以上)
1日(n=126)	4.3%	2.4%	2.2%	0.7%	0.2%	0.4%	0.0%
2~3日程度(n=276)	6.7%	7.5%	13.6%	6.4%	2.2%	0.7%	0.0%
4~5日程度(n=147)	1.3%	3.0%	8.0%	3.9%	0.6%	0.4%	0.0%
1週間程度(n=163)	2.4%	4.1%	6.4%	6.0%	0.2%	0.4%	0.0%
2週間程度(n=105)	0.7%	1.7%	2.6%	1.1%	0.9%	0.4%	0.0%
3週間程度(n=55)	0.6%	0.2%	2.2%	0.4%	0.6%	0.0%	0.0%
1か月程度(n=39)	0.6%	0.6%	1.3%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%
2か月程度(n=16)	0.2%	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3か月程度(n=9)	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
半年程度(n=12)	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%
半年以上(n=14)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 121 年代別 二地域居住のスタイル (SA×SA)

年代	二地域居住における滞在期間×訪問回数の分布							
		1年あたり訪問回数						
		1回	2回	3~5回	6~12回	13~24回	25~120回	121回以上
18歳~20代 (n=81)	1日	4.9%	1.2%	3.7%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%
	2~3日程度	4.9%	6.2%	8.6%	3.7%	1.2%	0.0%	0.0%
	4~5日程度	0.0%	4.9%	9.9%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%
	1週間程度	2.5%	6.2%	14.8%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	2週間程度	0.0%	1.2%	2.5%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%
	3週間程度	0.0%	0.0%	4.9%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%
	1か月程度	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30代 (n=194)	1日	4.1%	2.1%	3.6%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%
	2~3日程度	5.2%	7.2%	13.4%	6.2%	2.1%	0.5%	0.0%
	4~5日程度	1.0%	2.1%	8.2%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	1週間程度	2.1%	4.6%	3.6%	5.2%	0.5%	0.5%	0.0%
	2週間程度	1.0%	2.1%	2.6%	1.0%	0.5%	0.0%	0.0%
	3週間程度	1.5%	0.5%	2.1%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%
	1か月程度	1.0%	1.5%	1.5%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.5%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
40代 (n=93)	1日	2.2%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	2~3日程度	2.2%	5.4%	16.1%	6.5%	2.2%	2.2%	0.0%
	4~5日程度	3.2%	5.4%	8.6%	1.1%	3.2%	0.0%	0.0%
	1週間程度	5.4%	1.1%	11.8%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	2週間程度	0.0%	3.2%	3.2%	0.0%	2.2%	1.1%	0.0%
	3週間程度	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1か月程度	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
50代 (n=88)	1日	6.8%	3.4%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%
	2~3日程度	9.1%	9.1%	13.6%	9.1%	4.5%	0.0%	0.0%
	4~5日程度	2.3%	1.1%	9.1%	4.5%	0.0%	1.1%	0.0%
	1週間程度	2.3%	5.7%	1.1%	3.4%	0.0%	1.1%	0.0%
	2週間程度	1.1%	1.1%	4.5%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%
	3週間程度	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	1か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
60代以上 (n=79)	1日	3.8%	6.3%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	2~3日程度	15.2%	10.1%	16.5%	6.3%	1.3%	1.3%	0.0%
	4~5日程度	0.0%	2.5%	3.8%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
	1週間程度	0.0%	2.5%	3.8%	12.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	2週間程度	1.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	3週間程度	0.0%	0.0%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	1か月程度	1.3%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

図表 122 世帯年収別 二地域居住のスタイル (SA×SA)

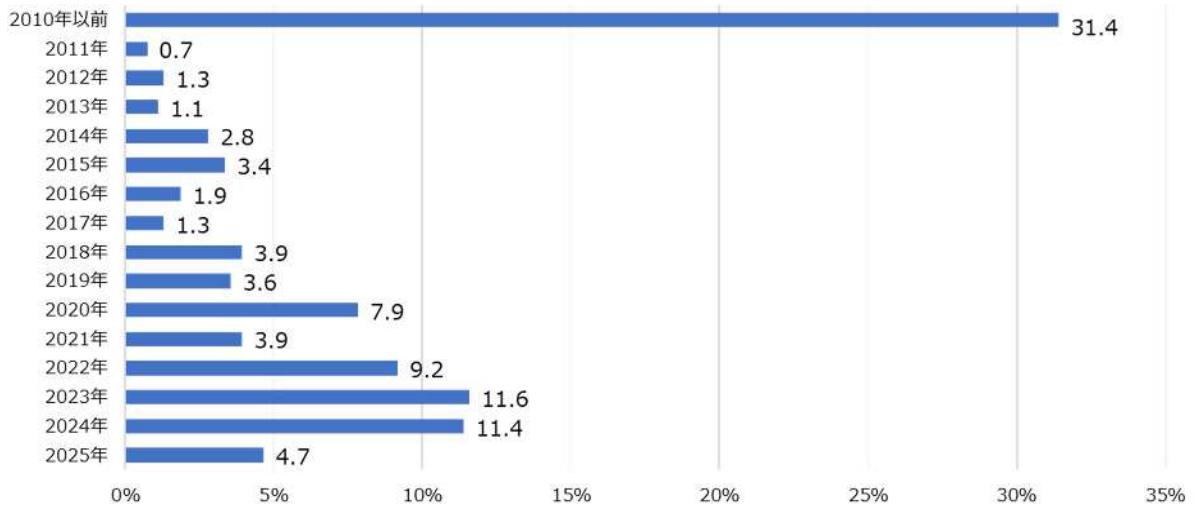
世帯年収	二地域居住における滞在期間×訪問回数の分布							
		1年あたり訪問回数						
		1回	2回	3~5回	6~12回	13~24回	25~120回	121回以上
~400万円 (n=174)	1日	8.0%	1.7%	2.9%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%
	2~3日程度	8.6%	6.9%	13.2%	6.9%	1.7%	0.6%	0.0%
	4~5日程度	1.1%	5.7%	5.2%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
	1週間程度	0.6%	3.4%	8.0%	5.7%	0.6%	0.0%	0.0%
	2週間程度	1.1%	1.1%	3.4%	1.1%	2.3%	0.6%	0.0%
	3週間程度	0.6%	0.0%	1.1%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
	1か月程度	0.0%	0.6%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	400~600万円 (n=144)	1日	3.5%	2.8%	2.1%	1.4%	0.0%	0.0%
2~3日程度		4.2%	7.6%	16.0%	4.9%	1.4%	1.4%	0.0%
4~5日程度		0.0%	1.4%	10.4%	6.3%	1.4%	0.7%	0.0%
1週間程度		4.2%	4.9%	5.6%	2.1%	0.0%	0.7%	0.0%
2週間程度		0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
3週間程度		0.7%	0.7%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1か月程度		1.4%	0.7%	2.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
2か月程度		0.7%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3か月程度		0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
半年程度		0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
半年以上		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
600~800万円 (n=90)		1日	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	1.1%	0.0%
	2~3日程度	6.7%	8.9%	11.1%	8.9%	2.2%	0.0%	0.0%
	4~5日程度	4.4%	1.1%	5.6%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	1週間程度	4.4%	4.4%	5.6%	12.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	2週間程度	1.1%	2.2%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3週間程度	1.1%	0.0%	4.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	1か月程度	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	800~1000万円 (n=58)	1日	3.4%	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	1.7%
2~3日程度		3.4%	12.1%	17.2%	3.4%	1.7%	0.0%	0.0%
4~5日程度		1.7%	1.7%	8.6%	8.6%	0.0%	1.7%	0.0%
1週間程度		3.4%	3.4%	5.2%	5.2%	0.0%	1.7%	0.0%
2週間程度		1.7%	1.7%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%
3週間程度		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1か月程度		0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%
2か月程度		0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3か月程度		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
半年程度		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
半年以上		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
1001万円以上 (n=69)		1日	0.0%	7.2%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	2~3日程度	10.1%	2.9%	10.1%	7.2%	5.8%	1.4%	0.0%
	4~5日程度	0.0%	2.9%	13.0%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%
	1週間程度	0.0%	4.3%	5.8%	7.2%	0.0%	0.0%	0.0%
	2週間程度	0.0%	2.9%	2.9%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%
	3週間程度	0.0%	0.0%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	1か月程度	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3か月程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年程度	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	半年以上	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(5) 二地域居住の開始時期

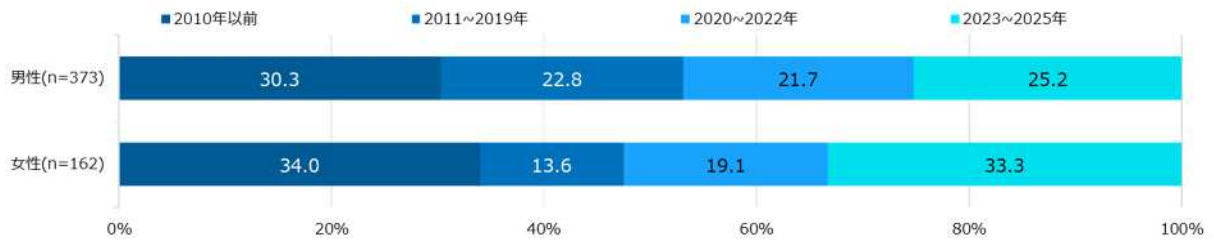
二地域居住の開始時期を見ると、2018 年以降、増加傾向にある。2018 年は総務省が関係人口創出事業を開始した年であり、これ以降、関係人口の創出・拡大に向けて地方公共団体の支援が行われてきた。さらに、富山県においては、2022 年に関係人口の創出・拡大を打ち出した成長戦略を策定しており、これらの施策の効果も出ていると推測される。

また、二地域居住の開始時期を居住地別に見ると、中部、関東、近畿といった近隣県で特に、コロナ禍以降に関わり出した人の割合が多くなっている。

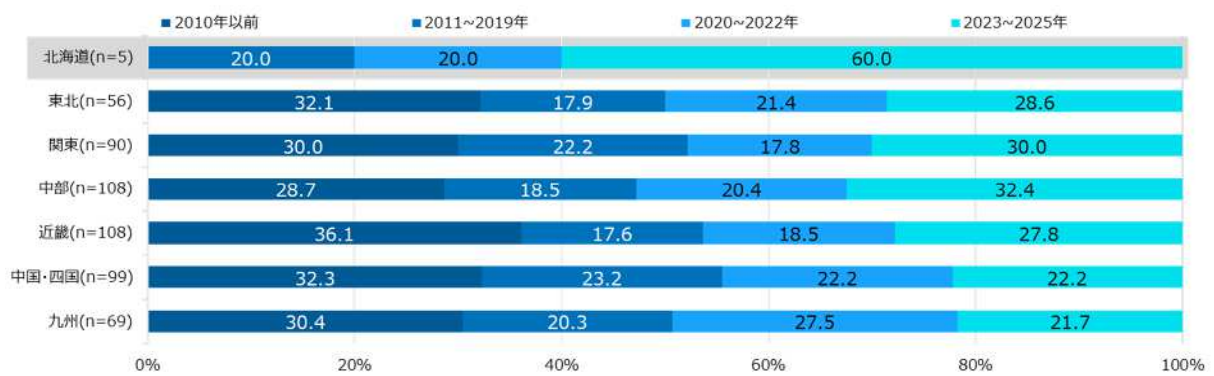
図表 123 二地域居住の開始時期 (SA、n=535)



図表 124 性別 二地域居住の開始時期 (SA×SA、n=535)



図表 125 居住地別 二地域居住の開始時期 (SA×SA、n=535)



図表 126 二地域居住の目的別 二地域居住の開始時期 (MA×SA、n=535)

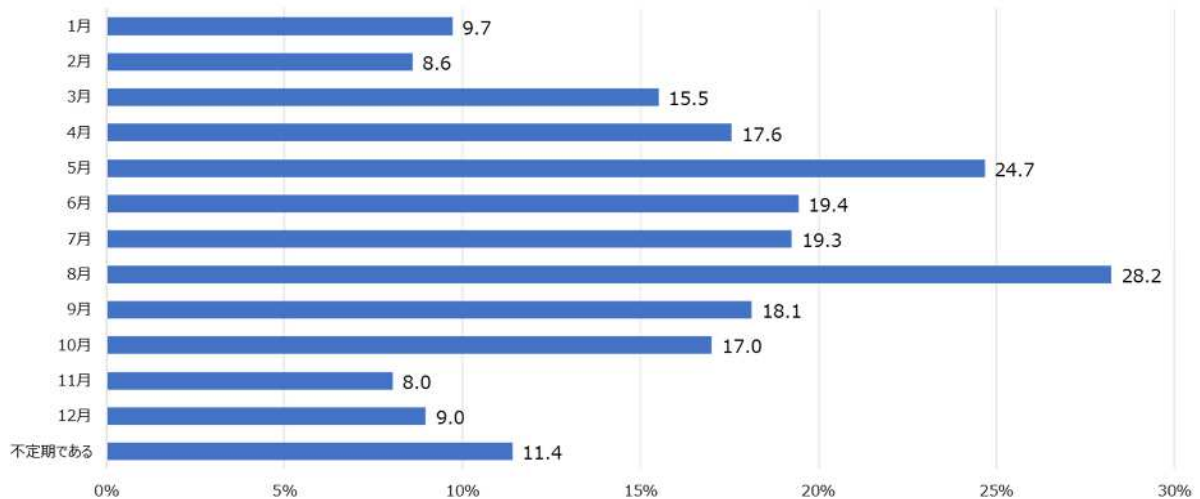


(6) 滞在時期

二地域居住の滞在時期は、5月と8月にピークがあり、年間をとって見ると冬季よりも夏季に滞在する人が多い。

二地域居住滞在時期の上位3位までについて、居住地別の差を見ると、中部の人は不定期に滞在することが多い。また、二地域居住の目的別に差を見ると、仕事や副業・兼業の人のみ冬の滞在がランクインするが、その他のどの目的の人でも4月～10月のいずれかの月がランクインする。

図表 127 滞在時期 (MA、n=535)



図表 128 性年代別 滞在時期 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不定期である
全体(n=535)	9.7	8.6	15.5	17.6	24.7	19.4	19.3	28.2	18.1	17.0	8.0	9.0	11.4
男性 18歳~20代(n=44)	9.1	13.6	15.9	20.5	20.5	20.5	20.5	25.0	9.1	15.9	6.8	4.5	9.1
男性 30代(n=136)	8.8	10.3	16.2	15.4	17.6	20.6	18.4	26.5	15.4	18.4	8.8	8.8	9.6
男性 40代(n=66)	18.2	12.1	10.6	19.7	24.2	18.2	16.7	34.8	13.6	13.6	12.1	13.6	13.6
男性 50代(n=63)	9.5	4.8	14.3	27.0	33.3	23.8	19.0	36.5	27.0	17.5	7.9	12.7	15.9
男性 60歳以上(n=64)	4.7	6.3	14.1	9.4	31.3	18.8	23.4	23.4	28.1	20.3	6.3	1.6	15.6
女性 18歳~20代(n=37)	5.4	10.8	24.3	8.1	10.8	16.2	18.9	27.0	21.6	5.4	2.7	5.4	16.2
女性 30代(n=58)	6.9	6.9	13.8	24.1	29.3	17.2	17.2	27.6	8.6	6.9	6.9	12.1	12.1
女性 40代(n=27)	14.8	7.4	7.4	18.5	48.1	18.5	18.5	29.6	29.6	18.5	11.1	11.1	0.0
女性 50代(n=25)	12.0	0.0	16.0	4.0	24.0	16.0	24.0	16.0	4.0	36.0	0.0	8.0	4.0
女性 60歳以上(n=15)	13.3	6.7	40.0	33.3	13.3	20.0	20.0	33.3	40.0	40.0	20.0	13.3	6.7

図表 129 居住地別 滞在時期 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不定期である
全体(n=535)	9.7	8.6	15.5	17.6	24.7	19.4	19.3	28.2	18.1	17.0	8.0	9.0	11.4
北海道(n=5)	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0
東北(n=56)	10.7	8.9	10.7	10.7	30.4	23.2	16.1	21.4	14.3	14.3	7.1	5.4	10.7
関東(n=90)	12.2	10.0	22.2	20.0	23.3	20.0	27.8	32.2	22.2	16.7	10.0	7.8	4.4
中部(n=108)	11.1	5.6	14.8	16.7	19.4	17.6	16.7	25.9	21.3	19.4	6.5	5.6	20.4
近畿(n=108)	8.3	7.4	15.7	14.8	21.3	25.9	19.4	28.7	21.3	16.7	7.4	12.0	10.2
中国・四国(n=99)	8.1	9.1	11.1	21.2	35.4	16.2	19.2	31.3	13.1	20.2	8.1	11.1	10.1
九州(n=69)	8.7	10.1	18.8	18.8	21.7	14.5	15.9	29.0	13.0	11.6	10.1	11.6	10.1

図表 130 世帯年収別 滞在時期 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの上位3位

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不定期である
全体(n=535)	9.7	8.6	15.5	17.6	24.7	19.4	19.3	28.2	18.1	17.0	8.0	9.0	11.4
~400万円(n=174)	9.8	9.2	15.5	18.4	27.6	18.4	19.0	25.3	16.1	13.2	8.6	10.3	10.9
401万円~600万円(n=144)	4.2	8.3	11.8	18.8	24.3	20.1	16.7	27.1	16.0	21.5	7.6	5.6	11.8
601万円~800万円(n=90)	8.9	5.6	12.2	11.1	20.0	18.9	18.9	30.0	16.7	10.0	1.1	6.7	10.0
801万円~1000万円(n=58)	19.0	12.1	19.0	17.2	19.0	12.1	22.4	31.0	13.8	22.4	8.6	8.6	13.8
1001万円以上(n=69)	14.5	8.7	24.6	21.7	29.0	27.5	23.2	33.3	33.3	21.7	15.9	15.9	11.6

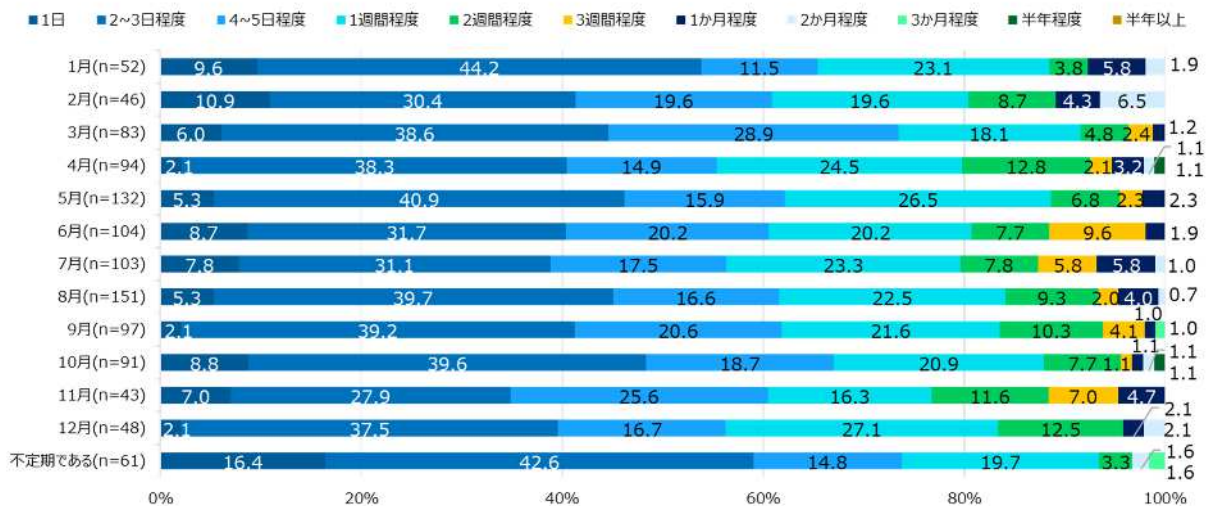
図表 131 二地域居住の目的別 滞在時期 (MA×MA、n=535)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不定期である
全体(n=535)	9.7	8.6	15.5	17.6	24.7	19.4	19.3	28.2	18.1	17.0	8.0	9.0	11.4
地域貢献・産業支援のため(n=227)	17.2	11.5	19.8	22.0	30.0	21.1	22.0	32.2	20.7	21.1	11.0	11.5	8.4
地域コミュニティへの参加・交流のため(n=194)	12.9	12.9	21.6	21.6	29.9	23.7	24.7	34.0	23.2	25.3	11.9	12.4	7.7
ワーク・ライフバランスの追求のため(n=139)	13.7	13.7	24.5	20.9	25.2	28.1	23.7	31.7	23.7	18.7	15.1	15.1	9.4
趣味・自己表現のため(n=145)	10.3	9.7	15.9	21.4	34.5	22.8	25.5	34.5	24.8	22.1	13.1	10.3	8.3
家族・親戚・友人・知人との交流のため(n=146)	11.0	7.5	19.9	19.2	25.3	21.9	24.7	37.7	21.9	18.5	13.7	15.1	11.0
子育てのため(n=54)	7.4	13.0	20.4	24.1	27.8	27.8	31.5	35.2	13.0	18.5	11.1	13.0	3.7
リタイア後の新たな生活のため(n=65)	9.2	7.7	24.6	23.1	30.8	30.8	36.9	30.8	24.6	16.9	10.8	10.8	6.2
介護や家業の手伝いのため(n=56)	12.5	16.1	21.4	28.6	23.2	23.2	25.0	41.1	25.0	21.4	17.9	19.6	3.6
家や墓等の管理のため(n=38)	15.8	18.4	28.9	31.6	36.8	26.3	34.2	39.5	23.7	28.9	26.3	21.1	5.3
本業の仕事(転勤を含む)のため(n=45)	17.8	13.3	11.1	26.7	20.0	13.3	17.8	22.2	17.8	15.6	11.1	22.2	26.7
副業・兼業等のため(n=25)	28.0	28.0	20.0	16.0	44.0	24.0	24.0	24.0	20.0	16.0	20.0	28.0	8.0
その他(n=3)	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3

(7) 滞在期間

滞在時期ごとに滞在期間を見ると、季節による滞在期間の大きな差は見られない。

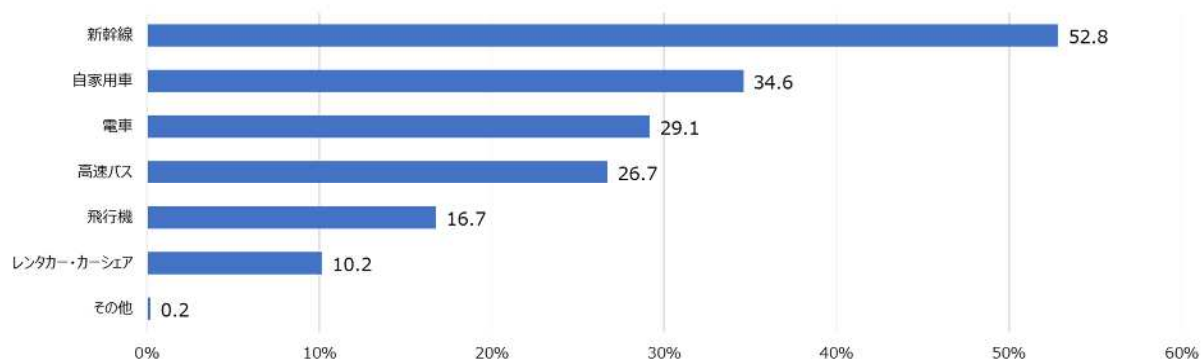
図表 132 滞在時期別 滞在期間 (MA×SA、n=535)



(8) 交通手段

二地域居住の際の富山県への交通手段は、関東、東北、近畿、中国・四国、九州では「新幹線」、中部では「自家用車」が最も多い。居住地ごとに2番目に利用率が高い交通手段を見ると、東北、関東、近畿では「自家用車」、中国・四国では「高速バス」、九州では「飛行機」を利用する人が多いことが分かる。

図表 133 交通手段 (MA、n=532)



図表 134 居住地別 交通手段 (SA×MA、n=532)

凡例
 : 属性ごとの利用率1位
 : 属性ごとの利用率2位

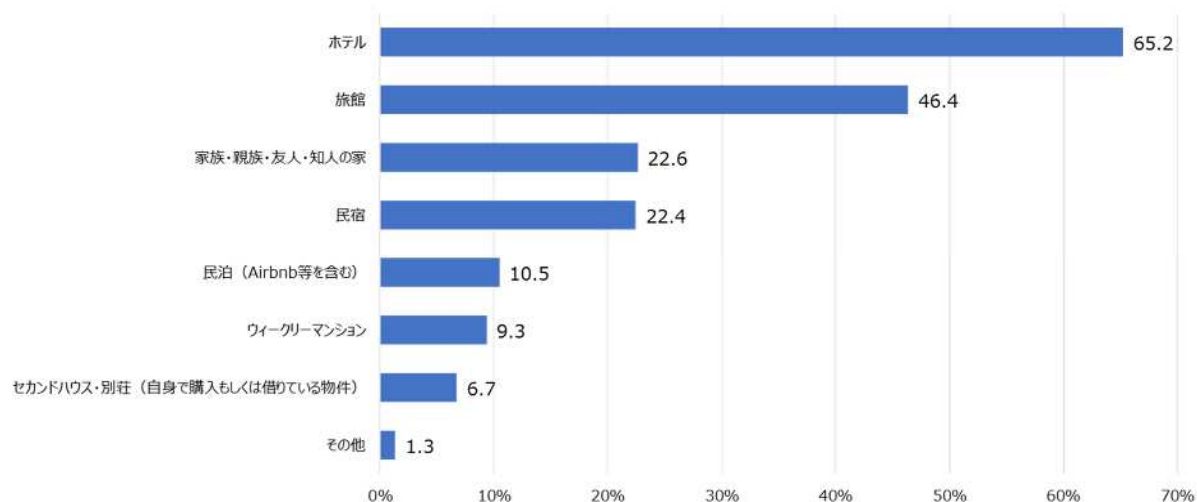
	飛行機	新幹線	高速バス	電車	レンタカー・カーシェア	自家用車	その他
全体(n=532)	16.7	52.8	26.7	29.1	10.2	34.6	0.2
北海道(n=5)	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	0.0
東北(n=56)	26.8	58.9	25.0	16.1	10.7	28.6	0.0
関東(n=90)	14.4	63.3	21.1	17.8	8.9	36.7	0.0
中部(n=106)	0.0	37.7	23.6	34.0	6.6	48.1	0.0
近畿(n=107)	0.0	60.7	30.8	33.6	9.3	35.5	0.0
中国・四国(n=99)	25.3	49.5	32.3	31.3	10.1	26.3	0.0
九州(n=69)	47.8	50.7	26.1	37.7	17.4	26.1	1.4

(9) 滞在拠点

二地域居住者の滞在拠点は、「ホテル」、「旅館」が多く、「家族・親族・友人・知人の家」、「民宿」が続く。

滞在拠点の上位3位について、居住地別の差を見ると、どの地域の居住者もホテルや旅館の利用率が高いが、中部、近畿、中国・四国は「家族・親族・友人・知人の家」、その他の属性では「民宿」が3位にランクインする。

図表 135 滞在拠点 (MA、n=535)



図表 136 性年代別 滞在拠点 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他
全体(n=535)	65.2	46.4	22.4	10.5	9.3	6.7	22.6	1.3
男性 18歳~20代(n=44)	63.6	45.5	36.4	18.2	18.2	6.8	13.6	0.0
男性 30代(n=136)	69.9	55.1	24.3	14.0	11.0	9.6	19.1	0.7
男性 40代(n=66)	54.5	54.5	24.2	7.6	9.1	9.1	24.2	0.0
男性 50代(n=63)	55.6	39.7	17.5	7.9	12.7	1.6	23.8	4.8
男性 60歳以上(n=64)	68.8	29.7	6.3	0.0	1.6	4.7	26.6	4.7
女性 18歳~20代(n=37)	70.3	48.6	27.0	10.8	10.8	2.7	21.6	0.0
女性 30代(n=58)	67.2	46.6	24.1	15.5	8.6	8.6	29.3	0.0
女性 40代(n=27)	81.5	44.4	33.3	14.8	3.7	11.1	22.2	0.0
女性 50代(n=25)	56.0	32.0	28.0	8.0	8.0	4.0	20.0	0.0
女性 60歳以上(n=15)	66.7	53.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

図表 137 居住地別 滞在拠点 (SA×MA、n=535)

凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他
全体(n=535)	65.2	46.4	22.4	10.5	9.3	6.7	22.6	1.3
北海道(n=5)	60.0	80.0	40.0	20.0	0.0	0.0	40.0	0.0
東北(n=56)	75.0	44.6	17.9	10.7	10.7	5.4	12.5	0.0
関東(n=90)	61.1	44.4	21.1	6.7	12.2	5.6	16.7	2.2
中部(n=108)	64.8	48.1	21.3	11.1	9.3	9.3	25.0	0.0
近畿(n=108)	64.8	51.9	23.1	13.0	6.5	5.6	27.8	1.9
中国・四国(n=99)	61.6	40.4	24.2	8.1	6.1	9.1	24.2	3.0
九州(n=69)	69.6	44.9	24.6	13.0	14.5	4.3	23.2	0.0

図表 138 世帯年収別 滞在拠点 (SA×MA、n=535)

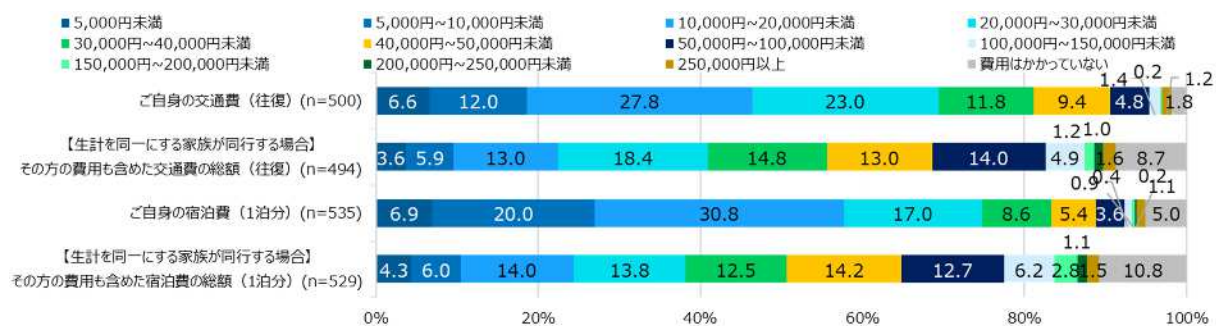
凡例 : 属性ごとの利用率トップ3

	ホテル	旅館	民宿	民泊 (Airbnb等を含む)	ウィークリーマンション	セカンドハウス・別荘 (自身で購入もしくは借りている物件)	家族・親族・友人・知人の家	その他
全体(n=535)	65.2	46.4	22.4	10.5	9.3	6.7	22.6	1.3
~400万円(n=174)	66.7	44.3	25.3	6.9	10.3	6.9	25.3	0.6
401万円~600万円(n=144)	64.6	46.5	18.8	10.4	8.3	7.6	19.4	1.4
601万円~800万円(n=90)	60.0	45.6	20.0	13.3	11.1	3.3	16.7	3.3
801万円~1000万円(n=58)	74.1	34.5	20.7	17.2	6.9	10.3	19.0	1.7
1001万円以上(n=69)	62.3	62.3	27.5	10.1	8.7	5.8	33.3	0.0

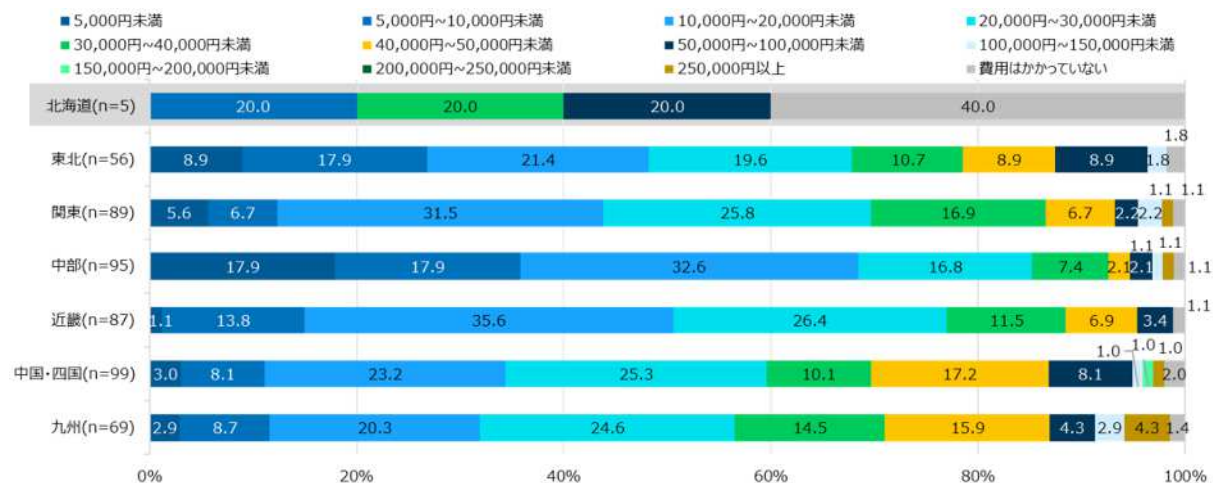
(10) 訪問時の交通費・宿泊費

二地域居住者の富山県来訪時の交通費・宿泊費について、1人あたりの往復の交通費は過半数が30,000円未満、1人あたりの1泊の宿泊費は過半数が20,000円未満である。

図表 139 訪問時の交通費・宿泊費 (SA)



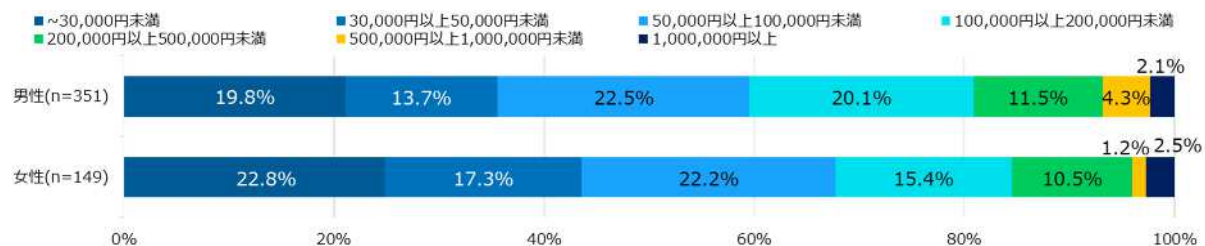
図表 140 居住地別 1人あたりの交通費 (SA×SA、n=500)



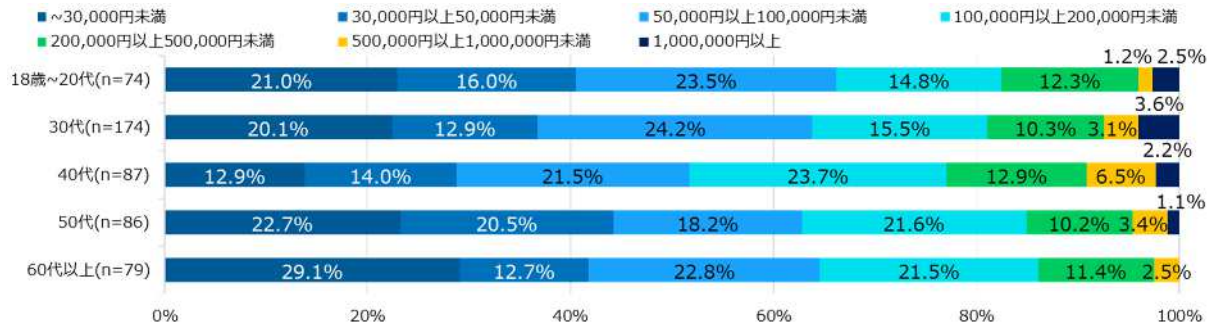
(11) 年間総額の交通費

性別ごとに1人あたりのおおよその年間総額の交通費を算出すると、男性の方が女性より年間総額が高い人の割合が多い。年代別で見ると、40代が比較的多く支出している。

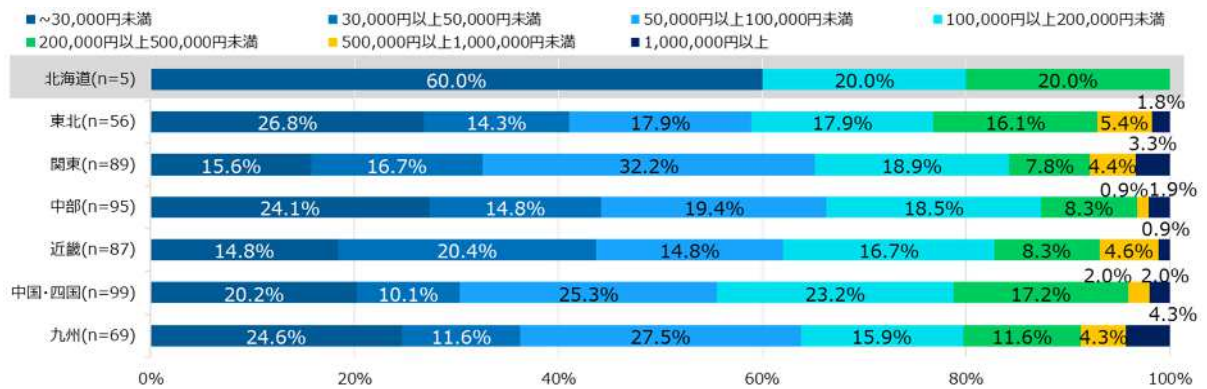
図表 141 性別 年間総額の交通費 (SA×SA、n=500)



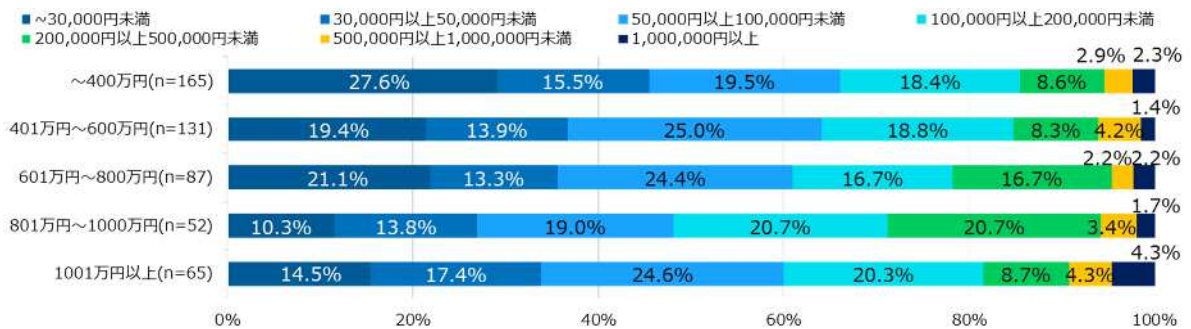
図表 142 年代別 年間総額の交通費 (SA×SA、n=500)



図表 143 居住地別 年間総額の交通費 (SA×SA、n=500)



図表 144 世帯年収別 年間総額の交通費 (SA×SA、n=500)

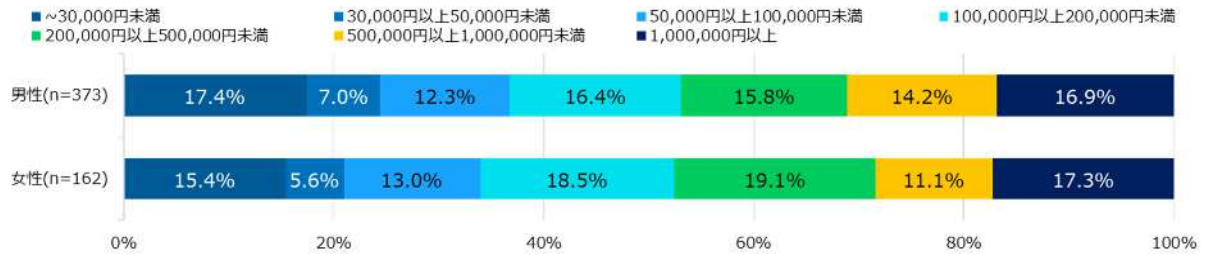


(12) 年間総額の宿泊費

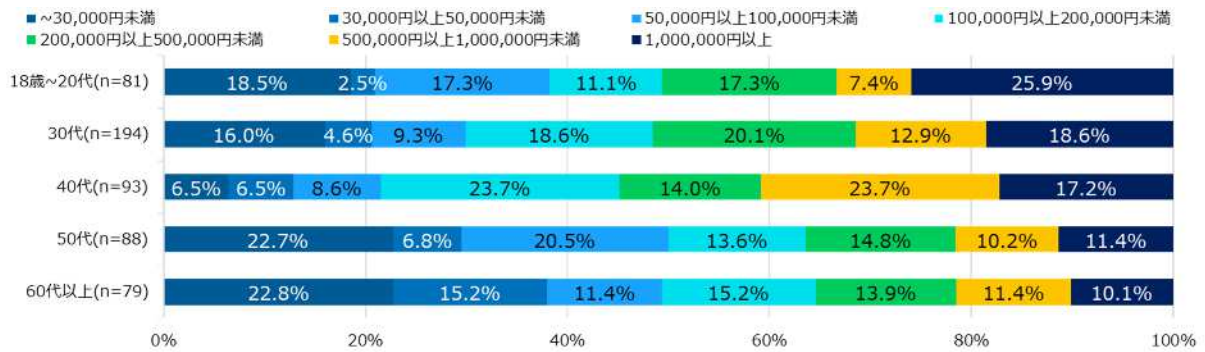
年代別に1人あたりのおおよその年間総額の交通費を算出すると、18歳~40代が比較的多く支出している。また、世帯年収別では、世帯年収が高いほど総額が高くなる傾向にある。

年間総額では、交通費よりも宿泊費の方が、費用が大幅に高い。

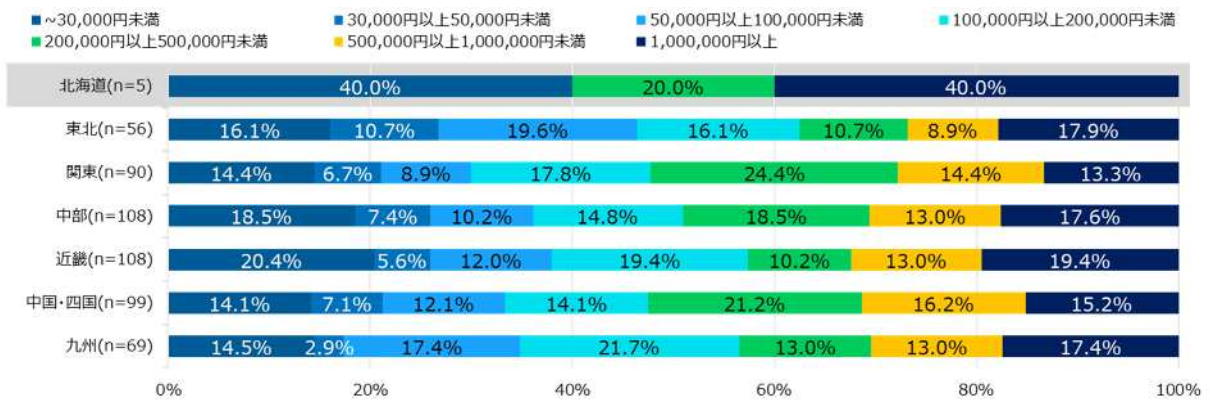
図表 145 性別 年間総額の宿泊費 (SA×SA、n=535)



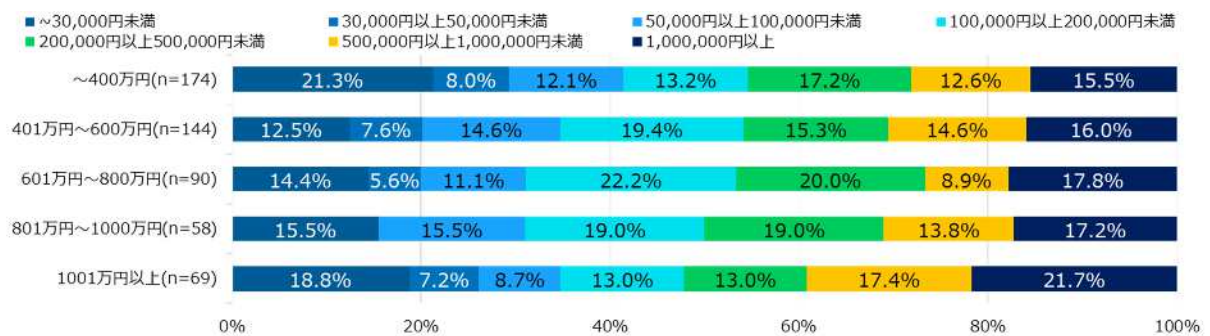
図表 146 年代別 年間総額の宿泊費 (SA×SA、n=535)



図表 147 居住地別 年間総額の宿泊費 (SA×SA、n=535)



図表 148 世帯年収別 年間総額の宿泊費 (SA×SA、n=535)



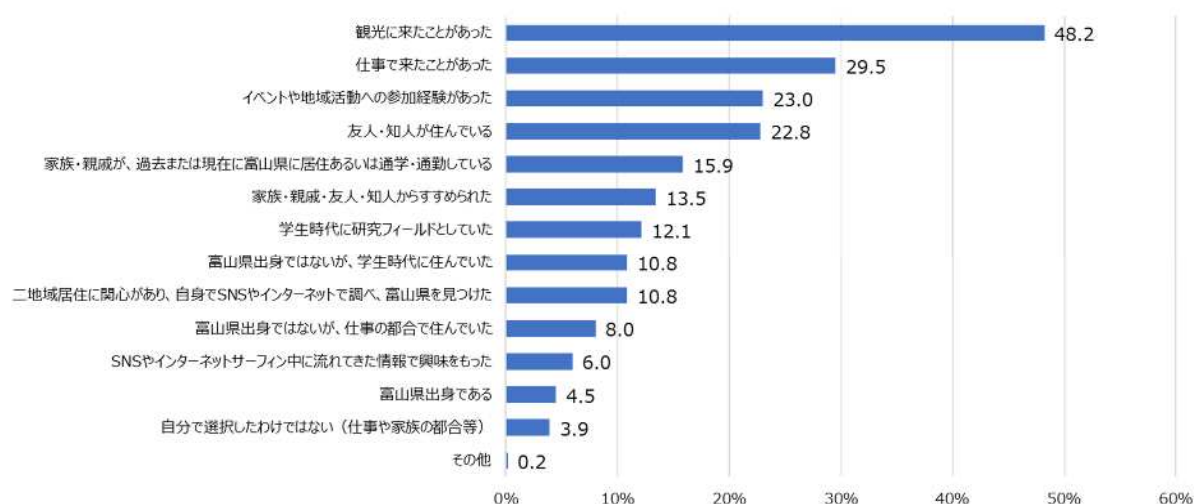
(13) 富山県が二地域居住先の候補に挙げたきっかけ

富山県が二地域居住先の候補に挙げたきっかけは、「観光で来たことがあった」が最も多く、次いで「仕事で来たことがあった」、「イベントや地域活動への参加経験があった」が多い。地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者でも同様にこれらのきっかけが多く選ばれているが（図表 98）、二地域居住者の方が選ばれる割合が低い。

「友人・知人が住んでいる」、「家族・親戚が、過去または現在に富山県に居住あるいは通学・通勤している」、「家族・親戚・友人・知人からすすめられた」といった周辺の人の影響も、きっかけとして多く挙げられている。このような傾向も、地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者と同様である（図表 98）。

また、性年代による差を見ると、男性は「仕事で来たことがあった」、女性は「家族・親戚が、過去または現在に富山県に居住あるいは通学・通勤している」を選択する人の割合が比較的多い傾向にある。

図表 149 富山県が二地域居住先の候補に挙げたきっかけ (MA、n=535)



図表 150 性年代別 富山県が二地域居住先の候補に挙げたきっかけ (SA×MA、n=535)

凡例 : 20%以上が選択

	観光で来たことがあった	仕事で来たことがあった	イベントや地域活動への参加経験があった	学生時代に研究フィールドとしていた	富山県出身である	富山県出身ではないが、学生時代に住んでいた	富山県出身ではないが、仕事の都合で住んでいた	家族・親戚が、過去または現在に富山県に居住あるいは通学・通勤している	友人・知人が住んでいる	家族・親戚・友人・知人からすすめられた	二地域居住に関心があり、自身でSNSやインターネットで調べ、富山県を見つけた	SNSやインターネットサーフィン中に流れてきた情報に興味をもった	自分で選択したわけではない（仕事や家族の都合等）	その他
全体(n=535)	48.2	29.5	23.0	12.1	4.5	10.8	8.0	15.9	22.8	13.5	10.8	6.0	3.9	0.2
男性 18歳~20代(n=44)	43.2	22.7	29.5	15.9	0.0	18.2	13.6	9.1	25.0	13.6	9.1	11.4	2.3	0.0
男性 30代(n=136)	47.8	38.2	23.5	16.9	5.1	12.5	5.9	15.4	21.3	17.6	14.0	8.1	1.5	0.0
男性 40代(n=66)	48.5	37.9	21.2	10.6	7.6	9.1	7.6	15.2	22.7	13.6	9.1	6.1	6.1	0.0
男性 50代(n=63)	44.4	36.5	25.4	6.3	4.8	11.1	6.3	11.1	19.0	9.5	9.5	4.8	9.5	1.6
男性 60歳以上(n=64)	45.3	31.3	18.8	4.7	1.6	4.7	9.4	12.5	28.1	9.4	9.4	0.0	6.3	0.0
女性 18歳~20代(n=37)	56.8	16.2	24.3	8.1	2.7	13.5	21.6	29.7	16.2	8.1	13.5	8.1	5.4	0.0
女性 30代(n=58)	43.1	22.4	24.1	20.7	6.9	8.6	6.9	15.5	25.9	12.1	10.3	6.9	1.7	0.0
女性 40代(n=27)	55.6	14.8	33.3	7.4	0.0	11.1	3.7	25.9	33.3	25.9	18.5	3.7	0.0	0.0
女性 50代(n=25)	64.0	20.0	8.0	8.0	4.0	4.0	4.0	8.0	20.0	4.0	4.0	4.0	0.0	0.0
女性 60歳以上(n=15)	53.3	0.0	13.3	13.3	13.3	20.0	0.0	40.0	13.3	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0

図表 151 居住地別 富山県が二地域居住先の候補に挙げられたきっかけ (SA×MA、n=535)

凡例 : 20%以上が選択

	観光に来た ことがあった	仕事で来た ことがあった	イベントや地 域活動への 参加経験が あった	学生時代に 研究フイール ドとしていた	富山県出身 である	富山県出身 ではないが、 学生時代に 住んでいた	富山県出身 ではないが、 仕事の都合 で住んでいた	家族・親戚 が、過去また は現在に富 山県に居住 あるいは通 学・通勤して いる	友人・知人 が住んでいる	家族・親戚・ 友人・知人 からすすめら れた	二地域居住 に関心があり 自身でSNS やインター ネットで調べ、 富山県を見 つけた	SNSやイン ターネット サーフィン中 に流れてきた 情報で興味 をもった	自分で選択 したわけでは ない(仕事 や家族の都 合等)	その他
全体(n=535)	48.2	29.5	23.0	12.1	4.5	10.8	8.0	15.9	22.8	13.5	10.8	6.0	3.9	0.2
北海道(n=5)	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
東北(n=56)	50.0	28.6	23.2	10.7	3.6	8.9	7.1	5.4	21.4	10.7	7.1	1.8	3.6	0.0
関東(n=90)	44.4	27.8	16.7	16.7	5.6	8.9	4.4	18.9	22.2	14.4	16.7	8.9	4.4	0.0
中部(n=108)	46.3	31.5	25.0	12.0	10.2	10.2	4.6	15.7	16.7	11.1	7.4	3.7	3.7	0.0
近畿(n=108)	59.3	22.2	24.1	8.3	3.7	12.0	7.4	22.2	29.6	18.5	12.0	7.4	3.7	0.0
中国・四国 (n=99)	43.4	31.3	24.2	13.1	0.0	13.1	14.1	14.1	22.2	14.1	9.1	8.1	5.1	1.0
九州(n=69)	46.4	37.7	24.6	13.0	2.9	10.1	11.6	13.0	24.6	10.1	13.0	4.3	1.4	0.0

図表 152 世帯年収別 富山県が二地域居住先の候補に挙げられたきっかけ (SA×MA、n=535)

凡例 : 20%以上が選択

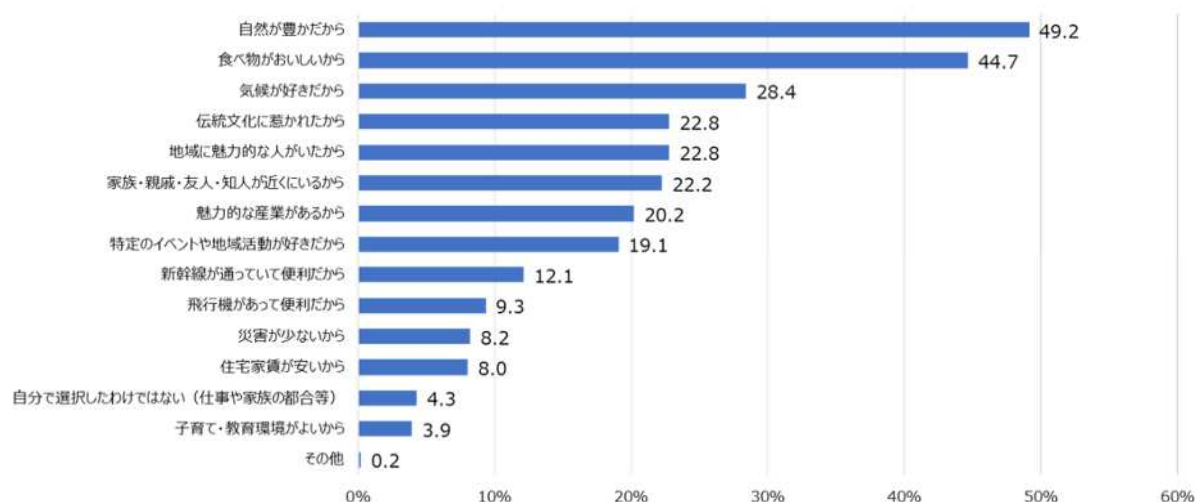
	観光に来た ことがあった	仕事で来た ことがあった	イベントや地 域活動への 参加経験が あった	学生時代に 研究フイール ドとしていた	富山県出身 である	富山県出身 ではないが、 学生時代に 住んでいた	富山県出身 ではないが、 仕事の都合 で住んでいた	家族・親戚 が、過去また は現在に富 山県に居住 あるいは通 学・通勤して いる	友人・知人 が住んでいる	家族・親戚・ 友人・知人 からすすめら れた	二地域居住 に関心があり 自身でSNS やインター ネットで調べ、 富山県を見 つけた	SNSやイン ターネット サーフィン中 に流れてきた 情報で興味 をもった	自分で選択 したわけでは ない(仕事 や家族の都 合等)	その他
全体(n=535)	48.2	29.5	23.0	12.1	4.5	10.8	8.0	15.9	22.8	13.5	10.8	6.0	3.9	0.2
~400万円 (n=174)	48.9	21.3	29.9	15.5	5.2	13.2	12.1	15.5	23.0	13.2	16.1	8.6	2.3	0.0
401万円~600 万円(n=144)	45.8	28.5	16.7	10.4	3.5	7.6	4.9	11.8	24.3	14.6	8.3	5.6	5.6	0.0
601万円~800 万円(n=90)	50.0	34.4	18.9	7.8	3.3	6.7	8.9	11.1	20.0	6.7	4.4	2.2	6.7	0.0
801万円 ~1000万円 (n=58)	43.1	36.2	22.4	19.0	5.2	19.0	5.2	19.0	19.0	12.1	5.2	8.6	3.4	1.7
1001万円以上 (n=69)	53.6	40.6	24.6	7.2	5.8	10.1	5.8	29.0	26.1	21.7	15.9	2.9	1.4	0.0

(14) 富山県を二地域居住先に選んだ理由

富山県を二地域居住先に選んだ理由は、「自然が豊かだから」、「食べ物がおいしいから」、「気候が好きだから」の順に多い。

性年代による差を見ると、若年層の方が富山県を二地域居住先に選んだ理由が多様な傾向にある。

図表 153 富山県を二地域居住先に選んだ理由 (MA、n=535)



図表 154 性年代別 富山県を二地域居住先に選んだ理由 (SA×MA、n=535)

凡例 : 20%以上が選択

	自然が豊かだから	食べ物がおいしいから	気候が好きだから	伝統文化に惹かれたから	特定のイベントや地域活動が好きだから	地域に魅力的な人がいたから	魅力的な産業があるから	家族・親戚・友人・知人が近くにいるから	飛行機があって便利だから	新幹線が通っていて便利だから	災害が少ないから	住宅家賃が安いから	子育て・教育環境がよいから	自分で選択したわけではない (仕事や家族の都合等)	その他
全体(n=535)	49.2	44.7	28.4	22.8	19.1	22.8	20.2	22.2	9.3	12.1	8.2	8.0	3.9	4.3	0.2
男性 18歳~20代 (n=44)	52.3	43.2	31.8	22.7	29.5	20.5	25.0	18.2	18.2	18.2	20.5	6.8	4.5	0.0	0.0
男性 30代 (n=136)	44.9	40.4	25.7	26.5	21.3	27.2	21.3	22.8	12.5	14.7	11.8	8.8	3.7	2.2	0.0
男性 40代 (n=66)	45.5	50.0	28.8	27.3	22.7	22.7	22.7	15.2	9.1	10.6	6.1	9.1	4.5	6.1	0.0
男性 50代 (n=63)	47.6	49.2	33.3	22.2	23.8	17.5	20.6	19.0	6.3	4.8	6.3	9.5	1.6	7.9	1.6
男性 60歳以上 (n=64)	60.9	50.0	23.4	12.5	6.3	15.6	7.8	28.1	1.6	12.5	1.6	4.7	0.0	9.4	0.0
女性 18歳~20代 (n=37)	45.9	37.8	35.1	21.6	27.0	24.3	27.0	21.6	16.2	18.9	5.4	10.8	8.1	2.7	0.0
女性 30代 (n=58)	36.2	44.8	32.8	24.1	15.5	29.3	24.1	20.7	8.6	12.1	5.2	8.6	10.3	3.4	0.0
女性 40代 (n=27)	63.0	37.0	29.6	25.9	11.1	25.9	18.5	37.0	7.4	11.1	14.8	14.8	0.0	0.0	0.0
女性 50代 (n=25)	60.0	44.0	28.0	16.0	16.0	16.0	20.0	20.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0
女性 60歳以上 (n=15)	66.7	53.3	6.7	20.0	0.0	20.0	6.7	33.3	0.0	13.3	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0

図表 155 居住地別 富山県を二地域居住先に選んだ理由 (SA×MA、n=535)

凡例 : 20%以上が選択

	自然が豊かだから	食べ物がおいしいから	気候が好きたから	伝統文化に惹かれたから	特定のイベントや地域活動が好きだから	地域に魅力的な人がいたから	魅力的な産業があるから	家族・親戚・友人・知人が近くにいるから	飛行機があつて便利だから	新幹線が通っていて便利だから	災害が少ないから	住宅家賃が安いから	子育て・教育環境がよいから	自分で選んだわけではない(仕事や家族の都合等)	その他
全体(n=535)	49.2	44.7	28.4	22.8	19.1	22.8	20.2	22.2	9.3	12.1	8.2	8.0	3.9	4.3	0.2
北海道(n=5)	60.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	40.0	0.0
東北(n=56)	62.5	41.1	30.4	14.3	17.9	17.9	16.1	16.1	7.1	10.7	5.4	0.0	3.6	3.6	0.0
関東(n=90)	48.9	44.4	24.4	20.0	12.2	24.4	20.0	18.9	11.1	15.6	6.7	8.9	4.4	5.6	0.0
中部(n=108)	43.5	50.0	28.7	25.0	21.3	23.1	20.4	27.8	3.7	13.9	11.1	4.6	1.9	3.7	0.0
近畿(n=108)	57.4	44.4	32.4	24.1	21.3	22.2	25.9	27.8	13.0	13.0	10.2	15.7	6.5	4.6	0.0
中国・四国(n=99)	42.4	44.4	29.3	24.2	19.2	27.3	20.2	19.2	14.1	12.1	8.1	11.1	5.1	4.0	1.0
九州(n=69)	43.5	40.6	26.1	27.5	21.7	18.8	15.9	20.3	5.8	5.8	4.3	1.4	1.4	1.4	0.0

図表 156 世帯年収別 富山県を二地域居住先に選んだ理由 (SA×MA、n=535)

凡例 : 20%以上が選択

	自然が豊かだから	食べ物がおいしいから	気候が好きたから	伝統文化に惹かれたから	特定のイベントや地域活動が好きだから	地域に魅力的な人がいたから	魅力的な産業があるから	家族・親戚・友人・知人が近くにいるから	飛行機があつて便利だから	新幹線が通っていて便利だから	災害が少ないから	住宅家賃が安いから	子育て・教育環境がよいから	自分で選んだわけではない(仕事や家族の都合等)	その他
全体(n=535)	49.2	44.7	28.4	22.8	19.1	22.8	20.2	22.2	9.3	12.1	8.2	8.0	3.9	4.3	0.2
~400万円(n=174)	50.6	43.7	33.3	22.4	21.8	21.3	24.7	19.5	12.6	13.2	10.9	9.8	7.5	3.4	0.0
401万円~600万円(n=144)	44.4	43.8	26.4	20.8	17.4	21.5	16.7	26.4	5.6	9.7	8.3	9.0	2.1	5.6	0.0
601万円~800万円(n=90)	50.0	42.2	15.6	18.9	16.7	20.0	12.2	16.7	3.3	10.0	5.6	1.1	0.0	5.6	0.0
801万円~1000万円(n=58)	46.6	48.3	24.1	25.9	19.0	27.6	20.7	22.4	12.1	12.1	3.4	10.3	3.4	3.4	1.7
1001万円以上(n=69)	56.5	49.3	40.6	30.4	18.8	29.0	26.1	27.5	14.5	17.4	8.7	8.7	4.3	2.9	0.0

図表 157 二地域居住の目的別 富山県を二地域居住先に選んだ理由 (MA×MA、n=535)

凡例 : 30%以上が選択

	自然が豊かだから	食べ物がおいしくから	気候が好きたから	伝統文化に惹かれたから	特定のイベントや地域活動が好きだから	地域に魅力的な産業があるから	魅力的な産業があるから	家族・親戚・友人・知人が近くにいるから	飛行機があって便利だから	新幹線が通っていて便利だから	災害が少ないから	住宅家賃が安いから	子育て・教育環境がよいから	自分で選んだわけではない(仕事や家族の都合等)	その他
全体(n=535)	49.2	44.7	28.4	22.8	19.1	22.8	20.2	22.2	9.3	12.1	8.2	8.0	3.9	4.3	0.2
地域貢献・産業支援のため(n=227)	68.3	59.0	34.8	33.0	24.7	33.0	28.2	21.1	9.3	14.5	10.1	11.0	6.6	1.8	0.0
地域コミュニティへの参加・交流のため(n=194)	59.8	61.9	39.7	34.0	28.4	33.5	26.3	24.7	12.4	17.5	10.8	11.9	6.2	1.0	0.0
ワーク・ライフバランスの追求のため(n=139)	56.1	55.4	38.8	36.7	27.3	39.6	28.1	22.3	18.7	18.0	16.5	10.1	7.9	0.7	0.0
趣味・自己実現のため(n=145)	51.7	51.0	42.8	28.3	24.8	31.7	33.8	23.4	15.2	15.9	13.1	14.5	7.6	0.7	0.0
家族・親戚・友人・知人との交流のため(n=146)	47.3	51.4	34.2	29.5	23.3	34.9	28.8	43.8	13.0	17.8	12.3	8.9	5.5	2.7	0.7
子育てのため(n=54)	53.7	38.9	38.9	37.0	18.5	42.6	37.0	27.8	25.9	25.9	24.1	16.7	14.8	0.0	0.0
リタイア後の新たな生活のため(n=65)	40.0	53.8	41.5	35.4	30.8	35.4	29.2	30.8	21.5	20.0	23.1	23.1	9.2	0.0	0.0
介護や家業の手伝いのため(n=56)	48.2	42.9	30.4	28.6	28.6	35.7	35.7	41.1	25.0	30.4	21.4	19.6	14.3	5.4	0.0
家や墓等の管理のため(n=38)	52.6	42.1	47.4	28.9	26.3	42.1	36.8	44.7	36.8	31.6	34.2	23.7	13.2	5.3	2.6
本業の仕事(転勤を含む)のため(n=45)	44.4	48.9	24.4	20.0	28.9	22.2	20.0	33.3	17.8	17.8	24.4	24.4	8.9	24.4	0.0
副業・兼業等のため(n=25)	72.0	68.0	52.0	36.0	32.0	28.0	44.0	36.0	16.0	32.0	24.0	28.0	28.0	4.0	0.0
その他(n=3)	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

(15) 富山県を二地域居住先にすることを決めた具体的な経緯や理由

自由記述回答を見ると、富山県で二地域居住をする理由として、地域資源の魅力や親族・友人が富山県にいることを挙げる人が多い。

その他、理想のライフスタイルの実現や暮らしやすさ・働きやすさを理由に富山県に関わる人がいる。また、地域活動への参加をきっかけに二地域居住を始める人もいる。

図表 158 富山県を二地域居住先にすることを決めた具体的な経緯や理由 (自由記述回答)

カテゴリ	回答例	
地域資源が魅力的	自然環境の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊かで暮らしやすい ・ 海が見えて、雪山があるから ・ 自然が豊かで、景色が美しく、景観が良く、空気がきれいで、観光資源に恵まれているから ・ 自然と共に共存できるところが好き
	食べ物の魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べ物がおいしい、空気が良い、いい人が多い ・ 海産物がおいしいと聞いたため ・ 地域特産品が魅力的なものが多いから
親族・友人・知人の影響	親族・友人・知人がいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 十数年来の気の合う友人がいるので近くにいたくて ・ 親戚知人が住んでいるから ・ 彼女がいるから ・ 友達が富山に住んでおり、観光した際に惹かれたため
	親族・友人・知人の誘い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知り合いからの情報 ・ 親戚や友人から話を聞いて魅力を感じた ・ 昔仕事でお世話になった恩師の勧め

理想のライフスタイルの実現	子育てのため	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子の保育のため ・ 子が一時的に生活していた ・ 子育てに最適
	療養・心身のリフレッシュ・健康	<ul style="list-style-type: none"> ・ 病気の療養目的に富山県での二地域居住を始めた ・ リフレッシュのため ・ 健康
	趣味・自己実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 気分転換したかったから ・ 自分の活動の幅を広げたいと思ったから ・ 富山県における、農業発展に興味があった ・ 交流を深めていくうちに、ボランティア活動にも興味が出た
暮らしやすさ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本当に住みやすいし、地域住民も優しいから ・ 転勤をきっかけにとても住みやすかったので決めた ・ 交通の便がよい ・ 暮らしやすい
仕事関連	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の関係で富山に関わるようになったため ・ 会社の転勤
地域活動等への参加がきっかけ	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化プロジェクトに参加したから ・ 地域住民との交流を経て興味がわいたから ・ 被災地を応援したい ・ 大学教授のプロジェクトに参画するため
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生時代に住んでいたから ・ 余裕が出来てきたので、ハイソな暮らしに憧れた

(16) 富山県で二地域居住をしてよかったこと

自由記述回答を見ると、二地域居住をしてよかったこととしては、自然や食の豊かさの他、人の温かさや生活環境の良さ、心身のリフレッシュ等、多様な点が挙げられている。

図表 159 富山県で二地域居住をしてよかったこと（自由記述回答）

カテゴリ	回答例
自然が豊か・景観がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 野生動物や野鳥、珍しい動物や、美しい山岳風景を見られる ・ 自然を体感できること。都会では感じられない体感があること
食べ物がおいしい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の美味しい食事を堪能できた ・ お米が美味しく感じる ・ 海があり新鮮な魚介が手に入る ・ 食べ物(特にお米と海鮮)が本当に美味しく幸せ
人が温かい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人とのつながり、あたたかさを感じたから ・ 住民が温かく迎えてくれる ・ 人々は案外親切だった。もっと閉鎖的かと思った

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 村の人たちが優しいところ
生活環境がよい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間がゆったりしているし、コンパクトな街である。また、市電が移動の足になる ・ 田舎と都会が、うまく融合していた点。(近代的かつ古風) ・ 家賃が安く拠点となる居住を持ちやすく、仕事面でも支援が充実している ・ 都会のごみごみした感じがしない
心身のリフレッシュ・健康促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然が近く気分転換しやすくなった ・ ストレスをあまり感じなくなった ・ 時間がゆっくり流れる感覚を味わえる ・ 仕事中心の滞在だったが、趣味の釣り、登山が、身近で、出来た
子育て環境がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てがしやすい ・ 子どもにいい経験をさせてあげられる
老後の生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老後の生きがいを得た ・ 定年後の生活に潤いがありリフレッシュできてとても良い
地域との関わり・地域理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の住んでいる地域と違う文化を見つけたり、その地域の人と触れ合うことができる ・ 新しい文化を知ったり、人とのつながりができたこと ・ 現地の人が感じている社会課題や地球温暖化の影響を直接実感する事が出来る ・ 地域発展のために貢献できること
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 充実感が大きい ・ 過酷なことも多いが全てが自分の成長につながると感じる

(17) 二地域居住を開始するにあたって困ったことや大変だったこと

自由記述回答を見ると、二地域居住を開始するにあたってのハードルとしては、費用負担や交通手段・移動時間・距離の問題、住居の確保が多く挙げられる。また、情報不足や周囲の理解が得られないこと、気候が厳しいこと等も挙げられた。

図表 160 二地域居住を開始するにあたって困ったことや大変だったこと（自由記述回答）

カテゴリ	回答例
費用負担（交通費・滞在費等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動にかかる費用がかなり高いので、頻繁にはできない ・ 交通費とホテル費がかかる ・ 交通費や時間がかかる
交通手段、移動時間・距離の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車・列車等を使い続けて訪問する。長距離を自家用車のみ運転は疲労が激しい ・ 距離が遠いので交通に不便 ・ 車がないと生活できない ・ 往復するのにある程度時間が必要
住居の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住地を探すことが難しい

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家電を揃えるのが大変 ・ 住まい探し 行政手続きや生活インフラの準備(ネット、公共料金、住民関連サービス) ・ ショートステイの場所探し
情報不足・土地勘	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土地勘がないこと ・ 慣れない生活環境への適応 ・ 情報の少なさ
周囲の理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妻の説得 ・ 周りからの反対意見
気候の厳しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬場の気候 ・ 雪が多い
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事の調整 ・ 休みがなかなか取れなかった ・ 喘息をはじめ、肺疾患の療養先として、何処がいいか悩んだこと ・ 初めは知らない人ばかりなので大変だった

(18) 実際に二地域居住をしてみて困ったことや大変だったこと

自由記述回答を見ると、二地域居住をしてみて大変だったこととしては、費用負担や交通手段・移動時間・距離の問題が多く挙げられる。また、二地域居住前にハードルに感じることにはあまり出てこなかった気候の厳しさ、生活環境への適応、人間関係、体力・年齢による負担等が挙げられた点が特徴的である。

図表 161 実際に二地域居住をしてみて困ったことや大変だったこと（自由記述回答）

カテゴリ	回答例
費用負担（交通費・滞在費等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市と地域を往復する際の移動費の負担 ・ 交通費が高い ・ 生活するだけのお金がなかった
交通手段、移動時間・距離の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 移動手段の確保 ・ 山形県からの移動方法が少ない ・ 往復の荷物や手間 ・ 往復の時間、渋滞など
気候の厳しさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 雪が降ると大変だと感じる ・ 雪かきが大変 ・ 冬場の交通機関が麻痺する事が多々あること ・ 冬季は移動にリスクを伴う
生活環境への適応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物がかたくなる ・ 車が無いと不便 ・ 地域ごとの生活ルールの違い(地域の行事、習慣、ゴミ出しルールなど) ・ 野生動物に気を配りながらの生活

コミュニティへの参加・人間関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の輪に溶け込むこと ・ 友人の作り方 ・ コミュニケーション
体力・年齢による負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自家用車・列車等を乗り継いで訪問する。長距離を自家用車のみ運転は疲労が激しい ・ 移動時間が体力的につらいときもある ・ 高齢になると辛い ・ 体力と気力の維持
仕事との両立・日数の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人として仕事との両立が大変だった ・ 滞在日程が少な過ぎる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ ショートステイの場所探し ・ 掃除などのハウスキーピング ・ 管理や行政手続きで時間が合わないことがある ・ 富山のことを知らない

4) その他関係人口の分類または参考分類に該当する者の集計結果

その他関係人口の分類または参考分類に該当する者のうち、地域の課題解決・活性化の取組みに関わることに興味・関心を持っている人は4割程度であり（図表 167）、興味・関心を持つ取組みの種類は「自然・環境保護活動」、「地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加」、「伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）」の順に多い（図表 173）。

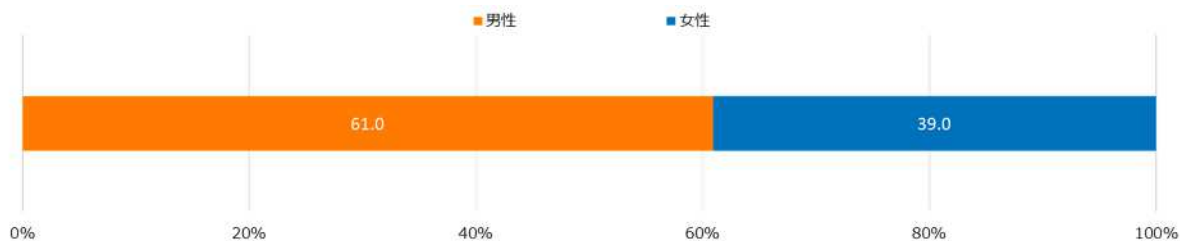
他方、二地域居住については、富山県での二地域居住に限らず二地域居住自体に興味・関心を持っている人は回答者の4割弱であるが（図表 182）、そのうち二地域居住先の候補として富山県に興味・関心を持っている人は7割にのぼる（図表 183）。二地域居住先の候補として富山県に関心・興味を持っているのは、女性より男性、高齢者より若年層、遠方地域居住者より近隣地域居住者が多い（図表 185～図表 187）。

地域の課題解決・活性化の取組みに興味・関心がある人と二地域居住に興味・関心がある人で、障壁となることについての回答に大きな差は見られない（図表 177、図表 193）。

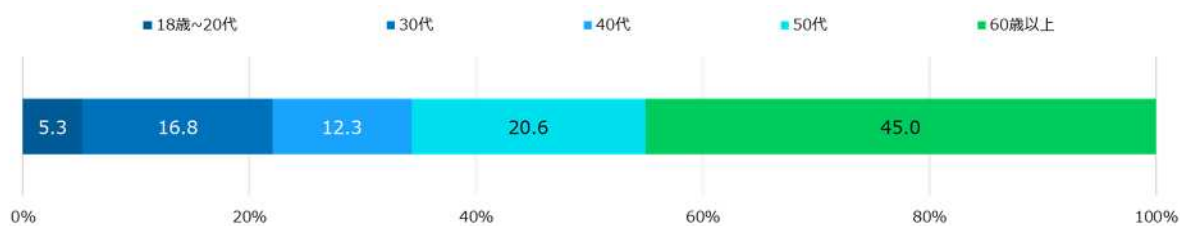
(1) 回答者属性

本調査の回答者の属性は以下のとおり。

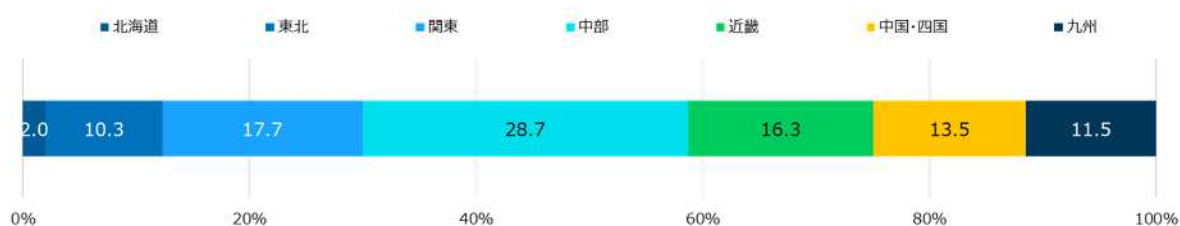
図表 162 性別 (SA、n=4,008)



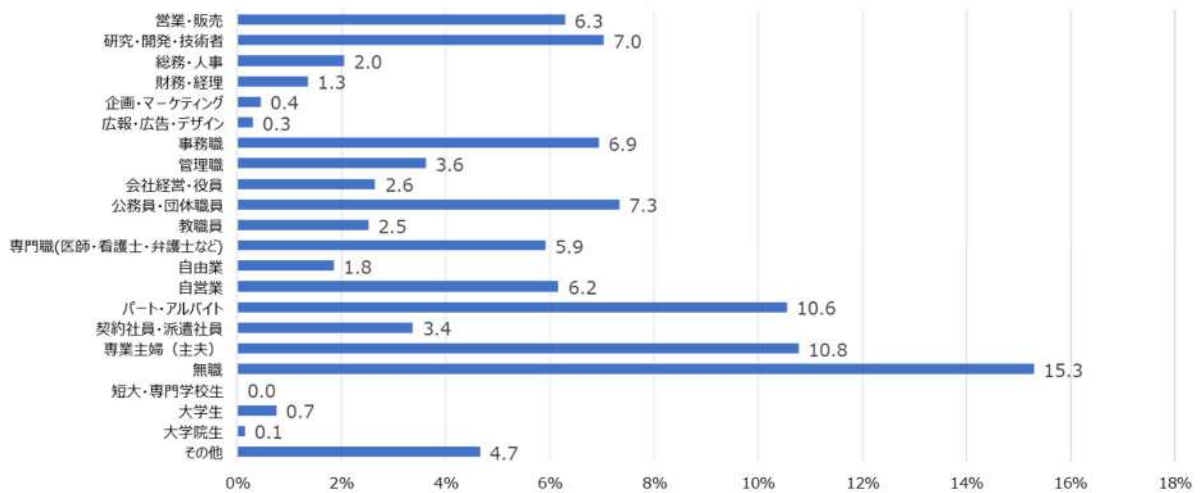
図表 163 年代 (SA、n=4,008)



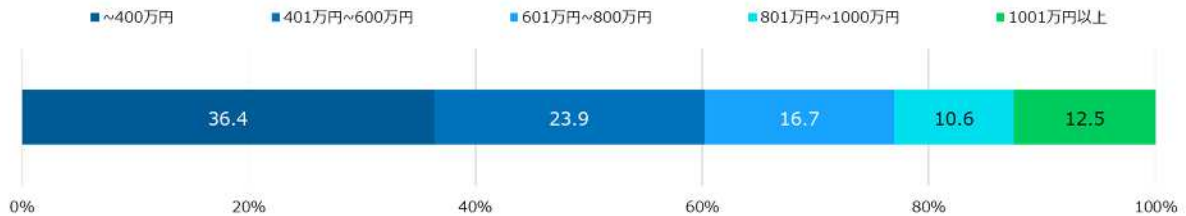
図表 164 居住地 (SA、n=4,008)



図表 165 職種 (SA、n=4,008)



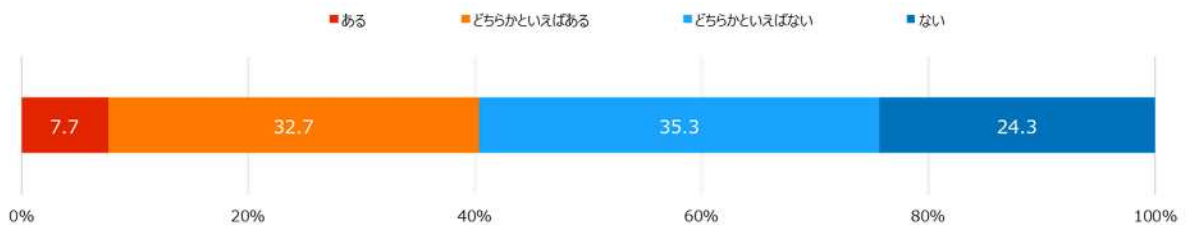
図表 166 世帯年収 (SA、n=4,008)



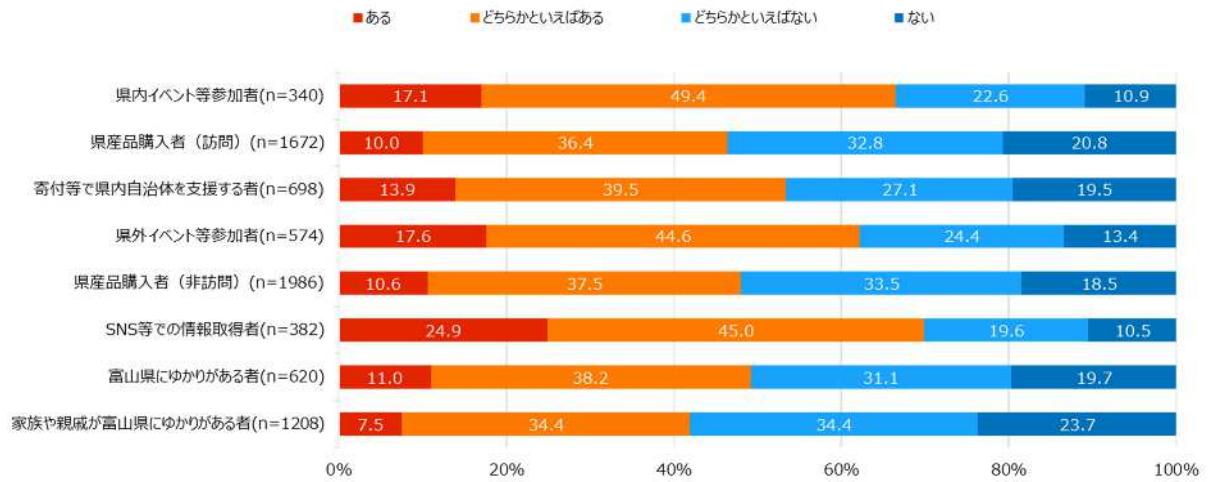
(2) 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心

地域の課題解決・活性化の取組みに関わることへの興味・関心について、「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人の割合は4割程度である。関係人口の分類・参考分類ごとに見ると SNS 等での情報取得者、県外イベント等参加者、県内イベント等参加者の順に多く、性年代別に見ると男女ともに若い人ほど多い傾向にある。

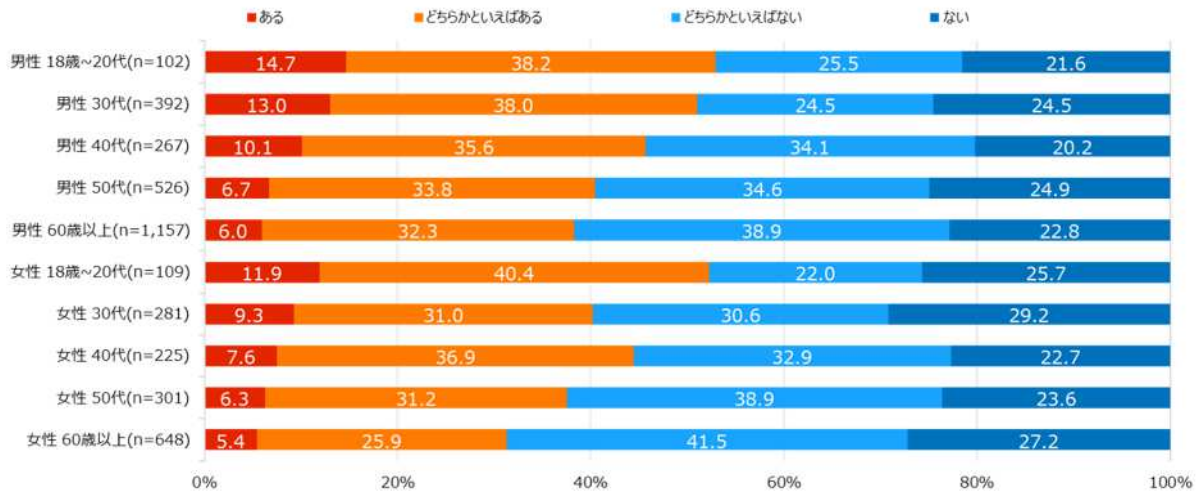
図表 167 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心 (SA、n=4,008)



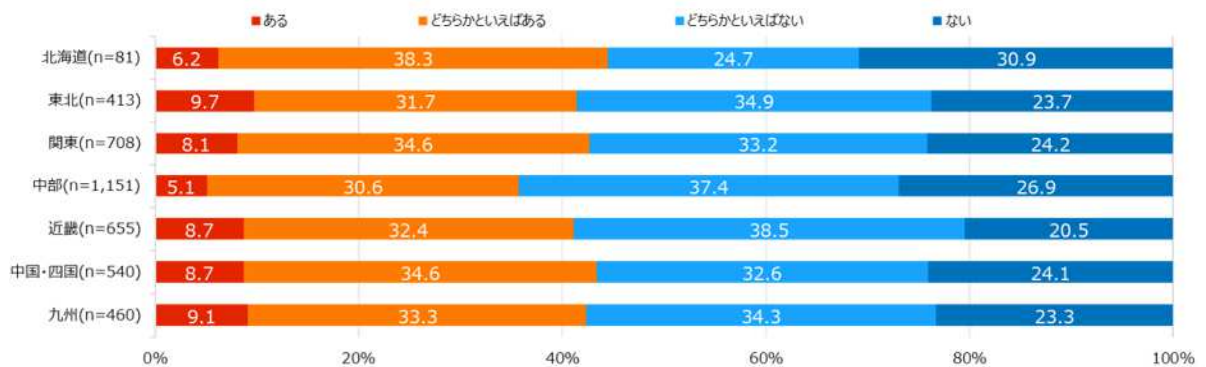
図表 168 その他関係人口の分類・参考分類別 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心 (MA×SA、n=4,008)



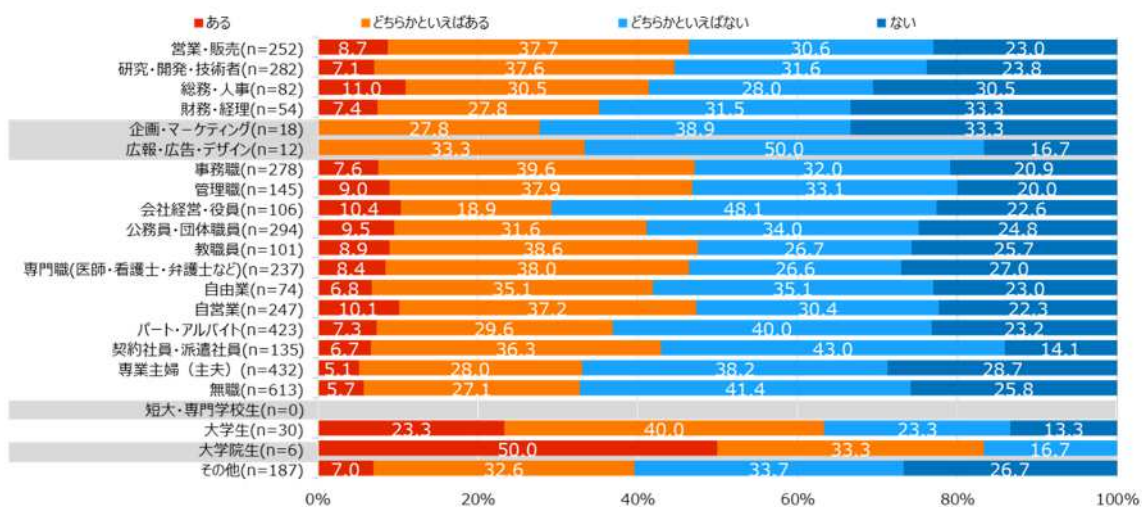
図表 169 性年代別 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心 (SA×SA、n=4,008)



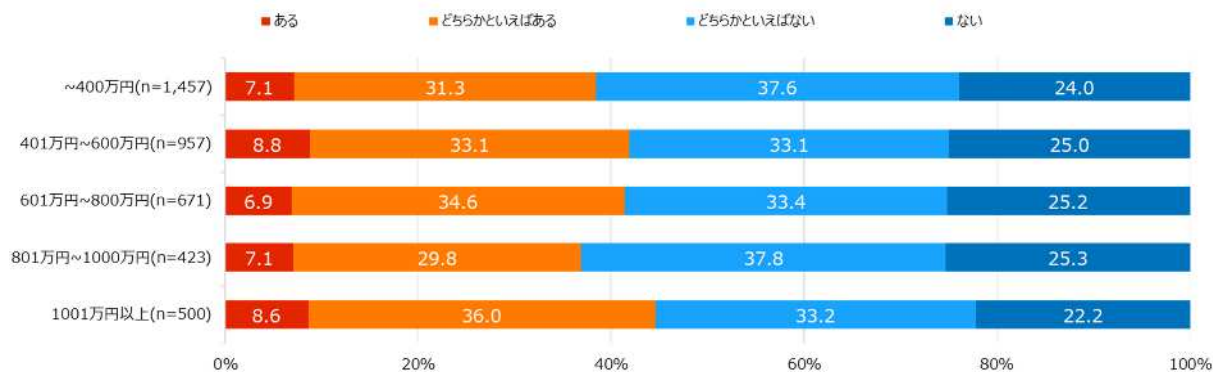
図表 170 居住地別 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心 (SA×SA、n=4,008)



図表 171 職種別 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心 (SA×SA、n=4,008)



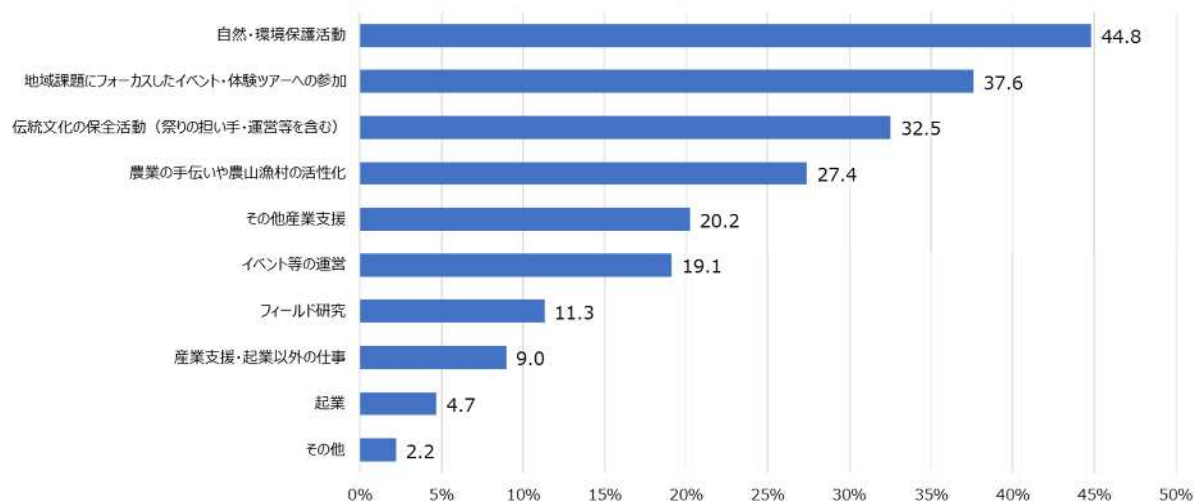
図表 172 世帯年収別 地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心 (SA×SA、n=4,008)



(3) 興味・関心を持つ取組みの種類

地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人が、興味・関心を持つ取組みの種類は、「自然・環境保護活動」、「地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加」、「伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）」の順に多い。また、性年代別に見ると、「イベント等の運営」は、男女ともに若い層に関わる傾向にある。

図表 173 興味・関心を持つ取組みの種類 (MA、n=1,618)



図表 174 性年代別 興味・関心を持つ取組みの種類 (SA×MA、n=1,618)

凡例 : 20%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動 (祭りの担い手・運営等を含む)	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=1,618)	19.1	37.6	32.5	44.8	11.3	27.4	20.2	4.7	9.0	2.2
男性 18歳~20代(n=54)	35.2	46.3	35.2	50.0	22.2	29.6	11.1	5.6	9.3	3.7
男性 30代(n=200)	23.0	36.0	31.5	38.0	16.5	34.5	21.5	7.0	9.5	1.0
男性 40代(n=122)	22.1	45.1	32.0	37.7	12.3	30.3	21.3	11.5	9.0	2.5
男性 50代(n=213)	16.4	39.4	31.0	43.2	13.1	26.8	22.1	3.8	11.7	1.9
男性 60歳以上(n=443)	15.6	33.0	31.2	51.0	7.7	20.8	21.2	2.7	8.8	2.5
女性 18歳~20代(n=57)	35.1	45.6	35.1	29.8	17.5	22.8	19.3	5.3	10.5	0.0
女性 30代(n=113)	27.4	42.5	36.3	42.5	17.7	33.6	13.3	7.1	8.0	0.9
女性 40代(n=100)	22.0	41.0	34.0	40.0	12.0	31.0	18.0	4.0	13.0	2.0
女性 50代(n=113)	17.7	32.7	37.2	42.5	9.7	38.1	19.5	6.2	7.1	1.8
女性 60歳以上(n=203)	9.9	36.5	31.5	51.7	3.9	23.2	22.2	1.5	4.9	4.4

図表 175 居住地別 興味・関心を持つ取組みの種類 (SA×MA、n=1,618)

凡例 : 20%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動 (祭りの担い手・運営等を含む)	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=1,618)	19.1	37.6	32.5	44.8	11.3	27.4	20.2	4.7	9.0	2.2
北海道(n=36)	22.2	33.3	41.7	36.1	11.1	33.3	27.8	0.0	11.1	0.0
東北(n=171)	21.1	36.3	36.3	46.2	12.3	31.6	21.6	5.3	9.9	1.2
関東(n=302)	19.9	34.1	34.1	45.4	9.3	28.8	24.5	3.6	7.9	1.0
中部(n=411)	20.7	42.6	26.0	41.8	8.5	21.7	16.3	3.9	8.3	2.4
近畿(n=269)	16.0	34.9	34.2	46.5	13.0	27.5	24.2	6.3	10.0	3.7
中国・四国(n=234)	17.5	37.6	32.5	42.7	14.1	26.5	16.7	4.3	8.1	3.4
九州(n=195)	18.5	37.9	36.4	50.8	13.8	33.3	17.9	6.7	10.3	1.5

図表 176 世帯年収別 興味・関心を持つ取組みの種類 (SA×MA、n=1,618)

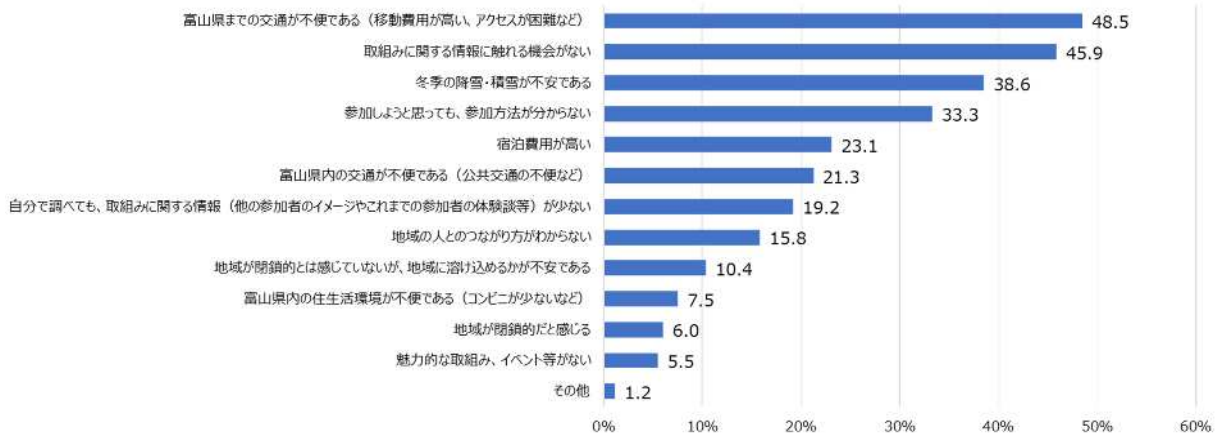
凡例 : 20%以上が選択

	イベント等の運営	地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加	伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）	自然・環境保護活動	フィールド研究	農業の手伝いや農山漁村の活性化	その他産業支援	起業	産業支援・起業以外の仕事	その他
全体(n=1,618)	19.1	37.6	32.5	44.8	11.3	27.4	20.2	4.7	9.0	2.2
~400万円(n=560)	18.8	37.0	33.0	44.3	8.8	23.6	16.4	3.6	9.6	2.7
401万円~600万円(n=401)	17.7	35.2	30.7	47.1	11.5	28.7	24.2	4.0	7.5	3.0
601万円~800万円(n=278)	19.1	38.1	32.7	42.8	13.3	30.6	20.5	5.8	9.0	2.2
801万円~1000万円(n=156)	20.5	37.8	32.7	48.7	16.7	30.1	21.2	5.8	9.6	0.6
1001万円以上(n=223)	21.5	42.6	34.1	41.7	11.2	28.7	21.5	6.7	9.4	0.9

(4) 取組みに関与するにあたっての障壁

地域の課題解決・活性化の取組みへの興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人にとって、取組みに関与するにあたっての障壁となっていることは、「富山県までの交通が不便である（移動費用が高い、アクセスが困難など）」、「取組みに関する情報に触れる機会がない」、「冬季の降雪・積雪が不安である」の順に多い。また、属性によって興味・関心を持つ取組みの種類に大きな差は見られない。

図表 177 取組みに関与するにあたっての障壁 (MA、n=1,618)



図表 178 性年代別 取組みに関与するにあたっての障壁 (SA×MA、n=1,618)

凡例 : 30%以上が選択

	取組みに関する情報に触れる機会がない	自分で調べても、取組みに関する情報(他の参加者のイメージやこれまでの参加者の体験談等)が少ない	参加しようと思っても、参加方法が分からない	富山県までの交通が不便である(移動費用が高い、アクセスが困難など)	富山県内の交通が不便である(公共交通の不便など)	宿泊費用が高い	富山県内の住生活環境が不便である(コンビニが少ないなど)	冬季の降雪・積雪が不安である	地域の人のつながり方がわからない	地域が閉鎖的だと感じる	地域が閉鎖的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安である	魅力的な取組み、イベント等がない	その他
全体(n=1,618)	45.9	19.2	33.3	48.5	21.3	23.1	7.5	38.6	15.8	6.0	10.4	5.5	1.2
男性 18歳~20代(n=54)	46.3	14.8	24.1	48.1	16.7	20.4	7.4	31.5	7.4	3.7	5.6	3.7	0.0
男性 30代(n=200)	45.5	22.5	33.0	40.5	20.0	19.5	11.0	35.0	19.5	8.5	10.5	3.0	1.5
男性 40代(n=122)	45.9	25.4	32.8	43.4	27.9	25.4	10.7	37.7	16.4	10.7	12.3	4.1	0.8
男性 50代(n=213)	40.4	18.8	37.1	50.2	23.0	24.4	8.0	37.1	14.6	5.6	15.5	4.7	1.4
男性 60歳以上(n=443)	45.1	19.2	34.1	51.0	15.1	20.8	2.7	39.5	16.7	4.1	11.5	7.0	0.9
女性 18歳~20代(n=57)	52.6	14.0	36.8	35.1	22.8	29.8	10.5	24.6	21.1	12.3	0.0	5.3	0.0
女性 30代(n=113)	46.0	18.6	40.7	44.2	28.3	23.0	15.9	33.6	15.0	12.4	5.3	7.1	0.0
女性 40代(n=100)	46.0	22.0	29.0	50.0	25.0	21.0	8.0	44.0	16.0	4.0	12.0	5.0	3.0
女性 50代(n=113)	50.4	20.4	32.7	55.8	20.4	27.4	8.0	44.2	16.8	4.4	9.7	4.4	0.9
女性 60歳以上(n=203)	48.8	13.8	28.1	53.7	25.6	26.6	6.4	44.8	11.8	2.5	7.9	6.9	2.0

図表 179 居住地別 取組みに関与するにあたっての障壁 (SA×MA、n=1,618)

凡例 : 30%以上が選択

	取組みに関する情報に触れる機会がない	自分で調べても、取組みに関する情報(他の参加者のイメージやこれまでの参加者の体験談等)が少ない	参加しようと思っても、参加方法が分からない	富山県までの交通が不便である(移動費用が高い、アクセスが困難など)	富山県内の交通が不便である(公共交通の不便など)	宿泊費用が高い	富山県内の住生活環境が不便である(コンビニが少ないなど)	冬季の降雪・積雪が不安である	地域の人のつながり方がわからない	地域が閉鎖的だと感じる	地域が閉鎖的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安である	魅力的な取組み、イベント等がない	その他
全体(n=1,618)	45.9	19.2	33.3	48.5	21.3	23.1	7.5	38.6	15.8	6.0	10.4	5.5	1.2
北海道(n=36)	47.2	25.0	36.1	61.1	30.6	33.3	5.6	16.7	13.9	8.3	5.6	2.8	0.0
東北(n=171)	46.2	21.1	38.0	56.1	20.5	24.0	5.3	30.4	23.4	5.3	14.6	4.1	2.9
関東(n=302)	48.3	17.5	32.8	51.0	21.9	26.5	10.3	41.4	21.2	5.3	12.6	7.3	1.0
中部(n=411)	49.4	17.0	34.1	34.8	17.3	20.4	6.1	35.5	12.4	5.1	8.0	7.8	1.2
近畿(n=269)	42.4	21.2	32.0	48.3	19.7	22.7	7.8	43.5	11.5	8.2	9.3	3.0	0.7
中国・四国(n=234)	38.9	19.7	31.6	58.1	23.1	22.6	8.1	45.3	17.1	6.8	11.1	4.7	0.9
九州(n=195)	47.2	20.5	31.8	53.3	27.7	22.1	7.7	36.9	12.8	5.1	9.7	4.1	1.0

図表 180 世帯年収別 取組みに関与するにあたっての障壁 (SA×MA、n=1,618)

凡例 : 30%以上が選択

	取組みに関する情報に触れる機会がない	自分で調べても、取組みに関する情報（他の参加者のイメージやこれまでの参加者の体験談等）が少ない	参加しようと思っても、参加方法が分からない	富山県までの交通が不便である（移動費用が高い、アクセスが困難など）	富山県内の交通が不便である（公共交通の不便など）	宿泊費用が高い	富山県内の住生活環境が不便である（コンビニが少ないなど）	冬季の降雪・積雪が不安である	地域の人のつながり方がわからない	地域が閉鎖的だと感じる	地域が閉鎖的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安である	魅力的な取組み、イベント等がない	その他
全体(n=1,618)	45.9	19.2	33.3	48.5	21.3	23.1	7.5	38.6	15.8	6.0	10.4	5.5	1.2
~400万円(n=560)	45.4	17.9	35.7	48.4	19.3	24.1	7.1	39.5	17.1	5.4	10.7	6.1	1.6
401万円~600万円(n=401)	44.9	20.0	28.4	48.1	19.0	21.4	7.0	40.6	16.2	5.2	10.0	5.5	1.7
601万円~800万円(n=278)	42.1	18.7	34.2	47.5	23.7	24.8	6.5	33.5	18.0	5.8	11.9	6.8	0.4
801万円~1000万円(n=156)	50.0	20.5	39.7	50.0	25.6	23.1	11.5	37.8	9.0	6.4	7.7	3.8	0.6
1001万円以上(n=223)	50.7	21.1	30.5	49.8	24.2	21.5	8.1	39.5	13.9	9.0	10.3	3.6	0.4

図表 181 関心がある取組み別 取組みに関与するにあたっての障壁 (MA×MA、n=1,618)

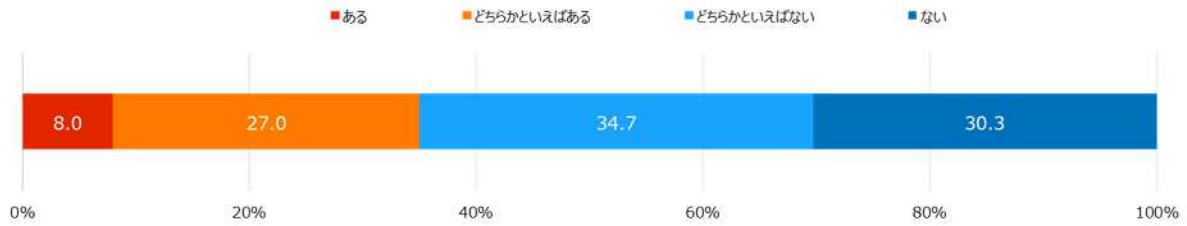
凡例 : 30%以上が選択

	取組みに関する情報に触れる機会がない	自分で調べても、取組みに関する情報（他の参加者のイメージやこれまでの参加者の体験談等）が少ない	参加しようと思っても、参加方法が分からない	富山県までの交通が不便である（移動費用が高い、アクセスが困難など）	富山県内の交通が不便である（公共交通の不便など）	宿泊費用が高い	富山県内の住生活環境が不便である（コンビニが少ないなど）	冬季の降雪・積雪が不安である	地域の人のつながり方がわからない	地域が閉鎖的だと感じる	地域が閉鎖的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安である	魅力的な取組み、イベント等がない	その他
全体(n=1,618)	45.9	19.2	33.3	48.5	21.3	23.1	7.5	38.6	15.8	6.0	10.4	5.5	1.2
イベント等の運営(n=309)	59.5	29.4	42.7	46.0	24.9	27.2	10.0	39.8	20.7	9.4	13.9	8.7	0.3
地域課題にフォーカスしたイベント・体験ツアーへの参加(n=608)	50.8	26.3	41.9	58.1	25.3	26.0	8.4	44.9	19.4	6.6	15.0	5.9	0.3
伝統文化の保全活動（祭りの担い手・運営等を含む）(n=526)	51.5	24.3	39.4	55.9	26.2	28.3	9.9	43.9	21.5	6.3	13.9	5.3	0.8
自然・環境保護活動(n=725)	50.5	23.3	37.7	55.7	24.8	26.1	7.9	44.0	18.2	5.4	12.1	4.3	1.2
フィールド研究(n=183)	43.7	24.0	46.4	56.8	33.3	29.5	11.5	45.4	21.3	9.3	17.5	6.6	2.2
農業の手伝いや農山漁村の活性化(n=443)	51.7	27.3	42.7	57.1	28.9	29.6	12.4	48.1	21.9	8.8	15.3	5.4	1.4
その他産業支援(n=327)	48.9	21.4	42.2	52.0	29.1	30.3	12.8	50.2	24.2	7.6	18.0	7.6	2.4
起業(n=76)	42.1	28.9	43.4	36.8	19.7	38.2	15.8	39.5	26.3	17.1	15.8	13.2	1.3
産業支援・起業以外の仕事(n=145)	45.5	26.2	37.9	53.8	26.9	30.3	17.9	43.4	24.1	11.7	21.4	9.7	1.4
その他(n=36)	25.0	0.0	8.3	47.2	11.1	13.9	8.3	38.9	5.6	8.3	5.6	2.8	13.9

(5) 二地域居住自体への興味・関心

富山県での二地域居住に限らず、二地域居住自体への興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人は、回答者の4割弱である。

図表 182 二地域居住自体への興味・関心 (SA、n=4,008)

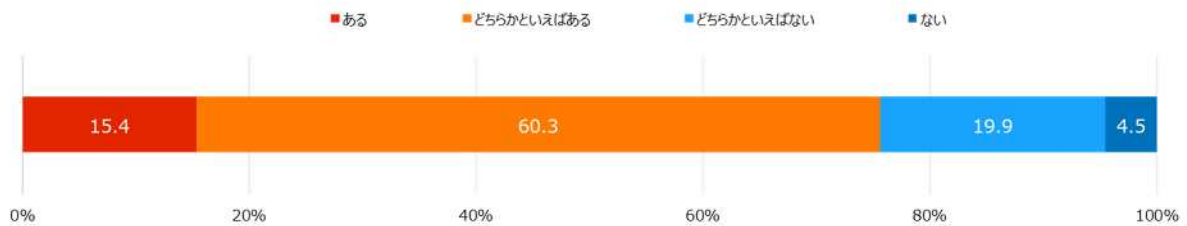


(6) 二地域居住先としての富山県への興味・関心

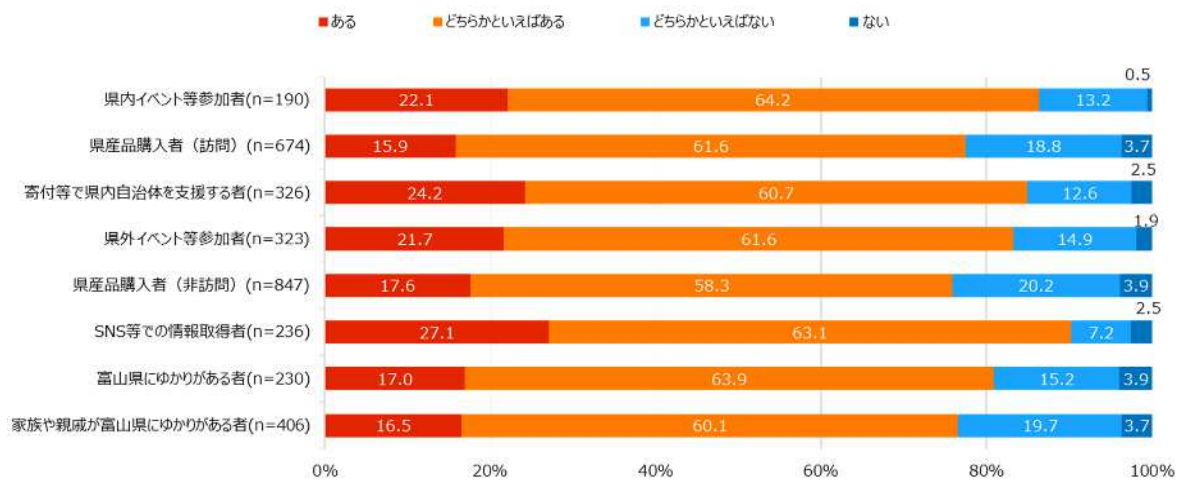
二地域居住自体への興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人うち、二地域居住先の候補として富山県に興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人は7割にのぼる。二地域居住先の候補として富山県に興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」人を、その他関係人口の分類・参考分類ごとに見ると SNS 等での情報取得者、県内イベント等参加者、寄付等で県内自治体を支援する者の順に多く、女性より男性、高齢者より若年層、遠方地域居住者より近隣地域居住者が多い傾向にある。

また、二地域居住の目的・期待すること別に見ると、二地域居住先の候補として富山県に興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答するのは、「地域貢献・産業支援」や「子育て環境」、「地域コミュニティへの参加・交流」を期待している人に多い傾向がある。

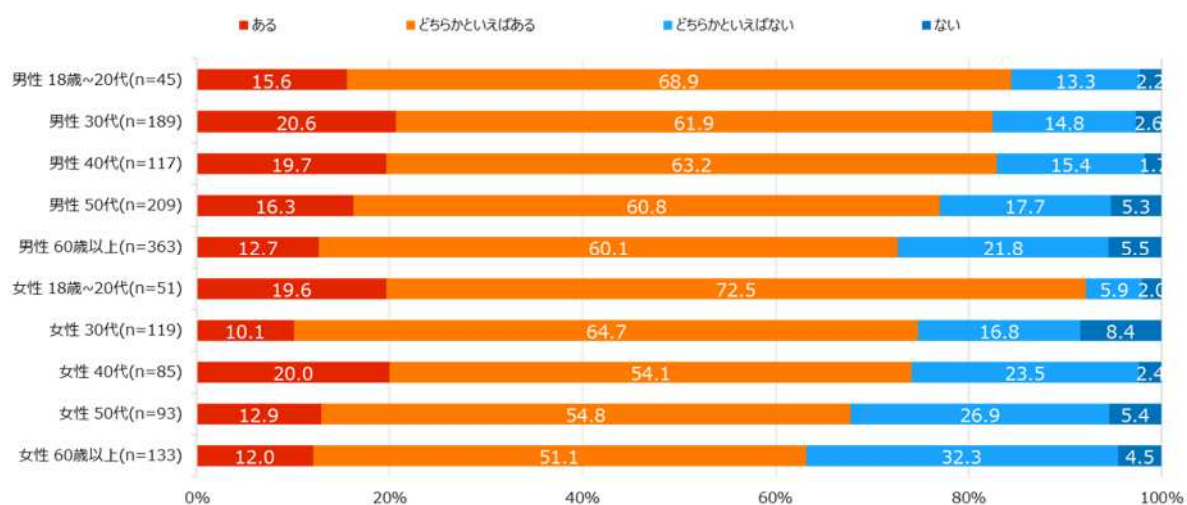
図表 183 二地域居住先としての富山県への興味・関心 (SA、n=1,404)



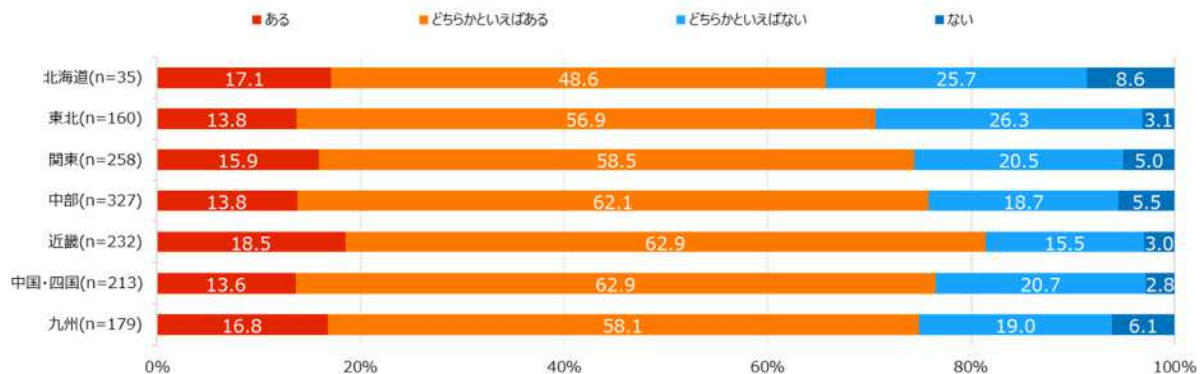
図表 184 その他関係人口の分類・参考分類別 二地域居住先としての富山県への興味・関心 (MA×SA、n=1,404)



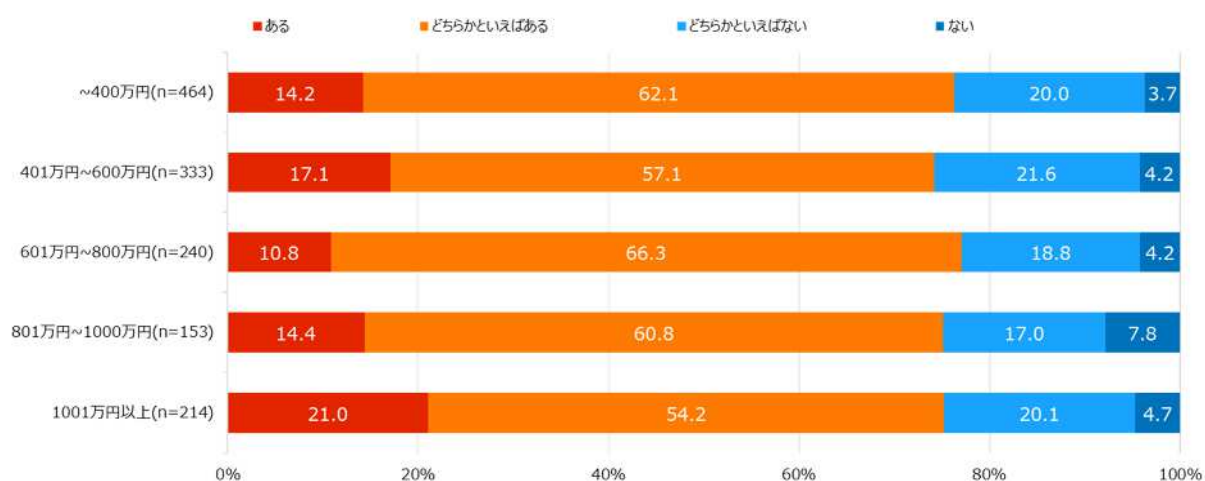
図表 185 性年代別 二地域居住先としての富山県への興味・関心 (SA×SA、n=1,404)



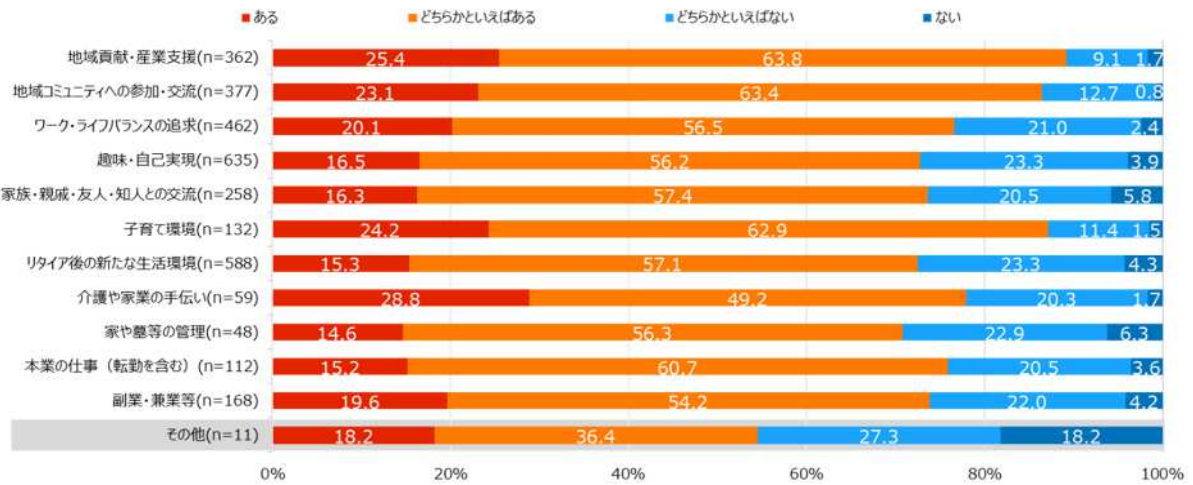
図表 186 居住地別 二地域居住先としての富山県への興味・関心 (SA×SA、n=1,404)



図表 187 世帯年収別 二地域居住先としての富山県への興味・関心 (SA×SA、n=1,404)



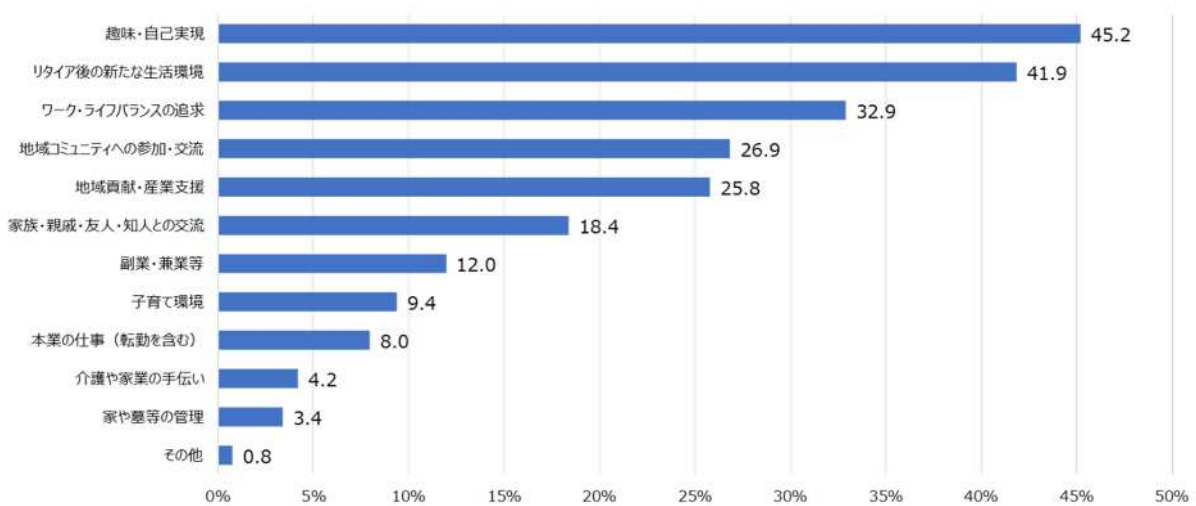
図表 188 二地域居住の目的・期待すること別 二地域居住先としての富山県への興味・関心
(MA×SA、n=1,404)



(7) 二地域居住の目的・期待すること

富山県での二地域居住に限らず、二地域居住自体に興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人の二地域居住の目的・期待することは、「趣味・自己実現」、「リタイア後の新たな生活環境」、「ワーク・ライフバランスの追求」の順に多い。

図表 189 二地域居住の目的・期待すること (MA、n=1,404)



図表 190 性年代別 二地域居住の目的・期待すること (SA×MA、n=1,404)

凡例 : 30%以上が選択

	地域貢献・産業支援	地域コミュニティへの参加・交流	ワーク・ライフバランスの追求	趣味・自己実現	家族・親戚・友人・知人との交流	子育て環境	リタイア後の新たな生活環境	介護や家業の手伝い	家や墓等の管理	本業の仕事(転勤を含む)	副業・兼業等	その他
全体(n=1,404)	25.8	26.9	32.9	45.2	18.4	9.4	41.9	4.2	3.4	8.0	12.0	0.8
男性 18歳~20代(n=45)	46.7	20.0	35.6	35.6	22.2	24.4	37.8	2.2	2.2	8.9	13.3	2.2
男性 30代(n=189)	29.6	27.5	40.2	45.0	20.1	19.6	32.8	4.2	4.2	12.7	12.7	0.5
男性 40代(n=117)	28.2	24.8	43.6	43.6	14.5	10.3	43.6	5.1	0.9	9.4	15.4	0.0
男性 50代(n=209)	25.4	34.4	38.8	50.2	15.3	5.3	54.1	3.3	2.9	8.6	14.4	0.5
男性 60歳以上(n=363)	24.2	25.1	17.9	44.6	16.5	0.6	48.5	1.7	2.2	5.2	6.9	1.4
女性 18歳~20代(n=51)	23.5	27.5	35.3	39.2	23.5	33.3	15.7	13.7	11.8	5.9	2.0	0.0
女性 30代(n=119)	27.7	29.4	48.7	47.1	23.5	21.8	23.5	6.7	3.4	10.1	17.6	0.0
女性 40代(n=85)	21.2	23.5	48.2	49.4	17.6	14.1	34.1	2.4	8.2	5.9	15.3	0.0
女性 50代(n=93)	22.6	20.4	34.4	51.6	16.1	2.2	53.8	7.5	2.2	10.8	19.4	2.2
女性 60歳以上(n=133)	20.3	27.1	18.0	37.6	23.3	1.5	40.6	5.3	3.8	4.5	9.0	0.8

図表 191 居住地別 二地域居住の目的・期待すること (SA×MA、n=1,404)

凡例 : 30%以上が選択

	地域貢献・産業支援	地域コミュニティへの参加・交流	ワーク・ライフバランスの追求	趣味・自己実現	家族・親戚・友人・知人との交流	子育て環境	リタイア後の新たな生活環境	介護や家業の手伝い	家や墓等の管理	本業の仕事(転勤を含む)	副業・兼業等	その他
全体(n=1,404)	25.8	26.9	32.9	45.2	18.4	9.4	41.9	4.2	3.4	8.0	12.0	0.8
北海道(n=35)	25.7	22.9	28.6	42.9	25.7	2.9	54.3	8.6	2.9	5.7	14.3	2.9
東北(n=160)	31.3	27.5	31.9	45.0	21.3	10.6	41.9	3.8	4.4	6.3	9.4	0.6
関東(n=258)	28.7	26.7	34.5	46.5	17.4	8.1	43.4	4.7	5.0	6.6	12.8	0.8
中部(n=327)	20.2	22.6	31.2	42.2	20.8	9.2	36.1	3.4	2.4	9.2	12.2	1.2
近畿(n=232)	25.0	26.7	36.2	44.4	13.4	7.3	45.3	4.3	3.0	6.5	12.9	0.4
中国・四国(n=213)	22.5	28.6	33.8	44.1	18.8	9.9	39.4	4.7	3.3	8.9	12.7	0.0
九州(n=179)	31.8	33.0	30.2	52.0	17.3	14.0	46.4	3.9	2.8	10.6	10.1	1.1

図表 192 世帯年収別 二地域居住の目的・期待すること (SA×MA、n=1,404)

凡例 : 30%以上が選択

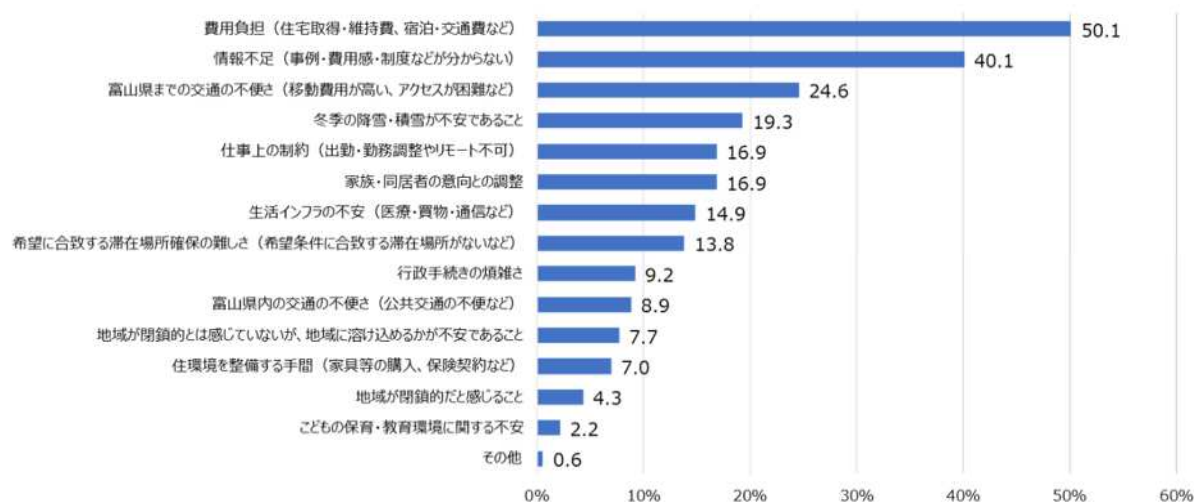
	地域貢献・産業支援	地域コミュニティへの参加・交流	ワーク・ライフバランスの追求	趣味・自己実現	家族・親戚・友人・知人との交流	子育て環境	リタイア後の新たな生活環境	介護や家業の手伝い	家や墓等の管理	本業の仕事(転勤を含む)	副業・兼業等	その他
全体(n=1,404)	25.8	26.9	32.9	45.2	18.4	9.4	41.9	4.2	3.4	8.0	12.0	0.8
~400万円(n=464)	26.1	27.2	29.3	48.3	17.5	6.9	39.9	4.5	2.8	7.5	12.7	1.1
401万円~600万円(n=333)	28.5	26.1	30.0	43.2	20.1	9.6	44.1	3.9	3.0	6.0	12.6	0.6
601万円~800万円(n=240)	20.8	22.1	30.8	42.1	17.1	14.2	43.3	3.3	5.0	7.9	12.1	1.3
801万円~1000万円(n=153)	28.1	28.8	42.5	49.0	20.3	11.1	38.6	5.9	3.3	13.7	12.4	0.7
1001万円以上(n=214)	24.8	31.3	40.7	42.5	17.8	7.9	43.5	3.7	3.7	7.9	8.9	0.0

(8) 富山県で二地域居住をするにあたっての障壁

二地域居住先の候補として富山県に興味・関心が「ある」または「どちらかといえばある」と回答した人が、富山県で二地域居住をするにあたって障壁となることは、「費用負担（住宅取得・維持費、宿泊・交通費な

ど)」、「情報不足(事例・費用感・制度などが分からない)」、「富山県までの交通の不便さ(移動費用が高い、アクセスが困難など)」の順に多い。性年代による傾向の違いを見ると、男性と若年女性は「仕事上の制約(出勤・勤務調整やリモート不可)」を選択する割合が比較的高い。

図表 193 富山県で二地域居住をするにあたっての障壁 (MA、n=1,062)



図表 194 性年代別 富山県で二地域居住をするにあたっての障壁 (SA×MA、n=1,062)

凡例 : 20%以上が選択

	情報不足(事例・費用感・制度などが分からない)	費用負担(住宅取得・維持費、宿泊・交通費など)	希望に合致する滞在場所確保の難しさ(希望条件に合致する滞在場所がないなど)	仕事上の制約(出勤・勤務調整やリモート不可)	家族・同居者の意向との調整	行政手続きの煩雑さ	富山県までの交通の不便さ(移動費用が高い、アクセスが困難など)	富山県内の交通の不便さ(公共交通の不便など)	生活インフラの不安(医療・買物・通信など)	住環境を整備する手間(家具等の購入、保険契約など)	子どもの保育・教育環境に関する不安	地域が閉鎖的だと感じること	地域が閉鎖的とは思っていないが、地域に溶け込めるかが不安であること	冬季の降雪・積雪が不安であること	その他
全体 (n=1,062)	40.1	50.1	13.8	16.9	16.9	9.2	24.6	8.9	14.9	7.0	2.2	4.3	7.7	19.3	0.6
男性 18歳~20代 (n=38)	31.6	42.1	15.8	26.3	21.1	15.8	31.6	15.8	7.9	5.3	2.6	0.0	2.6	7.9	0.0
男性 30代 (n=156)	32.7	44.9	9.6	25.6	16.7	11.5	22.4	10.3	14.1	6.4	3.2	6.4	3.2	14.7	1.3
男性 40代 (n=97)	47.4	49.5	9.3	27.8	17.5	7.2	24.7	3.1	16.5	4.1	4.1	6.2	7.2	19.6	0.0
男性 50代 (n=161)	39.8	52.8	11.8	21.7	14.3	9.3	28.0	5.6	15.5	5.0	1.9	3.7	8.1	18.6	0.6
男性 60歳以上 (n=264)	45.1	51.5	19.3	6.8	19.3	8.3	23.5	8.0	14.0	9.1	0.0	1.9	9.1	22.0	0.4
女性 18歳~20代 (n=47)	40.4	48.9	8.5	25.5	23.4	10.6	19.1	14.9	14.9	8.5	6.4	0.0	2.1	6.4	0.0
女性 30代 (n=89)	37.1	50.6	15.7	16.9	9.0	9.0	20.2	13.5	20.2	10.1	4.5	10.1	2.2	11.2	1.1
女性 40代 (n=63)	42.9	46.0	19.0	14.3	9.5	7.9	30.2	9.5	12.7	4.8	1.6	7.9	12.7	22.2	1.6
女性 50代 (n=63)	39.7	57.1	7.9	15.9	17.5	4.8	28.6	9.5	9.5	9.5	1.6	1.6	14.3	20.6	0.0
女性 60歳以上 (n=84)	35.7	52.4	14.3	3.6	21.4	10.7	22.6	9.5	19.0	4.8	1.2	4.8	14.3	38.1	0.0

図表 195 居住地別 富山県で二地域居住をするにあたっての障壁 (SA×MA、n=1,062)

凡例 : 20%以上が選択

	情報不足 (事例・費用感・制度などが分からない)	費用負担 (住宅取得・維持費・宿泊・交通費など)	希望に合致する滞在場所確保の難しさ(希望条件に合致する滞在場所がないなど)	仕事上の制約(出勤・勤務調整やリモート不可)	家族・同居者の意向との調整	行政手続きの煩雑さ	富山県までの交通の不便さ(移動費用が高いアクセスが困難など)	富山県内の交通の不便さ(公共交通の不便など)	生活インフラの不安(医療・買い物・通信など)	住環境を整備する手間(家具等の購入、保険契約など)	子どもの保育・教育環境に関する不安	地域が開拓的だと感じる	地域が開拓的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安であること	冬季の降雪・積雪が不安であること	その他
全体(n=1,062)	40.1	50.1	13.8	16.9	16.9	9.2	24.6	8.9	14.9	7.0	2.2	4.3	7.7	19.3	0.6
北海道(n=23)	34.8	56.5	17.4	13.0	26.1	8.7	34.8	13.0	13.0	8.7	4.3	4.3	8.7	4.3	0.0
東北(n=113)	41.6	48.7	9.7	19.5	20.4	8.8	31.0	6.2	13.3	7.1	2.7	5.3	8.0	19.5	0.0
関東(n=192)	39.6	43.2	13.5	17.7	18.2	6.8	21.4	9.9	20.3	7.8	2.6	8.3	6.8	21.4	1.6
中部(n=248)	40.3	53.2	10.5	16.1	13.7	9.7	13.3	8.5	11.7	6.9	0.8	2.4	5.6	21.8	0.4
近畿(n=189)	34.4	50.8	19.0	14.8	20.6	7.9	29.6	7.4	20.6	5.8	2.1	5.3	9.0	19.0	0.5
中国・四国(n=163)	40.5	51.5	14.1	16.0	15.3	10.4	26.4	9.2	11.7	8.6	4.3	1.8	8.6	16.6	0.6
九州(n=134)	47.8	51.5	15.7	19.4	12.7	12.7	33.6	11.2	10.4	5.2	0.7	3.0	9.7	17.9	0.0

図表 196 世帯年収別 富山県で二地域居住をするにあたっての障壁 (SA×MA、n=1,062)

凡例 : 20%以上が選択

	情報不足 (事例・費用感・制度などが分からない)	費用負担 (住宅取得・維持費・宿泊・交通費など)	希望に合致する滞在場所確保の難しさ(希望条件に合致する滞在場所がないなど)	仕事上の制約(出勤・勤務調整やリモート不可)	家族・同居者の意向との調整	行政手続きの煩雑さ	富山県までの交通の不便さ(移動費用が高いアクセスが困難など)	富山県内の交通の不便さ(公共交通の不便など)	生活インフラの不安(医療・買い物・通信など)	住環境を整備する手間(家具等の購入、保険契約など)	子どもの保育・教育環境に関する不安	地域が開拓的だと感じる	地域が開拓的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安であること	冬季の降雪・積雪が不安であること	その他
全体(n=1,062)	40.1	50.1	13.8	16.9	16.9	9.2	24.6	8.9	14.9	7.0	2.2	4.3	7.7	19.3	0.6
~400万円(n=354)	43.2	48.6	15.5	12.4	11.9	10.2	23.2	7.3	17.5	6.8	1.1	5.1	8.8	24.3	0.6
401万円~600万円(n=247)	40.5	49.8	15.4	16.2	16.2	10.9	25.1	10.5	13.4	6.9	1.6	4.9	6.5	16.2	0.8
601万円~800万円(n=185)	34.6	53.0	11.4	21.6	24.3	9.2	26.5	7.6	12.4	7.6	4.3	2.7	8.1	17.3	0.0
801万円~1000万円(n=115)	42.6	57.4	8.7	17.4	20.0	6.1	24.3	9.6	12.2	6.1	0.0	6.1	7.8	16.5	0.9
1001万円以上(n=161)	37.3	45.3	14.3	21.7	18.0	6.8	24.8	10.6	16.1	7.5	4.3	2.5	6.8	17.4	0.6

図表 197 二地域居住の目的別 富山県で二地域居住をするにあたっての障壁 (MA×MA、n=1,062)

凡例 : 20%以上が選択

	情報不足 (事例・費用感・制度などが分からない)	費用負担 (住宅取得・維持費・宿泊・交通費など)	希望に合致する滞在場所確保の難しさ (希望条件に合致する滞在場所がないなど)	仕事上の制約 (出勤・勤務調整やリポート不可)	家族・同居者の意向との調整	行政手続きの煩雑さ	富山県までの交通の不便さ (移動費用が高い、アクセスが困難など)	富山県内の交通の不便さ (公共交通の不便など)	生活インフラの不安 (医療・買物・通信など)	住環境を整備する手間 (家具等の購入、保険契約など)	子どもの保育・教育環境に関する不安	地域が閉鎖的だと感じる	地域が閉鎖的とは感じていないが、地域に溶け込めるかが不安であること	冬季の降雪・横断が不安であること	その他
全体(n=1,062)	40.1	50.1	13.8	16.9	16.9	9.2	24.6	8.9	14.9	7.0	2.2	4.3	7.7	19.3	0.6
地域貢献・産業支援(n=323)	52.3	53.3	15.5	18.0	14.6	10.5	26.6	9.3	16.4	7.1	2.2	4.0	6.2	16.4	0.9
地域コミュニティへの参加・交流(n=326)	46.3	55.5	16.6	19.0	16.9	10.4	27.3	8.6	16.3	7.4	1.8	4.0	8.0	18.1	0.3
ワーク・ライフバランスの追求(n=354)	41.8	52.0	18.9	22.9	17.2	11.3	24.3	9.9	19.8	6.5	3.4	4.8	5.9	15.5	0.3
趣味・自己表現(n=462)	40.3	55.2	16.5	21.0	15.6	10.0	27.7	6.5	17.5	8.0	2.2	5.2	9.3	21.0	0.6
家族・親戚・友人・知人との交流(n=190)	36.3	54.7	14.2	21.1	23.2	12.6	27.9	12.6	13.7	6.8	4.2	3.7	5.3	14.7	0.0
子育て環境(n=115)	40.0	47.8	16.5	21.7	19.1	21.7	22.6	16.5	13.0	7.0	10.4	6.1	2.6	8.7	0.0
リタイア後の新たな生活環境(n=426)	42.0	49.1	16.7	14.8	19.0	9.9	31.5	9.6	17.6	6.6	1.6	5.6	11.0	24.2	0.0
介護や家業の手伝い(n=46)	30.4	37.0	21.7	28.3	23.9	15.2	30.4	10.9	17.4	10.9	6.5	0.0	8.7	19.6	0.0
家や墓等の管理(n=34)	26.5	50.0	20.6	23.5	35.3	11.8	29.4	11.8	20.6	5.9	2.9	11.8	5.9	14.7	0.0
本業の仕事(転勤を含む)(n=85)	44.7	52.9	14.1	34.1	15.3	12.9	18.8	8.2	16.5	4.7	0.0	3.5	12.9	18.8	0.0
副業・兼業等(n=124)	41.9	55.6	16.9	25.0	10.5	11.3	30.6	8.1	15.3	6.5	1.6	8.1	11.3	23.4	0.0
その他(n=6)	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	50.0	33.3

5) 関係性が深い関係人口のペルソナ分析

関係性が深い関係人口である地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者や二地域居住者の人物像の解像度を上げることが、今後の施策検討のために必要になると想定される。関係性が深い関係人口のそれぞれについて、自由記述回答の記載内容を参考にペルソナ分析を実施した。

(1) 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者について、自由記述回答において詳細の記述がある回答を中心に、近い志向の人の回答を組み合わせて5人のペルソナを設定した。

図表 198 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者のペルソナ5種

<p>自身の災害経験から 海岸のゴミ清掃を 手伝う若者</p>	 <p>自身の被災経験から地域でのつながりの重要性を感じ、富山県でのコミュニティ活動に関わる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：男性、20代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：研究・開発・技術者 ■ 居住地：熊本 ■ 取組み内容：海岸のゴミ清掃 ■ 年間訪問回数：年2~5回 ■ 関わりの期間：2年以上 ■ 富山県で活動する理由：自身が熊本地震で被災して、周りの繋がりの大切さを感じ、少しでもゆかりのある地域の活性化に寄与したいと考えた ■ 困難なこと：交通費が高い、交通の利便性がよくない
<p>少子高齢化等に関する 地域課題解決を 考える若者</p>	 <p>少子高齢化が進む地域に貢献したい。住民との関係性ができ、今後も活動したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：女性、20代 ■ 家庭：既婚 ■ 職業：営業・販売 ■ 居住地：兵庫 ■ 取組み内容：地域イベントの支援、高齢者へのデジタルサポート、地域の魅力発信 ■ 年間訪問回数：年2~5回 ■ 関わりの期間：半年以上1年未満 ■ 富山県で活動する理由：地域の役に立ちたいと思い関わり始めた。住民とのつながりが深まるため、続けている ■ 困難なこと：人間関係を築くこと、コミュニケーション
<p>若者の移住施策を 身をもって検討しよう とする教職員</p>	 <p>若者の移住施策の検討に向け、自身でも移住することを検討中。情報がなにもないことに苦戦中。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：女性、30代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：教職員 ■ 居住地：千葉 ■ 取組み内容：若者が移住するには何が有効か、自分が移住して体験してみようと計画中 ■ 年間訪問回数：年2~5回 ■ 関わりの期間：半年未満 ■ 富山県で活動する理由：現在は、移住を検討して物件を探したりするため通っている。富山の人は温かく、地域のよさを感じている ■ 困難なこと：ゼロからのスタートで何もわからない、情報が無い
<p>災害派遣ボランティア として活動する者</p>	 <p>能登半島地震を契機に、災害派遣ボランティアとしての活動を決意。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：男性、30代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：専門職(医師・看護師・弁護士など) ■ 居住地：山形 ■ 取組み内容：災害派遣ボランティア ■ 年間訪問回数：年6~10回 ■ 関わりの期間：1年以上 ■ 富山県で活動する理由：ニュースなどで取り上げられていて、関心が高かったため ■ 困難なこと：交通費をはじめ、費用が多くなる。また、度胸が必要で、実際に行動を開始するまでに時間がかかった
<p>特産品の プロモーションに尽力 する米愛好家</p>	 <p>富山県の米や日本酒が好きで、その広報活動に尽力したい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：男性、50代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：自営業 ■ 居住地：山形 ■ 取組み内容：富山県産のお米や、そのお米で作られる日本酒の販売の宣伝広告に参加 ■ 年間訪問回数：年1回 ■ 関わりの期間：10年以上 ■ 富山県で活動する理由：以前富山県に住んでいた。富山県産のお米や日本酒が特に素晴らしい、SNSでもう少し告知すればもっと注目されたいと考えた ■ 困難なこと：賛同してくれる人集めに苦労した

(2) 二地域居住者

二地域居住者について、自由記述回答において詳細の記述がある回答を中心に、近い志向の人の回答を組み合わせて5人のペルソナを設定した。

図表 199 二地域居住者のペルソナ5種

<p>自然と食に惹かれた 都会のサラリーマン</p>	 <p>都会と違って静かで、自然や食が豊かな、人が温かい場所で休日を過ごしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：男性、30代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：営業・販売 ■ 居住地：東京 ■ 目的：地域コミュニティへの参加、趣味・自己実現 ■ 訪問スタイル：2~3日×5回 ■ 関わりの期間：2020年～ ■ 富山県を選んだ理由：自然や食文化が豊か。人柄も温かく、交流を深めるほど魅力を感じる ■ 富山県での活動：リモートワーク、地域イベントへの参加 ■ 困難なこと：物件探しや行政手続き、生活ルールの違い(ゴミ出し等)
<p>産業支援に関わる 地域活動の担い手</p>	 <p>故郷の産業に関わりたい。リタイア後の故郷での生活を見据えたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：男性、40代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：公務員 ■ 居住地：千葉 ■ 目的：趣味・自己実現、リタイア後の新たな生活 ■ 訪問スタイル：2週間×5回 ■ 関わりの期間：2010年以前～ ■ 富山県を選んだ理由：出身地である富山の自然に惹かれた。農業振興に興味がある ■ 富山県での活動：自然環境や農村文化を後世に残すため、地域に適した農作物の提案やコミュニティ支援を行う ■ 困難なこと：拠点の物件探し
<p>富山県の 観光プロモーションを 副業で行う者</p>	 <p>療養をきっかけに富山の自然の魅力に気づき、観光プロモーションに貢献。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：女性、40代 ■ 家庭：既婚子どもあり ■ 職業：総務・人事 ■ 居住地：大阪 ■ 目的：地域貢献、ワーク・ライフ・バランスの追求、副業 ■ 訪問スタイル：4~5日×4回 ■ 関わりの期間：2010年以前～ ■ 富山県を選んだ理由：きっかけはぜんそくの療養。富山は自然が豊かで、景観が良く、空気がきれいである ■ 富山県での活動：観光名所の取材をして魅力を発信する ■ 困難なこと：冬の交通混乱、居住地の維持
<p>富山で商売をする 飲食店経営者</p>	 <p>知人もいて好きな地域である富山で、憧れていた仕事を始める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：男性、40代 ■ 家庭：未婚 ■ 職業：自営業 ■ 居住地：山梨 ■ 目的：地域貢献や仕事 ■ 訪問スタイル：1か月×3回 ■ 関わりの期間：2015年～ ■ 富山県を選んだ理由：魅力的な人に出会ったり、富山でしか味わえない料理があった ■ 富山県での活動：空き家での飲食店の出店 ■ 困難なこと：仕事内容や生活するための収入の確保
<p>友人との 交流を楽しむシニア</p>	 <p>老後の時間を、古い友人と一緒に自然の中でゆっくり過ごしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 性・年代：女性、70代 ■ 家庭：既婚 ■ 職業：専業主婦 ■ 居住地：神奈川 ■ 目的：友人との交流、趣味・自己実現、リタイア後の新たな生活 ■ 訪問スタイル：1週間×3回 ■ 関わりの期間：2022年～ ■ 富山県を選んだ理由：自然の中での生活を求めた。学生時代の友人が住んでいて、富山への訪問経験が多かった ■ 富山県での活動：雲気楼の観察 ■ 困難なこと：自家用車の運転や列車の乗り継ぎ

第4章 まとめ

1. 関係深化の促進要因と阻害要因

自由記述回答の結果から、地域の課題解決・活性化の取組に関わる者と二地域居住者の関係を深化させるにあたっての促進要因と阻害要因を整理した。

1) 地域の課題解決・活性化の取組に関わる者

地域の課題解決・活性化の取組に関わる者の関係深化に向けては、関与を始める段階と、深く継続的な関与へ移行する段階がある。そのそれぞれについて、自由記述回答の結果をもとに促進要因と阻害要因を整理した。分析の結果については、図表 200 のとおりである。

なお、関与し始める際の促進要因は、地域の課題解決・活性化の取組に「関わることにした理由や継続的に関わっている理由」についての回答結果を、深く継続的な関与に移行するにあたっての促進要因は、「関与してみてよかったと感じる点」の回答結果をまとめた。また、関与を始める際の阻害要因は、地域の課題解決・活性化の取組を「はじめるまでのハードル・困りごと」の回答結果を、深く継続的な関与に移行するにあたっての促進要因は、「実際に参加してみて大変だったこと」の回答結果をまとめた。

図表 200 地域の課題解決・活性化の取組に関わる者 関係深化の促進要因と阻害要因



2) 二地域居住者

二地域居住者の関係深化に向けては、二地域居住を開始する段階と、継続的な二地域居住へ移行する段階がある。そのそれぞれについて、自由記述回答の結果をもとに促進要因と阻害要因を整理した。分析の結果については、図表 201 のとおりである。

なお、二地域居住を開始する際の促進要因は、「富山県を二地域居住先にすることを決めた具体的な経緯や理由」についての回答結果を、継続的な二地域居住に移行するにあたっての促進要因は「二地域居住をしてみてよかったと感じていること」の回答結果をまとめた。また、二地域居住を開始する際の阻害要因は、「二地域居住を開始するまでのハードル・困りごと」の回答結果を、継続的な二地域居住に移行するにあたっての阻害要因は「実際に二地域居住をしてみて大変だったこと」の回答結果をまとめた。

図表 201 二地域居住者 関係深化の促進要因と阻害要因



2. 調査から得られた示唆

1) 家族・親族・友人・知人が富山に住んでいる人へのアプローチ

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者や二地域居住者には、自身が富山県にゆかりがある、あるいは家族・親族・友人・知人が富山県にゆかりがあるというケースが多い。また、家族・親族・友人・知人が地域の課題解決・活性化の取組みに関わっている、あるいは同者の紹介がきっかけで関わりを開始するというケースが多くある。

図表 202 家族・親族・友人・知人が富山に住んでいる人へのアプローチが有効であると示す調査結果

<p>関係性が深い関係人口 の自由記述回答例</p>	<p>(地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 関わることにした理由や継続的に関わる理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県に親族が住んでいるから ・ 知人が活動しているから <p>(二地域居住者 富山県を二地域居住先にするを決めた経緯や理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達が富山に住んでおり、観光した際に惹かれたため ・ 親戚や友人から話を聞いて魅力を感じた
<p>関係性が深い関係人口 のアンケート回答結果</p>	<p>地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者と二地域居住者のいずれも、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関わっている人の地縁・血縁の有無と関わり主体性を見ると「地縁・血縁がある／主体的・どちらかといえば主体的」の層が最も多い。 ・ 関わるきっかけについて、「友人・知人が住んでいる」、「家族・親戚・友人・知人から取り組みを紹介された」、「家族・親戚が、過去または現在に富山県に居住あるいは通学・通勤している」が上位 4~6 位を占めており、それぞれ全体の 13%~23%程度の回答者が選択している。

上記を踏まえると、信頼関係がある人からの誘いを受けた人は、深い関係人口になりやすいことが想定される。そのため、富山県民を介して、その家族・親族・友人・知人に関係人口になってもらえるよう、情報を届けることが考えられる。

ただし、どのような接点、ルートで富山県民に情報を渡し、どのように関係人口を募るべきかを検討するためには、既存の関係人口の家族・親族・友人・知人にあたる富山県民が、どのように地域活動を知ったのか、富山県民である家族・親族・友人・知人から情報を得た関係人口は何に惹かれたのか等を追加で調査することが望ましい。

2) 地域活動への参加から二地域居住につながる支援

富山県での二地域居住を決めた経緯についての自由記述回答では、地域活動への参加やそれらを通じた地域との交流深化がきっかけとして挙げられた。地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の自由記述回答からも、活動を通して地域の人との交流を深めることが、深く継続的な関与につながっていることが伺える。地域活動を入り口として関係性を深め、二地域居住につながることを想定される。

図表 203 地域活動への参加が二地域居住につながることを示す調査結果

関係性が深い関係人口の自由記述回答例	<p>(地域の課題解決・活性化の取組に関わる者 関与してみてよかったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域との繋がりを感ぜられる ・ 地域の祭りに参加して住民の方々と仲良くなれた <p>(二地域居住者 富山県を二地域居住先にするを決めた経緯や理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活性化プロジェクトに参加したから ・ 地域住民との交流を経て興味がわいたから
関係性が深い関係人口のアンケート回答結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二地域居住先の候補に挙がったきっかけとして、「イベントや地域活動への参加経験があった」を選択した回答者は 23.0%であった。 ・ 二地域居住の目的は、「地域貢献・産業支援のため」、「地域コミュニティへの参加・交流のため」が上位 2 つとなっている。

上記を踏まえると、地域の課題解決・活性化の取組に関わる者に対して、二地域居住の情報提供や検討支援を行うことが考えられる。検討支援の内容としては、二地域居住支援相談会を実施する、地域紹介や既存の二地域居住者の事例紹介、二地域居住開始にあたって必要な情報（地域のインフラやコミュニティの紹介等）の提供をする等が想定される。

今後の課題としては、既に地域の課題解決・活性化の取組に関わっている人に対し、二地域居住に関心を持っているか、どのようなサポートがあれば二地域居住を始めやすいのかについて聴き取り、具体的な支援について検討することが考えられる。

3) 費用負担の軽減

地域の課題解決・活性化の取組に関わる者や二地域居住者を増やすにあたって、現状の阻害要因を見ると、費用負担が大きいことにより取組への参加を躊躇していたり、参加の頻度に制約が出ていたりすることが伺える。富山県訪問の際の費用負担は、1 日分の宿泊費よりも 1 訪問分の交通費の方が高い一方、二地域居住をする人の年間負担総額を算出すると、交通費よりも宿泊費の方が、費用負担が大きくなる傾向にある。

図表 204 費用負担の軽減の必要性を示す調査結果

関係性が深い関係人口の自由記述回答例	<p>(地域の課題解決・活性化の取組に関わる者、二地域居住者 関与前後で大変だったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 費用対効果を得られるかで足踏みした ・ 交通費や宿泊費が結構かかる ・ 移動にかかる費用がかなり高いので、頻繁にはできない
関係性が深い関係人口のアンケート回答結果	<p>(地域の課題解決・活性化の取組みや二地域居住をする際の費用)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1 人あたり 1 回分交通費のボリュームゾーン：1～2 万円 ・ 1 人あたり 1 日分宿泊費のボリュームゾーン：1～2 万円 <p>(二地域居住者の 1 人あたりの年間総額)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通費のボリュームゾーン：5～10 万円

	・ 宿泊費のボリュームゾーン：10～20万円、100万円以上
--	--------------------------------

上記を踏まえると、費用補助の要件を検討し、長期的に、高い頻度で関わってくれる人に十分な補助を提供できるようにすることが施策として考えられる。なお、関係人口の増加を目指す、次第に補助の金額が増えるため、継続的に金銭的な支援ができる仕組みを構築することが望ましい。

ただし、今回の調査からはどの程度の補助が行動変容につながるかまでは検討できていないため、施策検討にあたっては、関係人口へのヒアリング等を実施したうえで具体的な補助額を決定する必要がある。

4) 冬季の生活や活動の支援

実際に地域の課題解決・活性化の取組に参加してみて、あるいは二地域居住をしてみて困難に感じたこととして、冬の気候が厳しいことや、降雪・積雪によって交通手段が制限されることが多く挙げられた。雪かきや雪道運転等に慣れていない人にとって、冬場の気候は大きなハードルになると考えられる。また、地域の課題解決・活性化の取組みや二地域居住に興味・関心を持つ浅い関係人口（以降、「潜在層」）も、降雪・積雪を不安に感じている人が一定程度いる。

図表 205 冬季の生活や活動の支援の必要性を示す調査結果

関係性が深い関係人口 の自由記述回答例	<p>(地域の課題解決・活性化の取組に関わる者、二地域居住者 関与前後で大変だったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雪のシーズンは行動が制限されること ・ 冬季は積雪で道路状況が悪化し、移動に時間を要した ・ 冬は車の運転が難しい ・ 雪かきが大変 ・ 冬場の交通機関が麻痺する事が多々あること ・ 冬季は移動にリスクを伴う
潜在層のアンケート回答 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の課題解決・活性化の取組に関与する障壁の3位、二地域居住の障壁の4位に「冬季の降雪・積雪が不安である」がランクインし、それぞれ興味・関心を持つ人の4割、2割程度が選択している。

このような状況への対応として、冬場の生活や雪かき等の生活ノウハウに関する情報の発信を行うことや、冬場に来訪する関係人口向けに移動手段の支援を提供することが考えられる。移動手段の支援にあたっては、地域のコミュニティバス等の既存施策との接続が想定される。

ただし、今回の調査からは、関わる前にどのような情報があるか、具体的にどのような用途（ルート）の移動手段が必要なのか等は明らかになっていない。施策は、関係人口側のニーズを調査のうえ、住民サービスとの差別化に留意しながら検討する必要がある。

5) 地域活動や地域についての情報発信

地域の課題解決・活性化の取組に関わる者は、地域そのものの様子や実施されている取組みが分からない、

参加の方法や取組みに参加するにあたって必要な知識（産業の知識や富山県の特性等）についての情報がない状態であることが考えられる。

図表 206 地域活動や地域についての情報発信の必要性を示す調査結果

関係性が深い関係人口 の自由記述回答例	<p>（地域の課題解決・活性化の取組に関わる者 はじめるまでのハードル・困りごと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土地勘がない ・ どうやって始めたら良いのかわからなかった ・ 参加方法が分かりにくかった <p>（地域の課題解決・活性化の取組に関わる者 実際に参加してみて大変だったこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 0 から 1 が大変なように何もかも手探り ・ どこまで参加したらいいか迷った
潜在層のアンケート回答 結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の課題解決・活性化の取組に関与する障壁の 2 位に「取組みに関する情報に触れる機会がない」がランクインし、興味・関心を持つ層の半数近くが選択している。

このような状況に対し、関係を後押しするための情報を提供するための接点・ルートを検討する必要がある。そのうえで、地域そのものの情報や実施されている取組みの情報、具体的な参加方法、既存の関係人口の取組み参加事例等を一元的に発信することが考えられる。その際、関係深化の促進要因となる事項（地域の課題解決・活性化の取組に関与することがリフレッシュにつながる、自分の成長や学びにつながる等）が伝わるよう留意することが望ましい。

ただし、今回の調査では、具体的にどのような情報が求められているのかまでは聴取できていないため、施策の検討にあたっては、関係人口にヒアリングしたうえで発信すべき情報を精査する必要がある。既存の関係人口と潜在層の双方にヒアリングを行い、どのようなコンテンツが望ましいかを検討することが考えられる。

6) 関係人口が地域になじむための支援

地域の課題解決・活性化の取組みに実際に参加してみて困難に感じたこととして、地域における人間関係になじめないことや、コミュニケーションの難しさが多く挙げられた。既に出来上がっているコミュニティに地域外から参加し、疎外感を感じてしまうと、関わりを辞めてしまうことが懸念される。

図表 207 関係人口が地域になじむための支援の必要性を示す調査結果

関係性が深い関係人口 の自由記述回答例	<p>（地域の課題解決・活性化の取組に関わる者 実際に参加してみて大変だったこと）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の人に受け入れられなかった ・ 慣れるまで見知らぬ人たちと一緒に盛り上げていけなかった ・ 役に立っているのか不安だった ・ 異なる県民性に対して私自身が、勝手に壁を築いていた
------------------------	---

上記を踏まえ、関係人口が地域住民との交流を深め、関係をより深化させていくためには、関係人口と住民との交流の機会の創出や、今後の関わりの方向性の整理ができるようなサポートの実施、先輩関係人口の紹

介などによる関係人口同士の横のつながりをつくる支援の実施等が想定される。

ただし、今回の調査では、関係人口がどのような場面で人間関係やコミュニケーションに困難を感じたのか、どのような場があると地域になじむ助けになるのかの具体的な情報は把握できていないため、施策検討にあたっては、関係人口へのヒアリングを通じてこのような情報を把握することが望ましい。

7) 地域における人脈の形成支援

地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者は、地域に人脈がないことにより、地域の担い手とつながることが難しい、協力者を得られない、イベント等を実施した際に参加者を募れない等の状況にあることが想定される。

図表 208 地域における人脈の形成支援の必要性を示す調査結果

<p>関係性が深い関係人口 の自由記述回答例</p>	<p>(地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 はじめるまでのハードル・困りごと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 集客困難と地域の協力体制がないこと ・ 地域での人脈がなかった ・ 賛同してくれる人集め ・ 若い世代の参加者不足 <p>(地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者 実際に参加してみて大変だったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人がなかなか集まらない ・ 人手不足
--------------------------------	--

このような状況に対して、地域の既存の担い手や取組みと、関係人口とのマッチングを行うことが考えられる。また、長期的には地域の関係団体のニーズやリソースの把握を行い、地域内でエコシステムを構築することも想定される。

ただし、今回の調査では、関係人口側がどのような協力者を求めているのか、どのような状況で困難を感じたのか等の具体的な内容は明らかになっていない。今後、より詳細に関係人口が必要とする協力者や地域のリソース等を把握したうえで、施策を検討する必要がある。

8) 住まい探しの支援

二地域居住の開始にあたってのハードルとして、居住地の確保・維持への懸念が多く挙げられた。具体的には、住宅取得・維持にあたっての費用負担が大きいことや、土地勘があまりない地域で住む場所を探すことが難しいこと、家を探し、家具をそろえ、ライフラインを手配することの手間が大きいこと等が障壁となっていると想定される。

図表 209 住まい探しの支援の必要性を示す調査結果

<p>関係性が深い関係人口 の自由記述回答例</p>	<p>(二地域居住者 二地域居住を開始する前に大変だったこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 居住地を探すことが難しい ・ 家電を揃えるのが大変 ・ 住まい探し 行政手続きや生活インフラの準備(ネット、公共料金、住民関連サービス)
--------------------------------	--

	・ ショートステイの場所探し
潜在層のアンケート回答結果	・ 富山県で二地域居住をするにあたって障壁となることの1位に、「費用負担（住宅取得・維持費、宿泊・交通費など）」がランクインし、富山県での二地域居住に興味・関心を持つ人の半数程度が選択している。

このような状況に対し、二地域居住支援相談会を実施して、二地域居住希望者に地域紹介や既存の二地域居住者の事例紹介、二地域居住開始にあたって必要な情報（地域のインフラやコミュニティの紹介等）の提供をすることが考えられる。また、居住地を探すにあたって、家探しの下見の際の宿泊費の補助等、お試し滞在支援を実施することが想定される（移住施策「とやまの魅力体験助成制度」の二地域居住者への拡大等）。

ただし、今回の調査では、家を購入して二地域居住をしたいと考えている人がどの程度いるかまでは把握できていない。

9) 地域コミュニティへの参加支援と生活ノウハウの共有

二地域居住を開始した後に、地域の生活環境への適応やコミュニティへの参加・人間関係の構築にハードルを感じている人が多い。一定期間滞在しているというだけでは、定住者のコミュニティに溶け込みづらく、地域の人との関わりが生まれづらいことが想定される。

図表 210 地域コミュニティへの参加支援と生活ノウハウの共有の必要性を示す調査結果

関係性が深い関係人口の自由記述回答例	<p>（二地域居住者 実際に二地域居住をしてみて大変だったこと）</p> <p>生活環境への適応については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 買い物がしにくい ・ 車が無いと不便 ・ 地域ごとの生活ルールの違い(地域の行事、習慣、ゴミ出しルールなど) ・ 野生動物に気を配りながらの生活 <p>コミュニティへの参加・人間関係については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の輪に溶け込むこと ・ 友人の作り方 ・ コミュニケーション
--------------------	--

このような状況に対し、二地域居住支援相談会を実施して、地域のルールや生活のノウハウ（買い物ができる場所や生活上の留意点等）を共有する場を設けることが考えられる。その際、地域の人や既存の二地域居住者に相談相手として参加してもらうことで、関わりの接点をつくることが想定される。また、町会等の地域の関係団体と連携し、コミュニティに二地域居住者を受け入れる体制をつくることが望ましい。

ただし、今回の調査では二地域居住者が地域においてどのような関わりを求めているのか、地域側が二地域居住者とどのように関わりたいかという意向までは調査できていない。具体的な施策は、双方のニーズを踏まえて検討する必要がある。

10) 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の潜在層へのアプローチ

浅い関わりの関係人口のうち、地域の課題解決・活性化の取組みに関わることへの興味・関心を持つ人は若者に多く、現在 SNS での情報取得や富山県内外でのイベント参加を通じて富山県と関わっている者が比較的多い。また、富山県までの交通が不便である（移動費用が高い、アクセスが困難など）ことや取組みに関する情報に触れる機会がないことが地域の課題解決・活性化の取組みに参加するにあたっての障壁として挙げられている。

図表 211 地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者の潜在層に関する調査結果

<p>潜在層のアンケート回答結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係人口の分類・参考分類ごとに見ると、SNS 等での情報取得者、県内イベント等参加者、県外イベント等参加者の順に多く、性年代別に見ると男女ともに若い人ほど多い傾向にある。 ・ 取組みへの参加の障壁となっていることは、「富山県までの交通が不便である（移動費用が高い、アクセスが困難など）」、「取組みに関する情報に触れる機会がない」、「冬季の降雪・積雪が不安である」の順に多い。
----------------------	--

上記を踏まえると、潜在層に地域の課題解決・活性化の取組みに関わる者になってもらうためには、交通費が比較的高くないと想定される県外イベントの参加を入り口とし、富山県での活動に興味を持ってもらうことが考えられる。そのうえで、より強い関心を持ってくれた人に対しては、地域活動への参加を補助等によって支援することが想定される。

ただし、具体的な施策を検討する際は、県外イベントから地域活動への参加につながる具体的な導線の設計が必要である。既存の県外イベントにおいて、導線の設計に必要な情報の収集を行うことが考えられる。

11) 二地域居住者の潜在層へのアプローチ

浅い関わりの関係人口のうち、二地域居住に興味・関心を持つ人は、若者に多く、SNS 等での情報取得者や県内イベント等参加者、寄付等で県内自治体を支援している者が比較的多い。特に寄付等で県内自治体を支援している者は、金銭的な余裕があり、二地域居住を検討しやすいことが想定される。

図表 212 二地域居住の潜在層に関する調査結果

<p>潜在層のアンケート回答結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 富山県での二地域居住に興味・関心がある人を、その他関係人口の分類・参考分類ごとに見ると、SNS 等での情報取得者、県内イベント等参加者、寄付等で県内自治体を支援する者が多い。
----------------------	---

このような状況から、SNS での情報取得者や富山県内でのイベント参加者、寄付等で県内自治体を支援している者をターゲットとしてアプローチすることが考えられる。

ただし、具体的な施策の検討にあたっては、それぞれに対してどのような接点においてどのような情報を提供す

るのか、アプローチの設計をすることが必要である。

以上